



平成 27 年度  
公立大学法人 福岡県立大学  
アニュアルレポート

平成 28 年 4 月  
公立大学法人 福岡県立大学

# 目次

理事長・学長メッセージ .....	1
I. 大学基本情報 .....	2
1. 大学憲章、教育研究上の目的 .....	2
2. キャンパス所在地 .....	5
3. 組織図 .....	6
4. 役員等一覧（理事会・経営協議会・教育研究協議会） .....	7
5. 教員役職者の任期一覧 .....	8
II. 教職員 .....	9
1. 教員 .....	9
(1) 教員組織 .....	9
(2) 教員の性別構成 .....	9
(3) 教員の年齢構成 .....	9
(4) 任期付教員数 .....	10
(5) 学部 .....	10
(6) 研究科 .....	11
2. 事務職員 .....	12
(1) 事務職員数（組織、補職） .....	12
(2) 事務職員の採用区分 .....	12
(3) 事務職員の性別構成 .....	12
(4) 事務職員の年齢構成 .....	12
III. 学生 .....	13
1. 学生数 .....	13
(1) 学生定数、学年定員、在籍学生数（県内県外、男女比） .....	13
(2) 学部卒業生数（4年間で卒業した学生） .....	14
(3) 大学院修了生数（2年間又は3年間（長期履修）で卒業した学生） .....	14
2. 学生の異動（退学・除籍・休学・留年） .....	15
(1) 休学・退学・除籍数 .....	15
(2) 留年数 .....	16
IV. 教育 .....	17
1. 学部 .....	17
(1) ディプロマ・ポリシーとカリキュラム・ポリシー .....	17
(2) 開設科目及び単位数 .....	27
(3) 卒業必要科目及び単位数 .....	39
(4) 両学部で学ぶ専門的連携科目 .....	40
(5) 講義・演習・実習の開講科目数 .....	40

2.	大学院	41
(1)	ディプロマ・ポリシーとカリキュラム・ポリシー	41
(2)	教育課程及び履修基準	47
(3)	講義・演習・実習の開講科目数	51
3.	学生の単位修得状況	52
(1)	成績評価及び単位認定（学部・研究科）	52
(2)	学部単位修得状況（学科ごとの成績評価と GPA 平均値）	53
(3)	大学院単位修得状況（成績評価）	54
4.	教員免許状取得者数（高校公民・中学社会・幼稚園教諭・養護教諭）	54
5.	保育士資格取得者数	54
6.	スクールソーシャルワーク教育課程修了者数	54
7.	社会福祉士・精神保健福祉士 国家試験合格者数	55
8.	看護師・保健師・助産師 国家試験合格者数	55
9.	社会調査士資格取得者数	56
10.	上級情報処理士資格取得者数	56
11.	認定心理士資格取得者数	56
12.	臨床心理士資格取得者数	56
13.	がん看護専門看護師資格取得者数	56
14.	精神看護専門看護師資格取得者数	56
V.	教育の質の向上及び改善の取組	57
1.	FD 活動（学部・研究科）	57
2.	教員個人業績評価結果	58
(1)	趣旨	58
(2)	評価の対象分野・ウエイト等	58
(3)	教員個人業績評価	58
3.	授業評価アンケート	59
VI.	入試	61
1.	入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）	61
(1)	学部別入学者受入方針	61
(2)	研究科別入学者受入方針	62
2.	入学者選抜方法	63
(1)	学部別入学試験種別と試験科目	63
(2)	研究科別入試選抜試験科目	66
3.	入試実績	67
(1)	2016（平成 28）年度 学部入学試験状況（区分別・志願者数・受験者数・合格者数・入学者数・志願倍率・実質倍率・定員充足率）	67
(2)	2016（平成 28）年度 学部出身地別入学者数	68

(3) 2016 (平成 28) 年度 大学院入学試験状況 (志願者数・受験者数・合格者数・ 入学者数・受験倍率・定員充足率) .....	68
4. 入試広報 .....	68
VII. 学生支援 .....	69
1. 学生に対する経済面の援助 .....	69
(1) 奨学金受給実績 .....	69
(2) 授業料減免実績 .....	69
(3) 授業料分割納付実績 .....	69
(4) 学生寮の整備状況及び利用実績 .....	69
2. 学生に対する生活支援 (生活、健康、就職等進路、各種ハラスメント等) .....	69
(1) 保健室利用実績 .....	69
(2) 学生相談室利用実績 .....	70
(3) GPA に基づいた学習支援対象者数 .....	70
(4) 課外・サークル活動概要 .....	70
(5) キャリアサポートセンター利用人数実績 .....	72
(6) 就業力向上支援室活動概要 .....	72
(7) インターンシップ参加者数及び派遣企業・団体数 .....	73
(8) 支援を必要とする学生数 .....	73
(9) 留学生ビジット状況 .....	73
(10) 留学生支援事業実施状況 .....	73
(11) 社会福祉士及び精神保健福祉士国家試験の受験対策実施状況 .....	73
(12) 看護師・保健師国家試験の受験対策実施状況 .....	74
(13) 公務員講座実施状況 .....	74
(14) 就職対策講座実施状況 .....	74
VIII. 施設・設備 .....	75
1. 講義室等の設置状況 .....	75
2. 施設・設備のバリアフリー化状況 .....	75
3. 自主的な学習活動が可能な施設 .....	75
4. 自由閲覧室利用状況 (利用者数) .....	75
5. ICT 環境 (情報処理センター) .....	76
(1) 情報処理学習施設 .....	76
(2) 無線 LAN アクセスポイント .....	76
6. 図書館 .....	77
(1) 施設・職員、開館時間 .....	77
(2) 貸出条件 .....	77
(3) 蔵書数 .....	77
(4) 入館者状況 .....	78

(5) 貸出状況（学内・学外者） .....	78
7. 学生団体が課外活動に利用する施設の整備状況 .....	78
サークル部屋・学生会館 .....	78
IX. 就職 .....	79
1. 卒業後の状況 .....	79
(1) 学科別就職率及び進学、就職希望者の就職率 .....	79
(2) 学科別所在地別就職先一覧 .....	79
(3) 学科別産業別就職先一覧 .....	80
(4) 大学院課程修了生専攻別就職率及び進学、就職希望者の就職率 .....	80
(5) 大学院課程修了生専攻別産業別就職先一覧 .....	80
X. 研究 .....	81
1. 研究成果の発信 .....	81
(1) 紀要等 .....	81
(2) 附属研究所業務実績報告書等 .....	81
(3) その他 .....	81
2. 研究奨励交付金決定一覧 .....	82
3. 外部資金等の獲得実績（平成 27 年度受託研究等事業名）一覧 .....	82
4. 大学間連携共同教育推進事業 .....	83
5. 大学教育再生加速プログラム（インターンシップ等を通じた教育強化）事業 .....	84
6. 科学研究費補助金応募・獲得状況及び外部研究費受入額（各学部） .....	86
7. 査読付学術書掲載論文数及び学会発表等（各学部） .....	88
8. 学術賞等の受賞状況 .....	88
9. 受賞論文・国際学会招待研究等一覧 .....	88
10. 国際学会招待研究等一覧 .....	88
11. 特許出願状況 .....	88
XI. 国際交流 .....	89
1. 学部・学年別・国籍別留学生数 .....	89
2. 留学生の受入・派遣 .....	89
(1) 交換留学（受入・派遣） .....	89
(2) 語学研修実績 .....	89
(3) 留学における単位認定 .....	89
3. 学術交流協定等締結校一覧 .....	89
XII. 社会貢献 .....	90
1. 公開講座等の実施状況 .....	90
(1) 公開講座実施状況 .....	90
(2) 科目等履修生、聴講生、研究生の受入状況 .....	90
(3) 出前講義の実施状況 .....	90

2.	地域貢献活動 .....	91
(1)	生涯福祉研究センター活動概要.....	91
(2)	ヘルスプロモーション実践研究センター活動概要 .....	92
(3)	不登校・ひきこもりサポートセンター活動概要.....	93
(4)	社会貢献・ボランティア支援センター活動概要.....	93
(5)	看護実践教育センター活動概要.....	94
(6)	心理教育相談室実績.....	94
(7)	教員免許状更新講習.....	94
3.	学外講義・講演 .....	95
4.	審議会・委員会等への参画状況.....	95
XIII.	財務.....	96
1.	資産と負債の状況 .....	96
2.	土地と建物の状況 .....	96
3.	自己収入の状況.....	96
4.	外部研究資金の獲得状況.....	97
5.	収支状況.....	97
6.	教育研究経費の状況.....	97
<付録>	.....	98
1.	平成 27 年度における主な取組 .....	98
2.	沿革.....	99
3.	歴代学長及び名誉教授一覧.....	101
4.	学年暦 .....	103
5.	授業時間割 (学部).....	105



## 理事長・学長メッセージ



公立大学法人 福岡県立大学  
理事長・学長 柴田 洋三郎

近年急速に進行する我が国の大学改革の中で、その一環として大学の教育・研究・社会貢献活動等の公表が義務化されました。即ち本学が教育研究機関としての根拠法令となる学校教育法では、第109条「大学は、その教育研究水準の向上に資するため、文部科学大臣の定める所により、当該大学の教育及び研究、組織及び運営並びに施設及び設備の状況について自ら点検及び評価を行い、その結果を公表するものとする。」として、自己点検評価活動とその公表が定められ、さらに同条第二項で認証評価機関による第三者評価を受けることが求められています。重ねて同113条には、「大学は、教育研究の成果の普及及び活用の促進に資するため、その教育研究活動の状況を公表するものとする」とされ、これを受けた平成23年の学校教育法施行規則改正では、大学が公表すべき教育情報の公表内容が具体的に明示されています。

本学では平成18年の公立大学法人化により、県の法人評価委員会の年度業務実績評価を毎年受審することになりました。この法人評価においては、地方独立行政法人法第79条で、公立大学法人の特例として、「評価委員会が公立大学法人について、・・・評価を行うに当たっては、学校教育法第109条第二項に規定する認証評価機関の教育及び研究の状況の評価を踏まえることとする。」とあります。即ち、現状では本学の評価活動として3種類あり、自己点検評価による大学情報の公表、毎年度の業務実績報告による県の法人評価、さらに7年間に公的な認証評価機関による機関別認証評価の受審と、その評価内容を法人の中期目標期間評価で踏まえる事が相互に連携しております。

これらに則り、本学では法人化以降、年度ごとに業務実績報告書を作成し、県評価委員会の法人評価を受け、教育研究業務運営の改善、改革を進めてきました。また独立行政法人大学評価学位授与機構の機関別認証評価を平成22年に受審し、平成28年度には、改組された大学改革支援・学位授与機構による2回目の機関別認証評価を受審の予定です。これら各種の大学評価の基礎資料となるのが自己点検評価活動であり、本学では従来、さまざまな教育・研究活動の詳細を記載した「自己点検・評価報告書」を「教育・研究・社会貢献活動一覧」として毎年刊行してきました。平成25年以降これらの自己点検評価実施体制の基となる基礎データを、「アニュアルレポート」として集積し公表することとなりました。本アニュアルレポートの企画立案から資料収集、編纂にあたってこられました古橋啓介前教員理事、今回の発刊に当たった石崎龍二現教員理事をはじめこの間に多大なご尽力いただいた関係教職員各位に、心より感謝申し上げます。

今後本レポートが有効に活用されて、本学の教育・研究・社会貢献活動の更なる質向上に資するとともに、これが基となってより実質的な「内部質保証システム」が恒常的に構築されることを願っています。

## I. 大学基本情報

### 1. 大学憲章、教育研究上の目的

#### 福岡県立大学憲章

福岡県立大学は、地域に根ざし、地域とともに発展する公立大学です。福岡県立大学は、文化の向上、保健・福祉の増進及び地域の発展に寄与する、真理探究の精神と豊かな創造性を身につけた人材の育成にかかる高等教育を推進するため、その構成員である学生、教員、職員が一体となって目指す行動の指針をここに定めます。

#### (人間性の原則)

福岡県立大学は、人間性に対する深い理解とたゆまぬ向上を志向する人材を育成するため、個人の尊重を中核とした基本的人権の確保、個人の人格および能力の全人的な発達の促進、社会を構築する市民として必要な教養及び倫理の涵養に努めます。また福岡県立大学は、主体的な学びを促進するとともに、そのために必要な環境を提供します。

#### (地域性の原則)

福岡県立大学は、地域性に対する深い理解を有する人材を育成するため、地域の方々との連携、地域社会における問題の解決及び地域の発展を図る活動に取り組みます。このような活動を行うことで、地域の方々との連携によりその成果を地域に還元する「知の拠点」としての機能を果たします。また福岡県立大学は、構成員の地域活動に対する自発的な参加を促進します。

#### (専門性の原則)

福岡県立大学は、専門性に対する深い理解を有する人材を育成するため、専門教育の基盤となる研究活動を積極的に行います。教育及び研究においては、学問の自由および自律性を尊重するとともに、新たな知の発展に向けられた自由な創造性・独創性への挑戦を支援します。また福岡県立大学は、専門的職業人として必要な知識、技能及び職業倫理の涵養に努めます。

#### (多様性の原則)

福岡県立大学は、多様性に対する深い理解を有する人材を育成するため、思想・信条・人種・性別・国籍・民族を含むあらゆる個人および集団の多様性を尊重します。また福岡県立大学は、国際社会における個人及び集団間の理解及び寛容の精神を促進し、持続可能な社会の実現に寄与します。

#### (一体性の原則)

福岡県立大学は、構成員が一体となって、人間性の原則、地域性の原則、専門性の原則、多様性の原則の実現を図ります。この実現を図るため、福岡県立大学は、構成員の地位及び教育研究組織の自律性を尊重するとともに、教育研究環境の整備に努めます。

## 教育研究上の目的

### 【学部】

福岡県立大学は、教育基本法（昭和 22 年法律第 25 号）及び学校教育法（昭和 22 年法律第 26 号）に基づき、広く知識を授け、実践を重視した専門の学芸を教育研究して、真理探究の精神と豊かな創造性を身につけた人材を育成し、もって文化の向上、保健・福祉の増進及び地域の発展に寄与することを目的とする。

学 部	目 的	
人間社会学部	人間と社会に関する諸科学を学ぶことによって、人間と社会とを総合的に理解し、他の専門職と協働して問題解決に取り組むことのできる心豊かな人材を養成することを目的とする。	
	学 科	目 的
	公共社会学科	現代社会の多様な課題に対応するため、地域社会と国際共生に焦点をあて、公共性に根ざした社会問題解決能力に秀でた人材育成を図ることを目的とする。
	社会福祉学科	複雑・多様化している生活問題（福祉問題）を解決するための科学的知識及び実践力を有する社会福祉の人材を養成することを目的とする。
	人間形成学科	生涯発達の視点に立ち、乳幼児期から高齢期にいたる人間の形成過程と、その諸問題に関する総合的な研究・教育を行い、教育的・心理臨床的な援助などに携わる専門的な人材を育成することを目的とする。
看護学部	看護学科	幅広い教養と豊かな人間性を備え、看護の専門職としての確かな判断力と実践能力を身につけ、他の専門職と協働し、健康上の課題に主体的・創造的に対応できる人材を育成することを目的とする。

【大学院】

福岡県立大学大学院（以下「本学大学院」という。）は、広い視野に立って専攻分野に関する専門的学術を教育研究し、学術文化の進展に寄与するとともに、社会的な場でその高度な専門的知識を活用し得る指導的人材を養成することを目的とする。

研究科名	目 的	
人間社会学研究科	21 世紀における少子・高齢化、地方分権及び自己実現要求の高まりを踏まえ、高度福祉社会の実現に貢献できる人材の養成を行うとともに、職業人のリカレント教育（学習）の要求に応えることを目的とする。	
	専攻名	目 的
	社会福祉専攻	児童と家族、障害者及び高齢者等の援助を必要とする人びとの生活課題について、個人や家族、集団、地域等における人間関係やサービス利用状況等を含めて全体的に把握することで当事者の育成や保護、介護、社会参加及び自立支援等の在り方を研究することを目的とする。
	心理臨床専攻	心理学全般の領域を関連づけながら、心理臨床に関する知識技能を深め、心理的支援を必要とする人に対するカウンセリングなどの実践能力を身につけ、さらに、他職種とも協働する能力をもつ臨床心理士を養成することを目的とする。
地域教育支援専攻	地域における子育て・保育、家庭教育、学校教育及び社会教育の分野における人間形成の営みとその諸問題を、地域教育の視点から教育学を中心に関係諸科学を総合的に研究し、それらの諸問題を実践的に解決しうる高度な専門的能力を持った人材を育成することを目的とする。	
看護学研究科	看護学専攻	地域の保健・医療・福祉分野の施策展開を推進する中核的担い手である高度専門職業人としての看護職者や、看護学の創造と発展に貢献できる研究者・教育者を育成することを目的とする。

2. キャンパス所在地

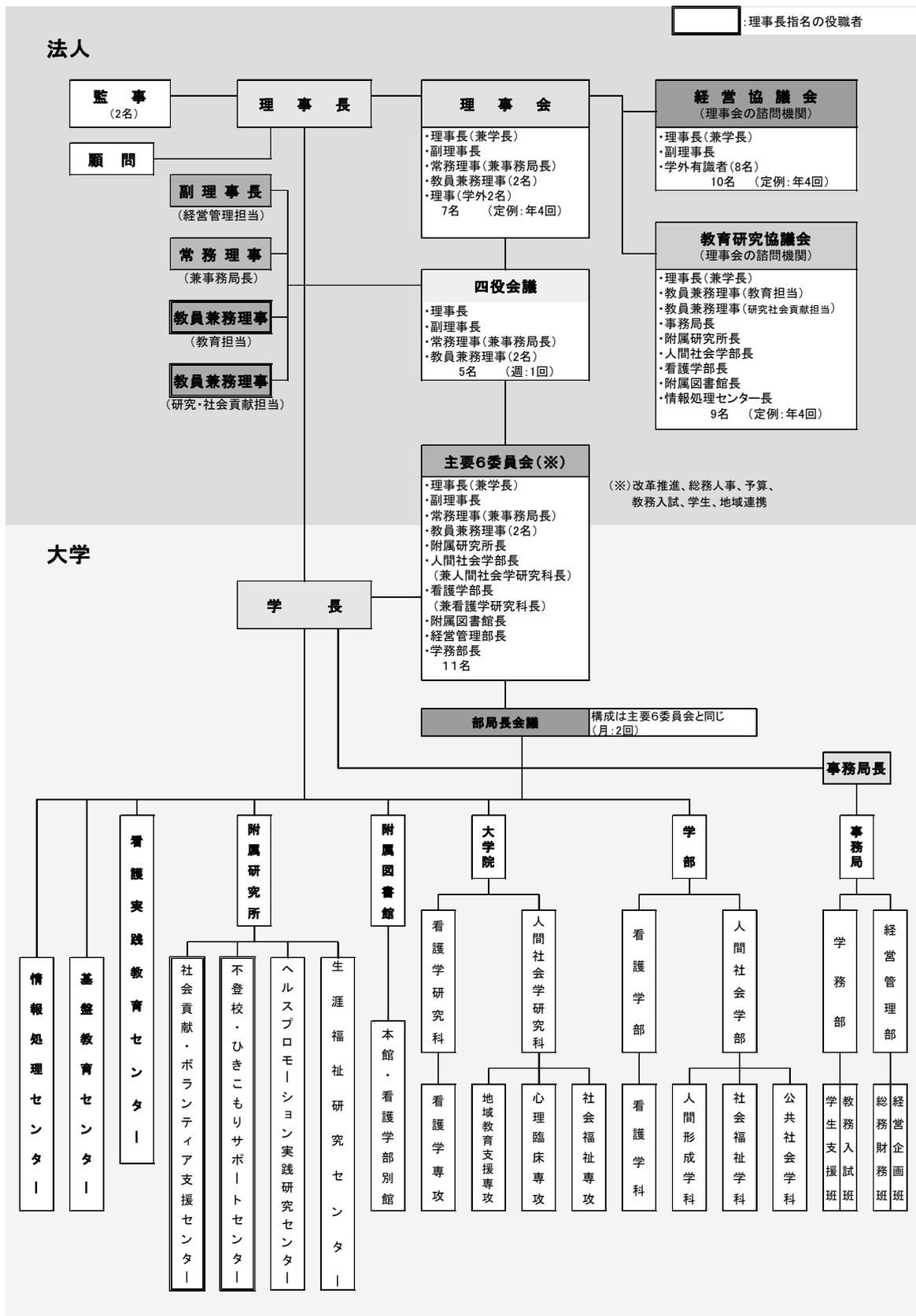


〒825-8585

福岡県田川市大字伊田 4395 番地

### 3. 組織図

平成27年4月1日現在



#### 4. 役員等一覧（理事会・経営協議会・教育研究協議会）

○理事会

任期 平成26年4月1日～平成28年3月31日

役職名	氏名	所属団体・役職名
理事長	柴田 洋三郎	福岡県立大学 学長兼務
副理事長	松本 次好	福岡県立大学
常務理事	吉村 静男	福岡県立大学 事務局長兼務
理事（教員兼務理事）	石崎 龍二	福岡県立大学人間社会学部 教授
理事（教員兼務理事）	松浦 賢長	福岡県立大学看護学部 教授
理事	麻生 泰	（株）麻生 代表取締役会長
理事	芳賀 晟壽	社会福祉法人年長者の里 理事長
監事	古本 栄一	古本法律事務所
監事	本田 征洋	本田公認会計士事務所

○経営協議会

任期 平成26年4月1日～平成28年3月31日

役職名	氏名	所属団体・役職名
理事長	柴田 洋三郎	福岡県立大学 学長兼務
副理事長	松本 次好	福岡県立大学
委員	秋吉 一明	福岡県立大学と共に歩む会 会長
委員	川上 鉄夫	福岡県立大学同窓会 会長
委員	北原 守	北九州市手をつなぐ育成会（親の会） 会長
委員	清澤 亨	福岡県立田川高等学校 校長
委員	齋藤 明	独立行政法人大学入試センター 監事
委員	佐渡 文夫	田川商工会議所 会頭
委員	二場 公人	田川市長（平成27年6月1日就任）
委員	吉村 恭幸	（一財）福岡県社会保険医療協会 会長

○教育研究協議会 任期 平成26年4月1日～平成28年3月31日

役職名	氏名	役職名
理事長	柴田 洋三郎	福岡県立大学 学長兼務
委員	石崎 龍二	教員兼務理事
委員	田中 哲也	人間社会学部長
委員	田中 美智子	情報処理センター長
委員	永嶋 由理子	看護学部長
委員	福田 恭介	附属研究所長
委員	細井 勇	附属図書館長
委員	松浦 賢長	教員兼務理事
委員	吉村 静男	常務理事兼事務局長

## 5. 教員役職者の任期一覧

(平成27年4月1日現在)

役職名	氏名	任期	任期の期間
学 長	柴田 洋三郎	4年	平成24年4月1日～平成28年3月31日
人間社会学部長 兼大学院研究科長	田中 哲也	2年	平成26年4月1日～平成28年3月31日
看護学部長 兼大学院研究科長	永嶋 由理子	2年	平成26年4月1日～平成28年3月31日
附属研究所長	福田 恭介	2年	平成26年4月1日～平成28年3月31日
附属図書館長	細井 勇	2年	平成26年4月1日～平成28年3月31日
看護実践教育センター長	永嶋 由理子	2年	平成26年4月1日～平成28年3月31日
生涯福祉研究センター長	神谷 英二	2年	平成26年4月1日～平成28年3月31日
ヘルスプロモーション実践研究センター長	赤司 千波	2年	平成26年4月1日～平成28年3月31日
不登校・ひきこもりサポートセンター長	小嶋 秀幹	2年	平成26年4月1日～平成28年3月31日
社会貢献・ボランティア支援センター長	村山 浩一郎	2年	平成26年4月1日～平成28年3月31日
情報処理センター長	田中 美智子	2年	平成26年4月1日～平成28年3月31日

## II. 教職員

### 1. 教員

#### (1) 教員組織

(平成 27 年 5 月 1 日現在)

組織		人数	
			うち大学院と兼務
大学	人間社会学部	45	22
	看護学部	57	35
大学院	人間社会学研究科	22	
	看護学研究科	35	
看護実践教育センター		2	
合計		104	

#### (2) 教員の性別構成

(平成 27 年 5 月 1 日現在)

職位	男		女		合計
	人数	合計に占める割合	人数	合計に占める割合	
教授	13	56.5%	10	43.5%	23
准教授	17	53.1%	15	46.9%	32
講師	7	30.4%	16	69.6%	23
助教	1	4.8%	20	95.2%	21
助手	0	0.0%	5	100.0%	5
合計	38	36.5%	66	63.5%	104

#### (3) 教員の年齢構成

(平成 27 年 5 月 1 日現在)

職位 年齢	教授	准教授	講師	助教	助手	合計	全体に占める割合 (%)
25～29					1	1	1.0%
30～34			3	2		5	4.8%
35～39		4	2	10	1	17	16.3%
40～44	1	3	10	8		22	21.2%
45～49	2	9	6		1	18	17.3%
50～59	9	14	1	1	2	27	26.0%
60～64	10	2				12	11.5%
65～	1		1			2	1.9%
合計	23	32	23	21	5	104	
平均年齢	56.5	48.8	43.1	39.1	43.1	47.0	

(4) 任期付教員数

(平成 27 年 5 月 1 日現在)

組織	教授		准教授		講師		助教		助手		合計	
	人数	(総数)	人数	(総数)	人数	(総数)	人数	(総数)	人数	(総数)	人数	(総数)
人間社会学部	5	(14)	8	(18)	8	(9)	2	(2)	0	(2)	23	(45)
看護学部	5	(9)	9	(14)	9	(14)	15	(17)	3	(3)	41	(57)
人間社会学研究科	4	(10)	5	(11)	1	(1)					10	(22)
看護学研究科	5	(9)	8	(13)	8	(13)					21	(35)
看護実践教育センター							2	(2)			2	(2)
合計	10	(23)	17	(32)	17	(23)	19	(21)	3	(5)	66	(104)

※研究科の教員は学部との兼任。合計は学部と看護実践教育センターの人数。

(5) 学部

① 学部別専任教員（助教以上）の現員

(平成 27 年 5 月 1 日現在)

学部	学科	現 員				計
		教授	准教授	講師	助教	
人間社会学部	一般教育等	4	3	1	0	8
	公共社会学科	3	6	1	0	10
	社会福祉学科	3	4	4	1	12
	人間形成学科	4	5	3	1	13
看護学部	看護学科	9	14	14	19	56
合計		23	32	23	21	99

② 採用実績

	教授	准教授	講師	助教	助手	合計
H 2 2 年度	0	0	4	4	2	10
H 2 3 年度	0	1	5	3	2	11
H 2 4 年度	1	1	1	1	1	5
H 2 5 年度	3	0	1	0	1	5
H 2 6 年度	1	1	3	1	1	7
H 2 7 年度	0	1	5	2	3	11
合計	5	4	19	11	10	49

③ 専門科目における主要科目（必修科目）の専任教員担当状況

学部	学科	主要科目数	主要科目の専任教員 担当の科目数	主要科目で非常勤対応 の科目数
人間社会学部	公共社会学科	7	7	0
	社会福祉学科	6	6	0
	人間形成学科	8	8	0
看護学部	看護学科	72	66	6

④ 学部別教育補助者（助手・TA）配置数

（平成27年5月1日現在）

学部	現員
人間社会学部	4
看護学部	3

⑤ 非常勤講師の人数と時間数

学部	人数	時間
人間社会学部	57	3,149
看護学部	38	492
両学部共通	15	810
合計	110	4,451

(6) 研究科

① 専攻別指導教員数

（平成27年5月1日現在）

研究科	専攻	現員
人間社会学研究科	社会福祉専攻	5
	心理臨床専攻	6
	地域教育支援専攻	4
看護学研究科	看護学専攻	19

② 研究指導補助教員数

（平成27年5月1日現在）

研究科	専攻	現員
人間社会学研究科	社会福祉専攻	4
	心理臨床専攻	1
	地域教育支援専攻	0
看護学研究科	看護学専攻	21

③ 専門科目における主要科目（必修科目）の専任教員担当状況

研究科	主要科目数	主要科目の専任教員担当の科目数	主要科目で非常勤対応の科目数
人間社会学研究科	12	12	0
看護学研究科	3	2	1

④ 非常勤講師の人数と時間数

研究科	人数	時間
人間社会学研究科	7	270
看護学研究科	59	480
合計	66	750

2. 事務職員

(1) 事務職員数（組織、補職）

(平成 27 年 5 月 1 日現在)

本務職員			非常勤職員	人材派遣会社からの派遣職員	業務委託による従事者
設置団体の職員	法人採用の職員	定員			
13	7	20	46	0	14

(2) 事務職員の採用区分

採用年度	プロパー職員
H 2 4 年度	2 名
H 2 5 年度	3 名
H 2 6 年度	2 名
H 2 7 年度	1 名

(3) 事務職員の性別構成

(平成 2 7 年 5 月 1 日現在)

性別	男	女
人数	15 名	5 名

※本統計は事務局本務職員のための統計。

(4) 事務職員の年齢構成

(平成 27 年 5 月 1 日現在)

年齢	21～25	26～30	31～35	36～40	41～45	46～50	51～55	56～	合計	平均
人数	3	5	2	0	3	1	4	2	20	40.1

※本統計は事務局本務職員のための統計。

### Ⅲ. 学生

#### 1. 学生数

(1) 学生定数、学年定員、在籍学生数（県内県外、男女比）

(学部)

(平成 27 年 5 月 1 日現在)

	学部	定数	在籍者数							
			男			女				
			県内	県外	県内	県外				
H 24 年度 以前 入学者	4 年生	公共社会学科	50	61	23	9	14	38	13	25
		社会福祉学科	50	56	12	6	6	44	19	25
		人間形成学科	50	57	6	2	4	51	17	34
		看護学科	80	80	7	1	6	73	45	28
		小計	230	254	48	18	30	206	94	112
H 25 年度 入学者	3 年生	公共社会学科	50	55	24	6	18	31	11	20
		社会福祉学科	50	55	12	4	8	43	22	21
		人間形成学科	50	55	4	1	3	51	20	31
		看護学科	90	90	6	1	5	84	48	36
		小計	240	255	46	12	34	209	101	108
H 26 年度 入学者	2 年生	公共社会学科	50	54	24	13	11	30	10	20
		社会福祉学科	50	62	11	7	4	51	25	26
		人間形成学科	50	54	4	3	1	50	26	24
		看護学科	90	89	7	5	2	82	45	37
		小計	240	259	46	28	18	213	106	107
H 27 年度 入学者	1 年生	公共社会学科	50	55	21	13	8	34	20	14
		社会福祉学科	50	52	8	4	4	44	18	26
		人間形成学科	50	58	11	6	5	47	24	23
		看護学科	90	95	3	1	2	92	60	32
		小計	240	260	43	24	19	217	122	95
	公共社会学科	200	225	92	41	51	133	54	79	
	社会福祉学科	200	225	43	21	22	182	84	98	
	人間形成学科	200	224	25	12	13	199	87	112	
	看護学科	350	354	23	8	15	331	198	133	
	合計	950	1,028	183	82	101	845	423	422	

(研究科)

(平成 27 年 5 月 1 日現在)

研究科	定数	在籍者数							
		男				女			
		県内		県外		県内		県外	
H26年度入学者 2年生	社会福祉専攻	6	4	2	1	1	2	1	1
	心理臨床専攻	6	10	2	0	2	8	3	5
	地域教育支援専攻	3	3	1	1	0	2	2	0
	看護学専攻	12	14	7	4	3	7	7	0
	小計	27	31	12	6	6	19	13	6
H27年度入学者 1年生	社会福祉専攻	6	4	1	1	0	3	3	0
	心理臨床専攻	6	8	3	1	2	5	2	3
	地域教育支援専攻	3	0	0	0	0	0	0	0
	看護学専攻	12	10	0	0	0	10	6	4
	小計	27	22	4	2	2	18	11	7
社会福祉専攻	12	8	3	2	1	5	4	1	
心理臨床専攻	12	18	5	1	4	13	5	8	
地域教育支援専攻	6	3	1	1	0	2	2	0	
看護学専攻	24	24	7	4	3	17	13	4	
合計	54	53	16	8	8	37	24	13	

(2) 学部卒業生数 (4年間で卒業した学生)

入学年度 (学部)	公共社会学科		社会福祉学科		人間形成学科		看護学科		合計		4年間で卒業した 学生の割合 (%)
	入学	卒業	入学	卒業	入学	卒業	入学	卒業	入学	卒業	
H19年度	55	48	56	54	57	54	80	74	248	230	92.7%
H20年度	57	47	56	54	58	55	84	80	255	236	92.5%
H21年度	55	45	56	54	59	54	87	72	257	225	87.5%
H22年度	60	50	61	53	56	54	83	77	260	234	90.0%
H23年度	61	50	59	56	60	53	81	77	261	236	90.4%
H24年度	49	44	57	51	53	52	80	71	239	218	91.2%

※編入学生を除く

(3) 大学院修了生数 (2年間又は3年間 (長期履修) で卒業した学生)

入学年度 (研究科)	人間社会学研究科				看護学研究科				合計				2年間で卒業した 学生の割合 (%)	3年間で卒業した 学生の割合 (%)
	2年間		長期履修		2年間		長期履修		2年間		長期履修			
	入学	卒業	入学	卒業	入学	卒業	入学	卒業	入学	卒業	入学	卒業		
H21年度	17	17	0	0	9	4	0	0	26	21	0	0	80.8%	0.0%
H22年度	20	19	0	0	5	0	0	0	25	19	0	0	76.0%	0.0%
H23年度	16	13	0	0	4	3	3	3	20	16	3	3	80.0%	100.0%
H24年度	10	10	0	0	4	3	10	6	14	13	10	6	92.9%	60.0%
H25年度	12	10	2	2	2	2	2	1	14	12	4	3	85.7%	75.0%
H26年度	12	12	0	0	4	4	2	—	16	16	2	0	100.0%	0.0%

## 2. 学生の異動（退学・除籍・休学・留年）

### (1) 休学・退学・除籍数

(学部)

学部		入学者数	休学者数	休学率 (%)	退学者数	退学率 (%)	除籍者数	除籍率 (%)	
H 24 年度 入学者	4 年生	公共社会学科	49	3	6.1%	0	0.0%	0	0.0%
		社会福祉学科	57	2	3.5%	4	7.0%	0	0.0%
		人間形成学科	53	1	1.9%	1	1.9%	0	0.0%
		看護学科	80	7	8.8%	3	3.8%	0	0.0%
		小計	239	13	5.4%	8	3.3%	0	0.0%
H 25 年度 入学者	3 年生	公共社会学科	55	6	10.9%	1	1.8%	0	0.0%
		社会福祉学科	55	2	3.6%	0	0.0%	0	0.0%
		人間形成学科	55	1	1.8%	0	0.0%	0	0.0%
		看護学科	90	9	10.0%	0	0.0%	0	0.0%
		小計	255	18	7.1%	1	0.4%	0	0.0%
H 26 年度 入学者	2 年生	公共社会学科	55	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
		社会福祉学科	63	1	1.6%	1	1.6%	0	0.0%
		人間形成学科	53	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
		看護学科	90	2	2.2%	2	2.2%	0	0.0%
		小計	261	3	1.1%	3	1.1%	0	0.0%
H 27 年度 入学者	1 年生	公共社会学科	55	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
		社会福祉学科	52	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
		人間形成学科	58	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
		看護学科	95	2	2.1%	0	0.0%	0	0.0%
		小計	260	2	0.8%	0	0.0%	0	0.0%
公共社会学科		214	9	4.2%	1	0.5%	0	0.0%	
社会福祉学科		227	5	2.2%	5	2.2%	0	0.0%	
人間形成学科		219	2	0.9%	1	0.5%	0	0.0%	
看護学科		355	20	5.6%	5	1.4%	0	0.0%	
合計		1,015	36	3.5%	12	1.2%	0	0.0%	

※編入学生を除く

(研究科)

研究科		入学者数	休学者数	休学率 (%)	退学者数	退学率 (%)	除籍者数	除籍率 (%)	
H 26 年度 入学者	2 年生	社会福祉専攻	2	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
		心理臨床専攻	10	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
		地域教育支援専攻	3	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
		看護学専攻	6	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
		小計	21	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
H 27 年度 入学者	1 年生	社会福祉専攻	4	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
		心理臨床専攻	8	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
		地域教育支援専攻	0	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
		看護学専攻	10	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
		小計	22	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
社会福祉専攻		6	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
心理臨床専攻		18	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
地域教育支援専攻		3	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
看護学専攻		16	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
合計		43	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	

## (2) 留年数

## (学部)

学部		在籍者数	留年者数
H 22 年 度	公共社会学科	230	8
	社会福祉学科	230	5
	人間形成学科	236	5
	看護学科	373	4
	小計	1,069	22
H 23 年 度	公共社会学科	236	7
	社会福祉学科	232	3
	人間形成学科	239	5
	看護学科	362	3
	小計	1,069	18
H 24 年 度	公共社会学科	235	7
	社会福祉学科	234	3
	人間形成学科	232	3
	看護学科	356	4
	小計	1,057	17
H 25 年 度	公共社会学科	237	9
	社会福祉学科	232	3
	人間形成学科	229	6
	看護学科	356	12
	小計	1,054	30
H 26 年 度	公共社会学科	232	11
	社会福祉学科	235	7
	人間形成学科	220	0
	看護学科	343	5
	小計	1,030	23
H 27 年 度	公共社会学科	225	11
	社会福祉学科	225	3
	人間形成学科	224	5
	看護学科	354	3
	小計	1,028	22

※在籍者：その年度の在籍する全学生数

※留年者数：その年度の4年を超えて在籍している者

## (研究科)

研究科		在籍者数	留年者数
H 22 年 度	人間社会学研究科	39	2
	看護学研究科	20	7
	小計	59	9
H 23 年 度	人間社会学研究科	36	0
	看護学研究科	19	8
	小計	55	8
H 24 年 度	人間社会学研究科	27	1
	看護学研究科	26	5
	小計	53	6
H 25 年 度	人間社会学研究科	27	3
	看護学研究科	25	4
	小計	52	7
H 26 年 度	人間社会学研究科	27	1
	看護学研究科	22	2
	小計	49	3
H 27 年 度	人間社会学研究科	29	3
	看護学研究科	24	3
	小計	53	6

※在籍者：その年度の在籍する全学生数

※留年者数：その年度の2年を超えて在籍している者（長期履修者を除く）

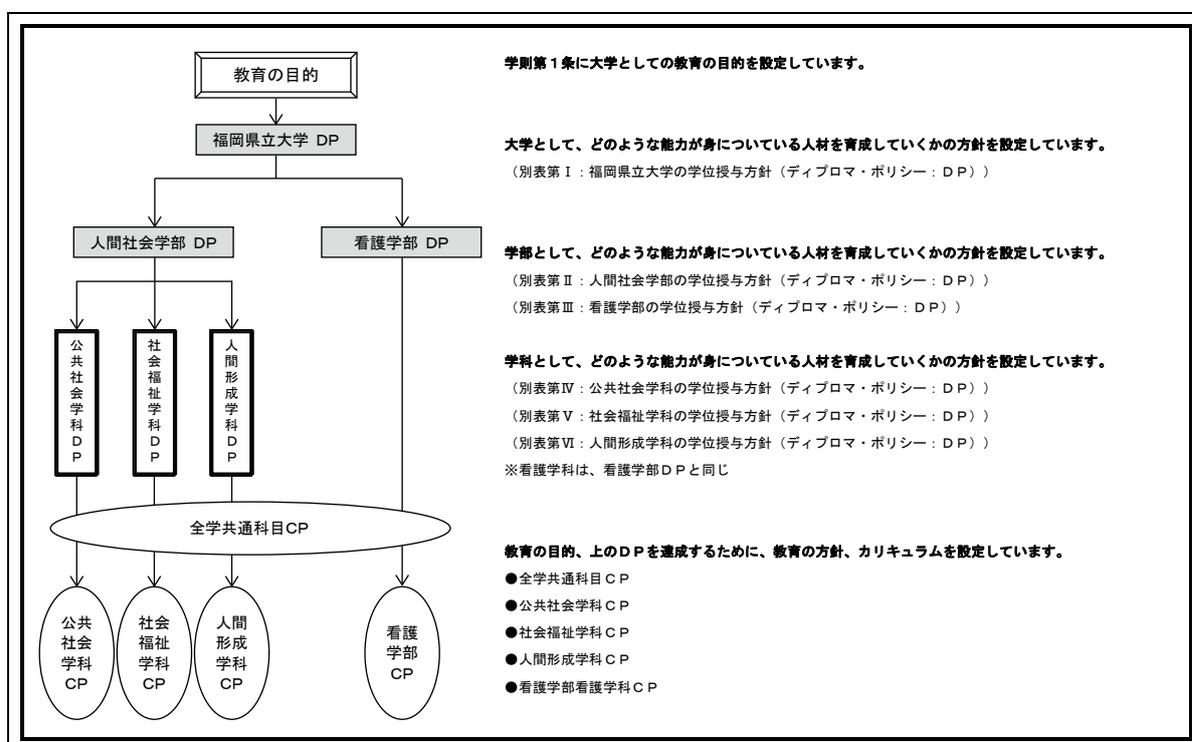
## IV. 教育

### 1. 学部

#### (1) ディプロマ・ポリシーとカリキュラム・ポリシー

ディプロマ・ポリシー（DP）とは、卒業認定・学位授与に関する基本的な方針のことを言い、本学を卒業することでどのような能力が身についているかを保証するものです。教育の目的を前提に、全学、各学部、各学科のDPを別表第Iから別表第VIのとおり定めています。

また、カリキュラム・ポリシー（CP）とは教育課程編成・実施方針のことを言い、教育の目的、上のDPを達成するために全学、各学科がそれぞれ教育課程の方針、カリキュラムを設定しています。



本学のDPは以下のように4つの領域、さらに10項目のポリシーに分かれており、これら10項目のポリシーのすべてが、4年間で履修する科目のいずれかに位置付けられています。

領域	ポリシー	
知識・理解	DP 1	教養・健康に関する知識
	DP 2	専門・隣接領域の知識
思考・判断・表現	DP 3	論理的思考・判断力
	DP 4	表現力
関心・意欲・態度	DP 5	挑戦力
	DP 6	社会貢献力
技能	DP 7	コミュニケーション力
	DP 8	情報リテラシー
	DP 9	健康スキル
	DP 10	専門分野のスキル

別表第Ⅰ. 福岡県立大学の学位授与方針（ディプロマ・ポリシー：DP）

領域	ポリシー	
知識・理解	DP 1	<input type="checkbox"/> 文化の向上に貢献するための教養・健康に関する知識を有している。
	DP 2	<input type="checkbox"/> 保健・福祉の増進に関する知識を有している。 <input type="checkbox"/> 専門領域に隣接する諸科学の知識を有している。
思考・判断・表現	DP 3	<input type="checkbox"/> 保健・福祉に関する諸問題を専門的知識に基づいて論理的に思考することができる。 <input type="checkbox"/> 社会の諸問題に対し、資料を収集・考察し、結論を見出すことができる。
	DP 4	<input type="checkbox"/> 専門的知識に基づいて自らの考えを適切に他者に説明することができる。
関心・意欲・態度	DP 5	<input type="checkbox"/> 保健・福祉の増進に寄与するために主体的・意欲的に活動することができる。
	DP 6	<input type="checkbox"/> 問題解決に関わる専門分野のスキルを地域社会の発展に活かすことができる。
技能	DP 7	<input type="checkbox"/> 異文化の人々と基本的なコミュニケーションを行うことができる。
	DP 8	<input type="checkbox"/> 基礎的な情報リテラシーを身につけている。
	DP 9	<input type="checkbox"/> 自らの健康を維持し高める基礎技能を身につけている。
	DP 10	<input type="checkbox"/> 保健・福祉の増進に寄与するための専門分野のスキルを身につけている。

別表第Ⅱ. 人間社会学部の学位授与方針（ディプロマ・ポリシー：DP）

領域	ポリシー	
知識・理解	DP 1	<input type="checkbox"/> 福祉社会に貢献するための教養・健康に関する知識を幅広く有している。
	DP 2	<input type="checkbox"/> 人間・社会に関する専門的知識を理解している。 <input type="checkbox"/> 専門領域に隣接する諸科学の知識を有している。
思考・判断・表現	DP 3	<input type="checkbox"/> 人間・社会の諸問題を専門的知識に基づいて論理的に思考することができる。 <input type="checkbox"/> 人間・社会の諸問題に関する資料を収集・考察し、結論を見出すことができる。
	DP 4	<input type="checkbox"/> 専門的知識に基づいて、自らの考えを適切に他者に説明することができる。
関心・意欲・態度	DP 5	<input type="checkbox"/> 自ら問いを立て自己の判断を発表するに至るまで、主体的に活動することができる。 <input type="checkbox"/> 人間・社会に関する諸問題を主体的かつ意欲的に探究することができる。
	DP 6	<input type="checkbox"/> 問題解決に関わる専門分野のスキルを社会に活かすことができる。
技能	DP 7	<input type="checkbox"/> 国際化する現代社会に対応できるように外国語を用いて、基礎的なコミュニケーションを行うことができる。
	DP 8	<input type="checkbox"/> 現代の情報化社会に対応できるような基礎的な情報リテラシーを身につけている。
	DP 9	<input type="checkbox"/> 福祉社会に必要な、自らの健康を維持し高める基礎技能を身につけている。
	DP 10	<input type="checkbox"/> 人間・社会の諸問題に対する検討手法を身につけている。 <input type="checkbox"/> 人間・社会の諸問題に対応するための専門的スキルを身につけている。

別表第三 看護学部の学位授与方針（ディプロマ・ポリシー：DP）

領域	ポリシー	
知識・理解	DP 1	<input type="checkbox"/> 人間を理解するための学術的な幅広い知識を有している。
	DP 2	<input type="checkbox"/> ホリスティックな視点から生活する人間を理解している。 <input type="checkbox"/> 人々の健康を支援するために必要な看護の専門知識を有している。 <input type="checkbox"/> 専門領域に隣接する諸科学の知識を有している。
思考・判断・表現	DP 3	<input type="checkbox"/> 対象が抱えている健康問題や課題の本質を多角的視点から思考・判断できる。 <input type="checkbox"/> 社会の諸問題に対し、資料を収集・考察し、結論を見いだすことができる。 <input type="checkbox"/> 人間が本来持っている潜在的な力を引き出すための基礎的看護ケアを選択できる。 <input type="checkbox"/> 看護の専門的視点で関連する諸問題を統合し、適切な看護を選択できる。
	DP 4	<input type="checkbox"/> 他者の意見を受け入れる柔軟な思考をもち、自己と他者の相違点を把握した上で、論点となる考えについて自己の意見を述べるができる。
関心・意欲・態度	DP 5	<input type="checkbox"/> 学びの過程で生じる疑問に対し、解決のための主体的な行動が取れる。 <input type="checkbox"/> 他者に対する深い思いと関心をもち、よりよい人間関係を構築するための態度を示すことができる。 <input type="checkbox"/> 対象の健康問題や課題選択のために、多職種と協働・連携する意欲と態度を示すことができる。
	DP 6	<input type="checkbox"/> 看護の役割を自覚し、人々の健康に関する諸課題を探求することができる。
技能	DP 7	<input type="checkbox"/> 異文化の人々と基礎的なコミュニケーションができる。
	DP 8	<input type="checkbox"/> 時代の変化にあわせた情報リテラシーを活用できる。
	DP 9	<input type="checkbox"/> 自らの健康を維持するための基礎的スキルを身につけている。
	DP 10	<input type="checkbox"/> あらゆる健康レベルにある対象に対し、看護の専門技術を用いて、安全で適切な看護が提供できる。

別表第四 人間社会学部公共社会学科の学位授与方針（ディプロマ・ポリシー：DP）

領域	ポリシー	
知識・理解	DP 1	<input type="checkbox"/> 福祉社会に貢献するための教養として人文科学、社会科学、自然科学および学際的な知識を幅広く身につけている。 <input type="checkbox"/> 福祉社会に貢献するために健康に関する基礎知識を身につけている。
	DP 2	<input type="checkbox"/> 社会学を中心とする社会科学の専門知識を身につけている。 <input type="checkbox"/> 異なる文化や価値観に対して、客観的に理解できる。 <input type="checkbox"/> 社会的事象の歴史的背景や現状の多様性を理解できる。 <input type="checkbox"/> 社会福祉学、心理学、教育学等、人間と社会に関連する幅広い諸科学の知識を身につけている。
思考・判断・表現	DP 3	<input type="checkbox"/> 人間・社会の諸問題に関する資料の収集とその考察によって、結論を見いだすことができる。 <input type="checkbox"/> 社会的事象に関する問題を、公共性の観点から整理できる。
	DP 4	<input type="checkbox"/> 自らの考えを適切に他者に説明することができる。 <input type="checkbox"/> 社会的課題の背景を論理的に説明し、それへの対応を提示できる。
関心・意欲・態度	DP 5	<input type="checkbox"/> 自ら問いを立て自己の判断を発表するに至るまで、主体的に活動することができる。 <input type="checkbox"/> 様々な社会問題や異なる文化・価値観に深い関心をもち、主体的に学習できる。
	DP 6	<input type="checkbox"/> 公共性に根差した問題解決能力を高め、社会に働きかけることができる。
技能	DP 7	<input type="checkbox"/> 国際化する現代社会に対応できるように英語の他、韓国語、中国語、フランス語、ドイツ語のいずれかを用いて、基礎的なコミュニケーションを行うことができる。
	DP 8	<input type="checkbox"/> 現代の情報化社会に対応できるような基礎的な情報リテラシーを身につけている。
	DP 9	<input type="checkbox"/> 福祉社会に必要な、自らの健康を維持し高める基礎技能を身につけている。
	DP 10	<input type="checkbox"/> 社会的課題を取り扱う際に、先行研究や各種の資料を適切に収集できる。 <input type="checkbox"/> 社会的課題を取り扱う際に、社会科学的に的確に観察、調査、分析できる。

別表第Ⅴ. 人間社会学部社会福祉学科の学位授与方針（ディプロマ・ポリシー：DP）

領域	ポリシー	
知識・理解	DP 1	<input type="checkbox"/> 福祉社会に貢献するための教養として人文科学、社会科学、自然科学および学際的な知識を幅広く身につけている。 <input type="checkbox"/> 福祉社会に貢献するために健康に関する基礎知識を身につけている。
	DP 2	<input type="checkbox"/> 人間の自由と尊厳、および人権と社会正義に関する知識を理解している。 <input type="checkbox"/> 社会保障・社会福祉の制度・政策およびソーシャルワークに関する専門知識を体系的に理解している。 <input type="checkbox"/> 社会学や心理学等、人間と社会に関連する幅広い諸科学の知識を理解している。
思考・判断・表現	DP 3	<input type="checkbox"/> 人間・社会の諸問題に関する資料の収集とその考察によって、結論を見いだすことができる。 <input type="checkbox"/> 社会福祉およびそれに関連する問題について根拠に基づいて考察することができる。
	DP 4	<input type="checkbox"/> 自らの考えを適切に他者に説明することができる。 <input type="checkbox"/> 自らが主体的に設定した社会福祉に関わる課題について探究し、その成果を論理的に表現できる。
関心・意欲・態度	DP 5	<input type="checkbox"/> 自ら問いを立て自己の判断を発表するに至るまで、主体的に活動することができる。 <input type="checkbox"/> 社会福祉およびそれに関連する問題に関心を持ち、それに取り組む意欲を示すことができる。
	DP 6	<input type="checkbox"/> ソーシャルワーカーとしての倫理に従って行動する意欲と態度を示すことができる。 <input type="checkbox"/> ソーシャルワーカーとしての専門性を継続的に高めていく意欲と態度を示すことができる。
技能	DP 7	<input type="checkbox"/> 国際化する現代社会に対応できるように英語の他、コリア語、中国語、フランス語、ドイツ語のいずれかを用いて、基礎的なコミュニケーションを行うことができる。
	DP 8	<input type="checkbox"/> 現代の情報化社会に対応できるような基礎的な情報リテラシーを身につけている。
	DP 9	<input type="checkbox"/> 福祉社会に必要な、自らの健康を維持し高める基礎技能を身につけている。
	DP 10	<input type="checkbox"/> ソーシャルワークの価値と専門知識を基にして、人間の福祉（ウェルビーイング）を高めるためのソーシャルワーク・スキルを習得している。 <input type="checkbox"/> 社会福祉に関する問題について、先行研究や各種の資料を適切に収集し、分析できる。

別表第Ⅵ. 人間社会学部人間形成学科の学位授与方針（ディプロマ・ポリシー：DP）

領域	ポリシー	
知識・理解	DP 1	<input type="checkbox"/> 福祉社会に貢献するための教養として人文科学、社会科学、自然科学および学際的な知識を幅広く身につけている。 <input type="checkbox"/> 福祉社会に貢献するために健康に関する基礎知識を身につけている。
	DP 2	<input type="checkbox"/> 乳幼児期から高齢期に至る人間の形成過程における教育および心身に関わる専門的知識を体系的に身につけている。 <input type="checkbox"/> 人間の生涯にわたる心身に関わる発達のしくみとそこに生きる人間に対する教育または心理的援助のあり方を理解している。 <input type="checkbox"/> 社会学、社会福祉学等、人間と社会に関連する幅広い諸科学の知識を理解している。
思考・判断・表現	DP 3	<input type="checkbox"/> 人間・社会の諸問題に関する資料の収集とその考察によって、結論を見いだすことができる。 <input type="checkbox"/> 生涯にわたる教育および心身に関する現代的課題について考察することができる。 <input type="checkbox"/> 関連する諸問題に対して教育または心理的援助の適切な対応を検討できる。
	DP 4	<input type="checkbox"/> 自らの考えを適切に他者に説明することができる。 <input type="checkbox"/> 科学的手法を用いて導かれた自分の考えを適切に表現することができる。
関心・意欲・態度	DP 5	<input type="checkbox"/> 自ら問いを立て自己の判断を発表するに至るまで、主体的に活動することができる。 <input type="checkbox"/> 生涯にわたる教育および心身に関する課題を抽出し、探究することができる。
	DP 6	<input type="checkbox"/> 教育または心理的援助のスキルを用いて社会に活かすことができる。 <input type="checkbox"/> 教育または心理的援助に従事する立場の倫理・道徳に従って行動できる。
技能	DP 7	<input type="checkbox"/> 国際化する現代社会に対応できるように英語の他、コリア語、中国語、フランス語、ドイツ語のいずれかを用いて、基礎的なコミュニケーションを行うことができる。
	DP 8	<input type="checkbox"/> 現代の情報化社会に対応できるような基礎的な情報リテラシーを身につけている。
	DP 9	<input type="checkbox"/> 福祉社会に必要な、自らの健康を維持し高める基礎技能を身につけている。
	DP 10	<input type="checkbox"/> 生涯にわたる教育および心身に関する諸問題を検討するための科学的手法を身につけている。 <input type="checkbox"/> 生涯発達の観点から様々な立場にある人々に対する教育または心理的援助のスキルを修得している。

## ●全学共通科目 教育課程編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー：CP）

### 全学共通科目

全学共通科目は、専門教育の基礎の修得、および専門的職業人および社会人として求められる教養を身につけることを目的とした「教養科目」および「基礎科目」を設置する。

○教養科目・・・「教養科目」は、①学部における専門教育の基礎となる科目および②福祉社会の担い手となる専門的職業人として、また現代を生きる社会人として求められる教養を身につけることを目的とした科目群であり、「人文科学」、「社会科学」、「自然科学」および「総合科目」に関する科目を開設する。

○基礎科目・・・「基礎科目」は、①新入学生が大学での学習に速やかに移行するための導入教育、②現代の情報社会に対応するための情報リテラシー教育、③国際化社会に対応するための語学教育および④生涯を通じた健康の維持・増進のための知識と技術を身につける健康教育に関する科目群で構成され、「必須外国語」、「選択外国語」、「情報処理」、「健康科学」および「基礎ゼミ」を開設する。

## ●公共社会学科 教育課程編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー：CP）

人間社会学部公共社会学科では、教育目標を達成するために、以下の方針に基づき、教育課程を編成し、実施する。

全学共通科目から 47 単位以上、専門教育科目から 69 単位以上およびこれら 2 つの科目群の枠組みにとらわれない自由選択科目として 12 単位以上、合計 128 単位以上を修得する。

### 全学共通科目

全学共通科目は、専門教育の基礎の修得、および専門的職業人および社会人として求められる教養を身につけることを目的とした「教養科目」および「基礎科目」を設置する。

- 教養科目・・・
  - 基礎科目・・・
- } 全学共通科目 CP と同じ

### 両学部で学ぶ専門的連携科目

両学部で学ぶ専門的連携科目は、学生の社会参画力、現場で他の専門職と協働して課題解決にあたる実践的能力やスキルを身につけることを目的として、両学部で互いの専門性を学ぶ専門的連携科目を配置し、自由選択科目とする。

### 専門教育科目

専門教育科目は、公共性の視点に立ち、時代が要請し期待する様々な課題解決に応じていくことのできる人材の養成を目的として、「公共社会学基礎論」「社会調査・情報処理」「地域社会ネットワーク」「アジア国際共生」「関連科目」の 5 つの科目群で構成する。また、人間社会学部の学生として、学科間の壁を低くし、学際領域の教育研究を行うための「共通専門科目」を開設する。

- 公共社会学基礎論・・・公共性の基礎論となる科目を配置する。
- 社会調査・情報処理・・・時代が要請し期待する様々な課題解決に対応する能力を証明する社会調査士、上級情報処理士の資格取得に関連する科目を配置する。
- 地域社会ネットワーク・・・地域社会の現状分析と自立・協働・持続可能な地域社会運営のあり方を学ぶための科目を配置する。
- アジア国際共生・・・グローバル化する国際関係をふまえた共生のあり方を学ぶための科目を配置する。
- 教職に関する専門教育科目・・・高等学校教諭 1 種免許状（公民）・中学校教諭 1 種免許状（社会）の取得に関連する科目を配置する。
- 関連科目・・・公共性の視点に関連する哲学、歴史、法律、教育に関連する科目を配置する。
- 共通専門科目・・・共通専門科目は、公共社会学基礎論、社会調査・情報処理、他学科で開設される科目を配置する。
- 公共社会学研究Ⅰ・Ⅱ、卒業論文・・・公共社会学科における学びの集大成として、専門知識（DP2）、論理的思考・判断力（DP3）、表現力（DP4）、挑戦力（DP5）、社会貢献力（DP6）、専門分野のスキル（DP10）を身につけるための「公共社会学研究Ⅰ・Ⅱ」と「卒業論文」を 3, 4 年次に配置する。

※「全学共通科目」「専門教育科目」には、高等学校教諭 1 種免許状「公民」、中学校教諭 1 種免許状「社会」、社会教育主事任用資格（基礎資格）の取得に必要な科目を配置する。

## ●社会福祉学科 教育課程編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー：CP）

人間社会学部社会福祉学科では、教育目標を達成するために、以下の方針に基づき、教育課程を編成し実施する。

全学共通科目から47単位以上、専門教育科目から69単位以上およびこれら2つの科目群の枠組みにとられない自由選択科目として12単位以上、合計128単位以上を修得する。

### 全学共通科目

全学共通科目は、専門教育の基礎の修得、および専門的職業人および社会人として求められる教養を身につけることを目的とした「教養科目」および「基礎科目」を設置する。

- 教養科目・・・
  - 基礎科目・・・
- } 全学共通科目 CP と同じ

### 両学部で学ぶ専門的連携科目

両学部で学ぶ専門的連携科目は、学生の社会参画力、現場で他の専門職と協働して課題解決にあたる実践的能力やスキルを身につけることを目的として、両学部で互いの専門性を学ぶ専門的連携科目を配置し、自由選択科目とする。

### 専門教育科目

社会福祉学科の専門教育科目では、さまざまな生活上の困難をかかえる人々を支援し、その問題解決のために必要な制度・政策、そして具体的援助方法を学ぶことを目的として、「基礎部門」、「運営方法部門」、「分野対象部門」に加え、「実習」や「関連科目」から構成する。また、人間社会学部の学生として、学科間の壁を低くし、学際領域の教育研究を行うための「共通専門科目」を開設する。

- 基礎部門・・・社会福祉学の基盤となる概念、歴史、社会保障や法制度等を基礎部門として構成する。
- 運営方法部門・・・ソーシャルワークを実践していくうえで重要となる理論と方法について、相談援助、精神保健福祉援助、学校ソーシャルワークの3分野で運営方法部門を開設する。
- 分野対象部門・・・児童、老人、障害者、地域などの各専門領域に対応した分野対象部門を配置する。
- 実習・・・相談援助実習、精神保健福祉援助実習、学校ソーシャルワーク実習の各実習および実習指導で構成する。
- 関連科目・・・社会福祉学を学ぶうえでの関連科目として、医学、発達心理学、精神保健学などの科目を配置する。
- 共通専門科目
- 社会福祉学演習、卒業論文・・・社会福祉学科における学びの集大成として、論理的思考・判断力（DP3）、表現力（DP4）、能動的学修力（DP5）、専門的技術・分析力（DP10）を身につけるため、「社会福祉学演習」および「卒業論文」を3、4年次に配置する。

※社会福祉士および精神保健福祉士国家試験受験資格ならびにスクール（学校）ソーシャルワーク教育課程認定資格の取得に関連する指定科目を配置する。

## ●人間形成学科 教育課程編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー：CP）

人間社会学部人間形成学科では、教育目標を達成するために、以下の方針に基づき、教育課程を編成し実施する。

全学共通科目から 47 単位以上、専門教育科目から 69 単位以上およびこれら 2 つの科目群の枠組みにとられない自由選択科目として 12 単位以上、合計 128 単位以上を修得する。

### 全学共通科目

全学共通科目は、専門教育の基礎の修得、および専門的職業人および社会人として求められる教養を身につけることを目的とした「教養科目」および「基礎科目」を設置する。

- 教養科目・・・
  - 基礎科目・・・
- } 全学共通科目 CP と同じ

### 両学部で学ぶ専門的連携科目

両学部で学ぶ専門的連携科目は、学生の社会参画力、現場で他の専門職と協働して課題解決にあたる実践的能力やスキルを身につけることを目的として、両学部で互いの専門性を学ぶ専門的連携科目を配置し、自由選択科目とする。

### 専門教育科目

専門教育科目は、生涯発達の視点に立ち、乳幼児期から高齢期にいたる人間の形成過程とその諸問題に関する総合的な研究・教育と、教育的・心理臨床的な援助などに携わる専門的な人材育成を目的として、「基幹科目」、「展開科目」、「関連科目」の 3 つの科目群で構成する。また、人間社会学部の学生として、学科間の壁を低くし、学際領域の教育研究を行うための「共通専門科目」を開設する。

- 基幹科目・・・人間形成学科に共通する「生涯にわたる教育および心身に関する諸問題」および「教育または心理的援助」に関わる基礎的・基本的な科目群で構成する。
- 展開科目・・・「生涯にわたる教育のあり方」と「こころ・からだの変化」およびそれらの諸問題に関する科目をそれぞれ、次の 3 つの系に分類して開設する。
  - ①教育系：教育学・保育学を中心とした科目群
  - ②心理系：心理学を中心とした科目群
  - ③生涯発育系：保健学を中心とした科目群
- 関連科目・・・「生涯にわたる教育のあり方」と「こころ・からだの変化」およびそれらの諸問題に関する科目のうち、希望資格の取得に関連する科目を配置する。
- 共通専門科目・・・基幹科目の 2 科目、展開科目の 3 科目、他学科の専門教育科目（他学科開設）10 科目を指定して開設（他学科開設 3 科目以上、合計 6 科目以上を選択して修得）する。
- 演習、卒業論文（または卒業研究）・・・人間形成学科における学びの集大成として、専門知識（DP2）、論理的思考・判断力（DP3）、表現力（DP4）、挑戦力（DP5）、専門スキル（DP10）を身につけるための「演習」と「卒業論文（または卒業研究）」を 3、4 年次に配置する。

※「全学共通科目」および「専門教育科目」には、幼稚園教諭 1 種免許状、保育士資格、認定心理士資格、社会教育主事任用資格（基礎資格）の取得に必要な科目を配置する

## ●看護学部看護学科 教育課程編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー：CP）

看護学部看護学科では、教育目標を達成するために、以下の方針に基づき、教育課程を編成し実施する。

看護師国家試験受験資格に関する指定規則に基づき、全学共通科目から 20 単位以上、専門基礎科目から 10 単位以上、専門科目から 91 単位以上及びこれらの科目群の枠組みにとられない自由選択科目 7 単位以上、合計 128 単位以上を修得する。

### 全学共通科目

全学共通科目は、専門教育の基礎の修得、および専門的職業人および社会人として求められる教養を身につけることを目的とした「教養科目」および「基礎科目」を設置する。

- 教養科目・・・
  - 基礎科目・・・
- } 全学共通科目 CP と同じ

### 両学部で学ぶ専門的連携科目

両学部で学ぶ専門的連携科目は、学生の社会参画力、現場で他の専門職と協働して課題解決にあたる実践的能力やスキルを身につけることを目的として、両学部で互いの専門性を学ぶ専門的連携科目を配置し、自由選択科目とする。

### 専門基礎科目

専門基礎科目は、ホリスティック（全人的）な人間理解のもとに統合機能システムとしての人体を理解し、人間の本来持つ自然治癒力に焦点をあてたホリスティックケアができる能力を育成する科目として、「人間の見方と健康」と「人間と保健・医療」の2つの科目群を設定する。

### 専門科目

専門科目は、多面的・多角的な視点で、生活者としての人間をホリスティックに捉え、かつ、他職種と協働していく中で、看護の専門性・独自性を発揮し、看護を提案・実践できる能力の育成及び看護の役割を自覚し、将来看護学の発展に寄与できる能力の育成を目的として、「基盤看護学系科目」、「臨床看護学系科目」、「ヘルスプロモーション看護学系科目」、「看護の総合力と研究能力を身につける科目」の4つの科目群を設定し、学習の効果が最大限に上がるように講義終了後に、演習や臨地実習を積み重ね方式で配置している。

- 基盤看護学系科目・・・看護の基盤形成と育成のための基礎能力を身につける科目と看護の基礎的な技術力を強化する科目群－実験看護学、基礎看護学、臨床機能看護学
- 臨床看護学系科目・・・看護実践の理論的根拠と技術の習得及び看護の展開能力を育成するための科目群－精神看護学、成人看護学、老年看護学、女性看護学、小児看護学
- ヘルスプロモーション看護学系科目・・・ヘルスプロモーションの理念に基づく看護実践の理論的根拠と技術の習得及び看護の展開能力を育成するための科目群－在宅看護学、地域看護学
- 「看護の総合力と研究能力を身につける科目」・・・看護学部における学びのゴールとして、社会人になる前に、これまで身につけた専門知識、論理的思考、判断力、表現力、挑戦力、社会貢献力、コミュニケーション力、専門分野のスキルなどを再確認し、これらの能力を統合・定着させるための科目を 3、4 年次に配置する。これらの科目には「統合実習」、「専門看護学ゼミ」及び「卒業研究」があり、少人数制とし、専門領域の研究方

これらの科目には「統合実習」、「専門看護学ゼミ」及び「卒業研究」があり、少人数制とし、専門領域の研究手法と、自ら計画し行動する最終段階の科目として設定する（必修科目 6 単位）。

※「専門基礎科目」および「専門科目」において保健師国家試験受験資格、養護教諭一種免許取得するための必要な科目を配置する。

(2) 開設科目及び単位数

授業科目 「全学共通科目（教養科目）」

授業科目の区分と科目名		単位		授業方法	開設時期（標準履修年次）				卒業要件	
		必修	選択		1年次	2年次	3年次	4年次	人間社会学部	看護学部
教養科目	人文科学	哲学Ⅰ	2	講義	2				人文科学、社会科学、自然科学、総合科目から各4単位以上を修得し、かつ合計28単位以上	選択6単位以上
		哲学Ⅱ	2	講義	2					
		論理学	2	講義		2				
		宗教学	2	講義		2				
		心理学	2	講義	2					
		心の科学の現在	2	講義	2					
		日本近現代史	2	講義	2					
		アート論	2	講義	2					
		文学	2	講義	2					
	哲学的人間学	2	講義	2						
	社会学A	2	講義	2						
	社会学B	2	講義	2						
	法学	2	講義	2						
	憲法	2	講義	2						
	政治学Ⅰ	2	講義		2					
	政治学Ⅱ	2	講義		2					
	経済学A	2	講義	2						
	経済学B	2	講義	2						
	国際関係論	2	講義	2						
	社会思想史	2	講義		2					
	自然科学	科学史	2	講義		2				
	生物学	2	講義	2						
	化学	2	講義	2						
	物理学	2	講義	2						
	統計学	2	講義	2						
	情報科学	2	講義	2						
	環境科学A	2	講義	2						
	環境科学B	2	講義	2						
総合科目	人権論	2	講義	2						
比較文化論	2	講義	2							
女性学	2	講義			*1 2	*2 2				
人間関係の科学	2	講義			2					
ヒューマンエコロジー	2	講義			*1 2	*2 2				
現代社会と嗜癖	2	講義	2							
性教育学	2	講義			*1 2	*2 2				
ケアリング・サイエンス	2	講義			*1 2	*2 2				

注1：「社会学A」「社会学B」は、公共社会学科の必修指定科目である。

2：教員免許状（高校教諭一種（公民）、中学校教諭一種（社会）、養護教諭一種、養護教諭二種、幼稚園教諭一種）取得希望者は、「憲法」を必ず履修しなければならない。

3：※1は人間社会学部、※2は看護学部の標準履修年次であり異学年同時開講となる。

授業科目 「全学共通科目（基礎科目）」

授業科目の区分と科目名		単位		授業方法	開設時期（標準履修年次）				卒業要件	
		必修	選択		1年次	2年次	3年次	4年次	人間社会学部	看護学部
必須外国語	英語Ⅰ-(1)	1		演習	1				必修 6単位	
	英語Ⅰ-(2)	1		演習	1					
	英語Ⅱ-(1)	1		演習	1					
	英語Ⅱ-(2)	1		演習	1					
	英語Ⅲ-(1)	1		演習		1				
	英語Ⅲ-(2)	1		演習		1				
	リーディングⅠ	1		演習	1				必修 6単位	
	リーディングⅡ	1		演習		1				
	ライティング	1		演習	1					
	オーラルコミュニケーションⅠ	1		演習	1					
オーラルコミュニケーションⅡ	1		演習	1						
オーラルコミュニケーションⅢ	1		演習		1					
基礎科目 選択外国語	英語Ⅳ-(1)		1	演習			1		海外語学実習、海外語学実習事前指導、Introduction to studying in Englishを除いた科目の中から選択して6単位以上  ※入学後2年間は選択外国語を変更することはできない。なお履修パターンは別途指示する。	英語Ⅳ-(1)、英語Ⅳ-(2)、韓国語Ⅲ-(1)、韓国語Ⅲ-(2)、中国語Ⅲ-(1)、中国語Ⅲ-(2)、海外語学実習、海外語学実習事前指導、Introduction to studying in Englishを除いた科目の中から選択して2単位以上
	英語Ⅳ-(2)		1	演習			1			
	リーディングⅢ		1	演習				1		
	韓国語Ⅰ-(1)		1	演習	1					
	韓国語Ⅰ-(2)		1	演習	1					
	韓国語Ⅱ-(1)		1	演習		1				
	韓国語Ⅱ-(2)		1	演習		1				
	韓国語Ⅲ-(1)		1	演習			1			
	韓国語Ⅲ-(2)		1	演習			1			
	中国語Ⅰ-(1)		1	演習	1					
	中国語Ⅰ-(2)		1	演習	1					
	中国語Ⅱ-(1)		1	演習		1				
	中国語Ⅱ-(2)		1	演習		1				
	中国語Ⅲ-(1)		1	演習			1			
	中国語Ⅲ-(2)		1	演習			1			
	仏語Ⅰ-(1)		1	演習	1					
	仏語Ⅰ-(2)		1	演習	1					
	仏語Ⅱ-(1)		1	演習		1				
	仏語Ⅱ-(2)		1	演習		1				
	独語Ⅰ-(1)		1	演習	1					
	独語Ⅰ-(2)		1	演習	1					
	独語Ⅱ-(1)		1	演習		1				
	独語Ⅱ-(2)		1	演習		1				
海外語学実習事前指導		1	演習			1				
海外語学実習		1	演習			1				
Introduction to studying in English		1	演習	1						
情報処理	情報処理の基礎と演習	2		演習	2				必修2単位	
	情報処理演習Ⅰ	1		演習	1					必修1単位
	情報処理演習Ⅱ		1	演習	1					
健康科学	保健理論		2	講義	2				選択必修2単位	
	健康スポーツ論		2	講義	2					
	健康科学実習Ⅰ	1		☆実習	1				必修2単位	必修2単位
	健康科学実習Ⅱ	1		☆実習	1					
基礎ゼミ	教養演習	1		演習	1				必修1単位	必修1単位

注1：必修外国語のうち、リーディングⅠ・Ⅱ・Ⅲ、ライティング、オーラルコミュニケーションⅠ・Ⅱ・Ⅲは、看護学部学生が履修し、その他は人間社会学部学生が履修する授業である。

2：英語を除く外国語のうち、韓国語Ⅲ-(1)、Ⅲ-(2)、中国語Ⅲ-(1)、Ⅲ-(2)は、人間社会学部学生が履修する授業である。

3：海外語学実習、海外語学実習指導、Introduction to studying in English は選択外国語の単位数には含まれないが、自由選択の単位となる。

4：Introduction to studying in English、情報処理の基礎と演習、保健理論、健康スポーツ論は人間社会学部学生が履修し、情報処理演習Ⅰ、情報処理演習Ⅱは看護学部学生が履修する授業である。

5：授業方法欄の「☆実習」は、毎週1回（90分）で半期、原則として15回の授業となる。

公共社会学科「専門教育科目」(※は共通専門科目)

授業科目の区分と科目名		単位		授業方法	開設時期(標準履修年次)				備考
		必修	選択		1年次	2年次	3年次	4年次	
公共社会学基礎論	社会学概論	2		講義		2			
	社会学史Ⅰ	2		講義	2				
	社会学史Ⅱ	2		講義	2				
	公共性研究A(公共性の社会学)	2		講義	2				
	公共性研究B(地方自治基礎論)		2	講義	2				
	※公共性研究C-I(社会保障論Ⅰ)		2	講義			2		
	※公共性研究C-II(社会保障論Ⅱ)		2	講義			2		
	社会学の分析法A(マイクロ理論)		2	講義			2		
	社会学の分析法B(集団・組織論)		2	講義			2		
	社会学の分析法C(マクロ理論)		2	講義			2		
	現代社会論A(ジェンダー・世代)		2	講義		2			
	現代社会論B(情報社会論)		2	講義		2			
	現代社会論C(情報社会と法)		2	講義		2			
	※家族社会学Ⅰ		2	講義		2			
	※家族社会学Ⅱ		2	講義		2			
	福祉社会学		2	講義			2		
	社会病理学		2	講義		2			
	社会変動と社会問題		2	講義			2		
	集合行動論		2	講義			2		
	公共人類学A		2	講義			2		
	公共人類学B		2	講義			2		
	労働経済論A		2	講義		2			
	労働経済論B		2	講義		2			
	CSR(企業の社会的責任)論		2	講義			2		
	※社会心理学		2	講義	2				
	※パーソナリティ論		2	講義	2				人間形成学科の人格心理学と共通
社会調査・情報処理	社会調査法	2		講義		2			
	社会調査の設計		2	講義		2			
	データ分析の基礎		2	講義			2		
	社会統計学Ⅰ		2	講義		2			
	社会統計学Ⅱ		2	講義		2			
	質的調査法		2	講義		2			
	※データ処理とデータ解析Ⅰ	1		演習			1		
	※データ処理とデータ解析Ⅱ		1	演習			1		
	社会調査実習		2	実習			2		通年
	情報数学		2	講義		2			
プログラミング概論		2	講義		2				
地域社会ネットワーク	地域社会学Ⅰ		2	講義	2				
	地域社会学Ⅱ		2	講義			2		
	コミュニティ論		2	講義		2			
	都市社会学		2	講義	2				
	地域社会学特講		2	講義			2		
	地域社会分析法A(地域と生活)		2	講義			2		
	地域社会分析法B(住民参加)		2	講義			2		
	地域社会分析法C(地理)		2	講義			2		
	環境社会学		2	講義			2		
	地理学概論		2	講義		2			
	地方自治論		2	講義			2		
	地域社会研究Ⅰ		1	演習		1			選択必修
	地域社会研究Ⅱ		1	演習		1			選択必修
	地域保健論		2	講義			2		
地域計画論		2	講義			2			
社会福祉計画論		2	講義			2		社会福祉学科の福祉行政と福祉計画と共通	

授業科目の区分と科目名		単位		授業方法	開設時期（標準履修年次）				備考
		必修	選択		1年次	2年次	3年次	4年次	
アジア 国際 共生	国際社会学Ⅰ		2	講義	2				
	国際社会学Ⅱ		2	講義	2				
	国際政治学		2	講義	2				
	多文化社会論		2	講義		2			
	国際社会福祉論		2	講義			2	(2)	隔年開講
	世界地理		2	講義	2				
	東アジア関係史		2	講義		2			
	韓国の社会と文化		2	講義		2			
	中国の社会と文化		2	講義		2			
	イスラム社会論		2	講義		2			
	文化人類学Ⅰ		2	講義		2			
	文化人類学Ⅱ		2	講義		2			
	国際教育文化交流論		2	講義			2		
	国際共生研究Ⅰ		1	演習		1			選択必修
	国際共生研究Ⅱ		1	演習		1			選択必修
	NPO論		2	講義			2		
	国際協力論		2	講義			2		
	外書講読A		1	演習			1		
	外書講読B		1	演習			1		
関連 科目	哲学要論		2	演習			2		
	倫理学		2	講義			2		
	日本史概論		2	講義		2			
	西洋史概論		2	講義		2			
	法律学概論Ⅰ		2	講義			2		
	法律学概論Ⅱ		2	講義			2		
	比較教育学		2	講義		2			開講しない
教育社会学		2	講義			2			
共通 専門 科目 （他 学科 開設）	※ 社会福祉学概論Ⅰ		2	講義	2				
	※ 地域福祉論Ⅰ		2	講義			2		
	※ 地域福祉論Ⅱ		2	講義			2		
	※ 教育学概論B		2	講義	2				
	※ 生涯教育論		2	講義		2			
	※ 社会教育論		2	講義		2			
	※ コミュニケーション論		2	講義	2				
	公共社会学研究Ⅰ	1		演習			1		
	公共社会学研究Ⅱ	1		演習			1		
	卒業論文	6						6	

※ 共通専門科目は、他学科で開設される3科目以上を含んで、6科目以上選択必修。

注1：地域社会研究Ⅰ、国際共生研究Ⅰは1科目選択必修。

2：地域社会研究Ⅱ、国際共生研究Ⅱは1科目選択必修。

社会福祉学科「専門教育科目」(※は共通専門科目)

	授業科目の区分と科目名	単位		授業方法	開設時期(標準履修年次)				備考
		必修	選択		1年次	2年次	3年次	4年次	
基礎部門	※社会福祉学概論Ⅰ	2		講義	2				
	社会福祉学概論Ⅱ	2		講義	2				
	※社会保障論Ⅰ		2	講義		2			
	※社会保障論Ⅱ		2	講義		2			
	社会福祉史入門		2	講義	2				
	社会福祉発達史		2	講義			2		
	社会福祉法制論A		2	講義			2		
	社会福祉法制論B		2	講義			2		
	福祉社会学		2	講義			2		
	社会病理学		2	講義		2			
	コミュニティ論		2	講義		2			
	社会福祉学演習	2		演習				2	3年次～4年次
運営方法部門	福祉行政と福祉計画		2	講義			2		公共社会学科の社会福祉計画論と共通
	福祉経営論		2	講義			2		
	相談援助の基盤と専門職Ⅰ	2		講義	2				
	相談援助の基盤と専門職Ⅱ	2		講義	2				
	相談援助の理論と方法A		2	講義		2			
	相談援助の理論と方法B		2	講義		2			
	相談援助の理論と方法C		2	講義		2			
	相談援助の理論と方法D		2	講義			2		
	社会福祉調査法		2	講義			2		
	相談援助演習A		2	演習		2			
	相談援助演習B		2	演習			2		
	相談援助演習C		1	演習			1		
	介護技術演習		1	演習			1		
	精神保健福祉相談援助の基盤(専門)		2	講義		2			
	精神保健福祉援助技術各論Ⅰ		2	講義			2		
	精神保健福祉援助技術各論Ⅱ		2	講義			2		
	精神保健福祉援助演習		2	演習				2	3年次～4年次
	学校ソーシャルワーク論		2	講義			2		
学校ソーシャルワーク演習		1	演習				1		
分野対象部門	公的扶助論		2	講義		2			
	児童福祉論		2	講義		2			
	障害者福祉論		2	講義		2			
	老人福祉論		2	講義		2			
	介護福祉論		2	講義		2			
	精神保健福祉論Ⅰ		2	講義		2			
	精神保健福祉論Ⅱ		2	講義			2		
	精神保健福祉論Ⅲ		2	講義			2		
	※地域福祉論Ⅰ		2	講義			2		
	※地域福祉論Ⅱ		2	講義			2		
	家族福祉論		2	講義			2		
	保健医療論		2	講義		2			
	国際社会福祉論		2	講義			(2)	2	隔年開講 平成27年度は開講しない
	就労支援		1	講義		1			
	権利擁護と成年後見制度		2	講義			2		
	更生保護		1	講義		1			
	特講	社会福祉特講A		2	講義		(2)	2	
社会福祉特講B			2	講義	2				人間形成学科の思春期保健と共通
社会福祉特講C			2	講義			2		

授業科目の区分と科目名		単位		授業方法	開設時期（標準履修年次）				備考
		必修	選択		1年次	2年次	3年次	4年次	
実習	社会福祉調査実習		1	実習			1		
	相談援助実習		4	実習			4		
	相談援助実習指導		3	演習			3		2年次～3年次
	精神保健福祉援助実習		5	実習			5		3年次～4年次
	精神保健福祉援助実習指導		3	演習			3		3年次～4年次
	学校ソーシャルワーク実習		2	実習				2	
	学校ソーシャルワーク実習指導		1	演習				1	
関連科目	医学概論		2	講義	2				
	倫理学		2	講義		2			
	公衆保健		2	講義		2			
	福祉機器論		2	講義			2		
	外書講読		1	演習			1		
	地方自治論		2	講義			2		
	労働経済論A		2	講義		2			
	労働経済論B		2	講義		2			
	現代社会論A（ジェンダー・世代）		2	講義		2			
	現代社会論B（情報社会論）		2	講義		2			
	地域社会学Ⅰ		2	講義	2				
	地域社会学Ⅱ		2	講義			2		
	NPO論		2	講義			2		
	家族法		2	講義			(2)	2	隔年開講 平成28年度は開講しない
	住環境論		2	講義			(2)	2	隔年開講 平成28年度は開講しない
	発達心理学Ⅰ-A		2	講義	2				
	発達心理学Ⅱ		2	講義	2				
	発達心理学Ⅲ		2	講義		2			
	老年心理学		2	講義			2		
	老年期医学		2	講義			2		
	精神保健学Ⅰ		2	講義		2			人間形成学科の精神保健学と共通
	精神保健学Ⅱ		2	講義		2			
精神医学Ⅰ		2	講義			2			
精神医学Ⅱ		2	講義			2			
精神科リハビリテーション学Ⅰ		2	講義			2			
精神科リハビリテーション学Ⅱ		2	講義			2			
共通専門科目（他学科開設）	※社会心理学		2	講義	2				
	※データ処理とデータ解析Ⅰ		1	演習			1		
	※データ処理とデータ解析Ⅱ		1	演習			1		
	※家族社会学Ⅰ		2	講義		2			
	※家族社会学Ⅱ		2	講義		2			
	※教育学概論B		2	講義	2				
	※生涯教育論		2	講義		2			
	※社会教育論		2	講義		2			
	※パーソナリティ論		2	講義	2				人間形成学科の人格心理学と共通
	※コミュニケーション論		2	講義	2				
卒業論文		6					6		

※共通専門科目は、他学科で開設される3科目以上を含んで、6科目以上選択必修

人間形成学科「専門教育科目」(※は共通専門科目)

区分	授業科目	単位		授業方法	開設時期(標準履修年次)				備考
		必修	選択		1年次	2年次	3年次	4年次	
基幹科目	教育学概論A		2	講義	2				選択必修(保育士資格・幼稚園教諭免許取得希望者)
	※教育学概論B		2	講義	2				選択必修
	教育思想論	2		講義		2			
	※生涯教育論	2		講義		2			
	教育社会学		2	講義			2		
	発達心理学Ⅰ-A		2	講義	2				選択必修
	発達心理学Ⅰ-B		2	講義	2				選択必修(保育士資格・幼稚園教諭免許取得希望者)
	発達心理学Ⅱ	2		講義	2				
	教育心理学概論		2	講義		2			選択必修
	幼児教育心理学		2	☆演習		2			選択必修(保育士資格・幼稚園教諭免許取得希望者)
	生理心理学Ⅰ		2	講義		2			
	心身科学A	2		講義		2			
	心身科学B	2		講義		2			
	発育論		2	講義	2				開講しない
加齢基礎論		2	講義		2				
展開科目	教育史		2	講義		2			
	公共人類学B(教育)		2	講義			2		
	教育制度論		2	講義			2		
	教育内容論		2	講義			2		
	教育方法論		2	講義			2		
	比較教育学		2	講義		2			開講しない
	教育評価		2	講義			2		
	保育学		2	講義		2			
	保育課程論		2	講義		2			
	保育方法論		2	講義			2		
	保育者論		2	講義	2				
	保育内容総論		2	☆演習		2			
	保育内容演習		2	☆演習				2	
	※社会教育論		2	講義		2			
	社会教育計画論Ⅰ		2	講義			2		
	社会教育計画論Ⅱ		2	講義			2		
	図書館情報学		2	講義			(2)	2	隔年開講 平成29年度は開講しない
	社会教育演習		2	演習			2		
心理系	生理心理学Ⅱ		2	講義		2			
	知覚心理学		2	講義			2		
	認知心理学		2	講義			2		
	比較行動学		2	講義				2	開講しない
	学習心理学		2	講義			2		
	※人格心理学		2	講義	2				公共社会学科のパーソナリティ論と共通
	発達心理学Ⅲ		2	講義		2			
	老年心理学		2	講義			2		
	※コミュニケーション論		2	講義	2				
	集団力学		2	講義		2			
	家族心理学		2	講義				2	
	組織心理学		2	講義			2		
	臨床心理学		2	講義			2		
	障害者(児)心理学		2	講義				2	
カウンセリング		2	講義				2		
実験測定法Ⅰ		2	☆演習		2				
実験測定法Ⅱ		2	☆演習		2				

区分	授業科目	単位		授業方法	開設時期(標準履修年次)				備考
		必修	選択		1年次	2年次	3年次	4年次	
(展 開 科 目)	生 涯 発 育 系		2	講義		2			開講しない
			1	実習			1		開講しない
			2	演習			2		
			2	講義	2				
			2	講義	2				
			2	講義		2			開講しない
			1	演習		1			
			2	講義				2	開講しない
			2	講義	2				社会福祉学科の社会福祉特講Bと共通
			2	講義			2	(2)	隔年開講 平成28年度は開講しない
			2	講義			2		
			2	講義			2		社会福祉学科の精神保健学 I と共通
関 連 科 目		1	演習			1			
		1	演習			1			
		1	演習			1			
		1	演習			1			
		1	演習		1				
		1	演習		1				
		1	演習		1				
		1	演習			1			
		1	演習			1			
		2	☆演習			2			
		2	演習		2				
		2	講義			2			
		2	講義				2		
		2	講義				2		
		1	演習				1		
		2	演習	2					
		2	演習		2				
		2	演習	2					
		2	演習		2				
		2	演習			2			
		2	☆演習			2			
		2	講義			2			
		2	実習		2			開講しない	
		2	講義			2			
		2	講義		2				
		1	演習			1			
		1	演習			1			
		2	講義				2		
		2	☆演習				2		
		1	実習			1		3年次後期～4年次前期	
		2	実習			2			
		2	実習				2		
	2	演習		2			2年次後期～3年次前期		
	4	実習			4				
	1	演習			1				

区分	授 業 科 目	単 位		授 業 方法	開設時期（標準履修年次）				備 考
		必修	選択		1年次	2年次	3年次	4年次	
（ 関 連 科 目 ）	保育実習Ⅱ		2	実習			2		
	保育実習指導Ⅲ		1	演習			1		
	保育実習Ⅲ		2	実習			2		
	相談援助		1	演習		1			
	児童家庭福祉		2	講義		2			社会福祉学科の児童福祉論と共通
	国際教育文化交流論		2	講義			2		
	社会教育特講A		2	講義		2			
	社会教育特講B		2	講義			2		
	社会教育特講C		2	講義			2		
	社会教育特講D		2	講義	2				
	社会教育特講E		2	講義		2			
	キャリア教育論		2	講義			2		
	現代社会論C		2	講義			2		
	社会統計学Ⅰ		2	講義		2			
	社会調査法		2	講義		2			
医学概論		2	講義	2					
共通専門科目（他学科開設）	※社会心理学		2	講義	2				
	※データ処理とデータ解析Ⅰ		1	演習			1		
	※データ処理とデータ解析Ⅱ		1	演習			1		
	※家族社会学Ⅰ		2	講義		2			
	※家族社会学Ⅱ		2	講義		2			
	※社会福祉学概論Ⅰ		2	講義	2				
	※社会保障論Ⅰ		2	講義		2			
	※社会保障論Ⅱ		2	講義		2			
	※地域福祉論Ⅰ		2	講義			2		
	※地域福祉論Ⅱ		2	講義			2		
	演習	2		演習			2		3年次後期～4年次前期
	卒業論文		6					6	1科目選択必修
	卒業研究		6					6	

※ 共通専門科目は、他学科で開設される3科目以上を含んで、6科目以上選択必修。

注：授業方法欄の「☆演習」は、毎週1回（90分）で半期、原則として15回の授業となる。

看護学部「専門基礎科目」

授業科目の区分と科目名		単位		授業方法	開設時期（標準履修年次）				条 件
		必修	選択		1年次	2年次	3年次	4年次	
人間の 見方と 健康	ホリスティック人間論	1		講義	1				
	生命倫理		2	講義	2				
	遺伝学		2	講義	2				
	栄養学	2		講義	2				
	人類生態学		2	講義		2			
	疫学		2	講義		2			
	保健統計学	2		講義		2			統計学を履修していることが望ましい
	保健社会調査論		2	演習			2		
	臨床心理学		2	講義			2		
	精神保健学		2	講義		2			
	東洋医学概論	1		講義		1			
医療・ 人間と 保健	保健社会学	1		講義	1				
	保健医療福祉行政論Ⅰ	1		講義		1			
	保健医療福祉行政論Ⅱ		2	講義				2	
	公衆衛生学	2		講義	2				

看護学部「専門科目」

授業科目の区分と科目名		単位		授業方法	開設時期（標準履修年次）				条件	
		必修	選択		1年次	2年次	3年次	4年次		
基盤看護学系	実験看護学	生態機能看護学Ⅰ	2		講義	2				
		生態機能看護学Ⅱ	2		講義	2				
		生態機能看護学Ⅲ		1		演習				1
		看護生化学	2		講義	2				
		病態看護学Ⅰ	2		講義		2			
		病態看護学Ⅱ	2		講義		2			
		看護薬理学	2		講義		2			
		感染・免疫看護学演習	1		演習	1				
	生態・病態看護学実験	1		実験		1				
	基礎看護学	基礎看護学概論	2		講義	2				
		基礎看護技術論	2		演習	2				基礎看護学概論、ケアリング論、基礎看護学実習Ⅰを履修していること
		ケアリング論	1		講義	1				
		シンプトンマネジメント論	1		演習		1			フィジカルアセスメント論、看護過程を履修していること
		フィジカルアセスメント論	2		演習		2			基礎看護技術論を履修していること
		看護過程	1		演習		1			基礎看護学概論、ケアリング論、基礎看護技術論を履修していること
		看護研究	2		講義			2		教養演習を履修していること
		基礎看護学実習Ⅰ	1		実習	1				
		基礎看護学実習Ⅱ	2		実習		2			基礎看護技術論、基礎看護学実習Ⅰを履修し、フィジカルアセスメント論、看護過程を履修していること
	臨床機能看護学	看護管理論	1		講義				1	
看護教育学		1		講義			1			
看護実践論		1		演習			1			
教師論			2	講義			2			
看護情報学			1	演習		1				
臨床看護学系	精神看護学	精神看護学概論	1		講義		1			
		精神看護学	2		講義		2			
		精神看護学演習Ⅰ	1		演習			1		精神看護学概論、精神看護学を履修していること
		精神看護学演習Ⅱ	1		演習			1		精神看護学概論、精神看護学を履修していること
		精神看護学実習	2		実習			2		精神看護学概論、精神看護学、精神看護学演習Ⅱを履修していること
	成人看護学	成人看護学概論	1		講義		1			生態機能看護学Ⅱ、基礎看護学概論を履修していること
		成人急性看護学	2		講義		2			生態機能看護学Ⅱ、成人看護学概論、病態看護学Ⅱを履修していること
		成人慢性看護学	2		講義		2			生態機能看護学Ⅱ、成人看護学概論、病態看護学Ⅱを履修していること
		成人看護学演習Ⅰ	1		演習			1		成人急性看護学、成人慢性看護学を履修していること
		成人看護学演習Ⅱ	1		演習			1		成人急性看護学、成人慢性看護学を履修していること
		成人急性看護学実習	3		実習			3		成人看護学概論、成人急性看護学、成人慢性看護学、成人看護学演習Ⅱを履修していること
		成人慢性看護学実習	3		実習			3		成人看護学概論、成人急性看護学、成人慢性看護学、成人看護学演習Ⅱを履修していること
	老年看護学	老年看護学概論	1		講義		1			
		老年看護学	2		講義		2			老年看護学概論、病態看護学Ⅱを履修していること
		老年看護学演習Ⅰ	1		演習			1		老年看護学概論、老年看護学を履修していること
		老年看護学演習Ⅱ	1		演習			1		老年看護学演習Ⅰを履修していること
		老年看護学実習Ⅰ	1		実習		1			
		老年看護学実習Ⅱ	3		実習			3		基礎看護学実習Ⅱ、老年看護学概論、老年看護学、老年看護学実習Ⅰを履修し、老年看護学演習Ⅰを履修していること
	小児看護学	小児看護学概論	1		講義		1			生態機能看護学Ⅱ、基礎看護学概論を履修していること
		小児看護学	2		講義		2			小児看護学概論を履修し、病態看護学Ⅱを履修していること
小児看護学演習Ⅰ		1		演習			1		小児看護学概論、小児看護学を履修していること	
小児看護学演習Ⅱ		1		演習			1		小児看護学概論、小児看護学、小児看護学演習Ⅰを履修していること	
小児看護学実習		2		実習			2		小児看護学演習Ⅱを履修していること	
女性看護学	女性看護学概論	1		講義		1				
	女性看護学	2		講義		2			生態機能看護学Ⅱ、生態・病態看護学実験、病態看護学Ⅱ、女性看護学概論を履修していること	
	女性看護学演習Ⅰ	1		演習			1		女性看護学概論、女性看護学を履修していること	
	女性看護学演習Ⅱ	1		演習			1		女性看護学概論、女性看護学、女性看護学演習Ⅰを履修していること	
	女性看護学実習	2		実習			2		女性看護学演習Ⅱを履修していること	

授業科目の区分と科目名		単位		授業方法	開設時期（標準履修年次）				条 件
		必修	選択		1年次	2年次	3年次	4年次	
ヘルスプロモーション看護学系	在宅看護学	在宅看護学概論	1		講義		1		生態機能看護学ⅠⅡ、基礎看護学概論を履修していること
		在宅看護学	2		講義		2		在宅看護概論、病態看護学ⅠⅡを履修していること
		在宅看護学演習Ⅰ	1		演習			1	在宅看護学概論、在宅看護学を履修していること
		在宅看護学演習Ⅱ	1		演習			1	在宅看護学概論、在宅看護学、在宅看護学演習Ⅰを修得していること
		在宅看護学実習	2		実習			2	在宅看護学演習Ⅱを履修していること
	公衆衛生看護学	公衆衛生看護学Ⅰ	2		講義		2		
		公衆衛生看護学Ⅱ		2	講義			2	公衆衛生看護学Ⅰを修得していること
		公衆衛生看護学Ⅲ	1		講義			1	公衆衛生看護学Ⅱ、公衆衛生看護学実習Ⅰを修得していること
		公衆衛生看護学技術論Ⅰ		2	演習			2	公衆衛生看護学Ⅰを履修していること
		公衆衛生看護学技術論Ⅱ		2	演習			2	公衆衛生看護学Ⅰを履修していること
		組織協働活動論		2	講義			2	公衆衛生看護学Ⅰを履修していること
		公衆衛生看護学Ⅰアセスメント論Ⅰ		1	講義			1	公衆衛生看護学Ⅰ、疫学、保健統計学、保健医療福祉行政論Ⅰ、精神看護学演習Ⅰ、小児看護学演習Ⅰ、女性看護学演習Ⅰ、成人看護学演習Ⅰ、成人看護学演習Ⅱ、老年看護学演習Ⅰ、在宅看護学演習Ⅰを履修していること
		公衆衛生看護学Ⅰアセスメント論Ⅱ		2	演習			2	公衆衛生看護学Ⅰを履修していること
		公衆衛生看護学管理論		2	講義			2	公衆衛生看護学Ⅱ、公衆衛生看護学実習Ⅰを履修していること
		公衆衛生看護学実習Ⅰ		1	実習			1	精神看護学実習、成人急性看護学実習、成人慢性看護学実習、老年看護学実習Ⅱ、小児看護学実習、女性看護学実習、在宅看護学実習を履修していること
	公衆衛生看護学実習Ⅱ		4	実習			4	公衆衛生看護学実習Ⅰ、精神看護学実習、成人急性看護学実習、成人慢性看護学実習、老年看護学実習Ⅱ、小児看護学実習、女性看護学実習、在宅看護学実習を履修していること	
	家族看護学	1		講義			1		
	国際看護論		2	講義			2		
	学校保健看護学	養護概説		2	講義		2		教職に関する科目と養護に関する科目を履修していることが望ましい
		学校保健学		1	講義			1	不登校・ひきこもり援助論を履修していること
		教職実践演習（養護教諭）		2	演習			2	教職に関する科目、養護に関する科目、養護実習を履修していること
		養護実習事前事後指導		1	実習			1	教職に関する科目と養護に関する科目を履修していること
		健康教育論		2	講義			2	
		養護実習		4	実習			4	教職に関する科目と養護に関する科目を履修していること
	（ヘルスプロモーション）	ヒーリング論	1		演習	1			生態機能看護学Ⅰを履修していること
		ヒーリングセラピー		1	演習		1		ヒーリング論を履修していること
		東洋看護学演習		1	演習			1	
	統合実習	2		実習			2	領域別実習を履修していること	
	専門看護学ゼミ	2		演習			2		
	卒業研究	2		演習			2	看護研究、専門看護学ゼミを履修していること、2年次までの必修科目がすべて修得されていること。	

(3) 卒業必要科目及び単位数

区 分		人 間 社 会 学 部									看護学部								
		公共社会学科			社会福祉学科			人間形成学科			看護学科								
		必修	選択	自由 選択	必修	選択	自由 選択	必修	選択	自由 選択	必修	選択	自由 選択						
全 学 共 通 科 目	教 養 科 目	人文科学	4	12	12	4	12	12	4	12	12		6	7					
		社会科学	4			4			4										
		自然科学	4			4			4										
		総合科目	4			4			4			2							
	基 礎 科 目	必須外国語	英語他	6			6			6			6			6			
		選択外国語	リー ディン グ、コ リア 語、中 国語、 仏語、 独語他			6			6			6			6		2		
		情報処理		2			2			2			2			1			
		健康科学	講義			2			2			2	2						
			実習			2			2			2			2		2		
		基礎ゼミ		1			1			1			1			1			
	両学部で学ぶ専門的連携科目																		
	専門基礎科目(看護学部)																		
専門科目(看護学部)																			
専門教育科目(人間社会学部)		19	50				16	53				18	51						
教職に関する専門教育科目																			
合計(卒業必要最低単位数)		128			128			128			128								

注1：上表の「選択」には「選択必修」も含まれる。

2：人間社会学部における「専門教育科目」、看護学部における「専門科目」には、卒業論文又は卒業研究が含まれる。

3：「自由選択」の履修方法

他学部・他学科の開設科目を含み、「全学共通科目」「両学部で学ぶ専門的連携科目」「専門基礎科目」「専門科目」「専門教育科目」及び「教職に関する専門教育科目」から自由に選択履修することができる。

ただし、自分の所属する学部・学科の開設科目は自由に選択できるが、他学部・他学科の開設科目の場合は、当該学部・学科が指定した科目の中から選択し、あらかじめその履修を届け出なければならない。

なお、看護学部においては、自由選択の授業科目のうち卒業要件として認められるのは、「全学共通科目」「両学部で学ぶ専門的連携科目」「専門基礎科目」及び「専門科目」である。人間社会学部の「専門教育科目」及び「教職に関する専門教育科目」は卒業要件としては認められない。

(4) 両学部で学ぶ専門的連携科目

授業科目の区分と科目名	単位		授業方法	開設時期（標準履修年次）				卒業要件	
	必修	選択		1年次	2年次	3年次	4年次	人間社会学部	看護学部
社会貢献論		2	講義	2				各学科とも自由選択の12単位に含めることができる	自由選択の7単位に含めることができる
不登校・ひきこもり援助論		2	講義	2					
社会貢献論演習		2	演習	2					
不登校・ひきこもり援助応用演習		1	演習				1		
ブレ・インターンシップ		2	実習	2					
専門職連携入門		1	講義	1					

(5) 講義・演習・実習の開講科目数

(単位：科目数)

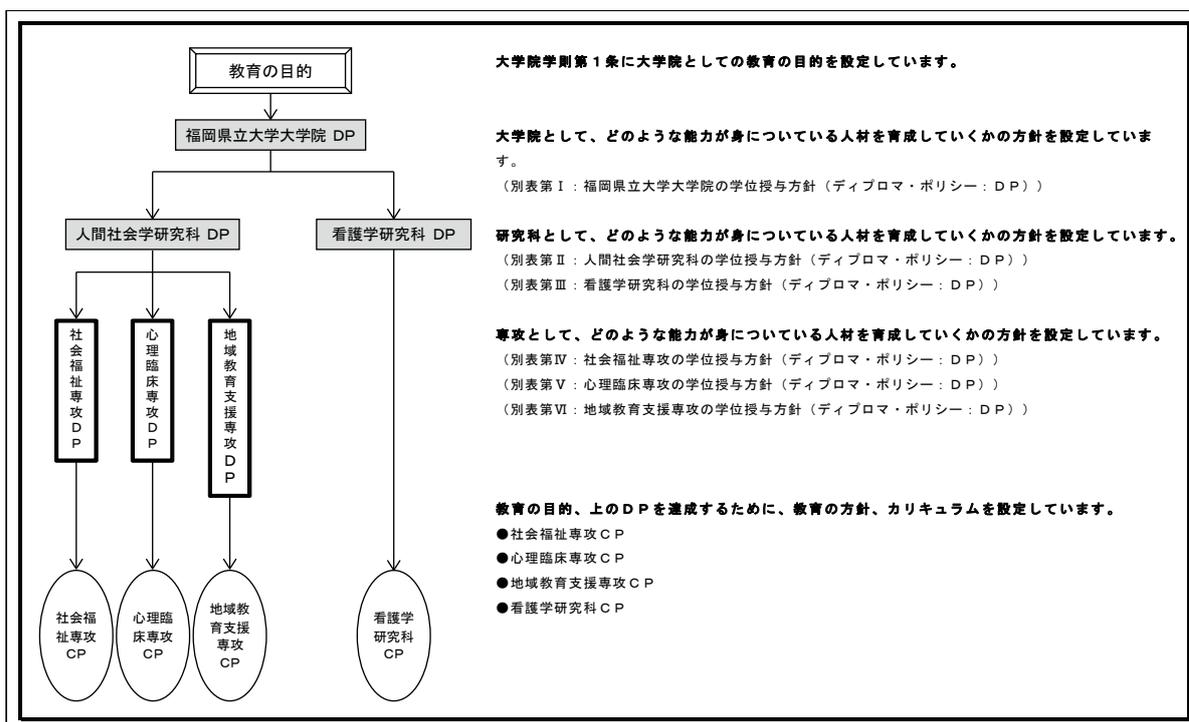
学 部	講義科目	演習科目	実習科目	合計
全学共通科目（教養）	36	0	0	36
全学共通科目（専門）	2	42	2	46
両学部で学ぶ科目	3	2	1	6
公共社会学科専門科目	69	12	1	82
社会福祉学科専門科目	68	12	4	84
人間形成学科専門科目	73	38	8	119
看護学科専門科目	50	30	16	96

## 2. 大学院

### (1) ディプロマ・ポリシーとカリキュラム・ポリシー

ディプロマ・ポリシー（DP）とは、修了認定・学位授与に関する基本的な方針のことを言い、本学を卒業することでどのような能力が身についているかを保証するものです。教育の目的を前提に、大学院、各研究科、各専攻のDPを別表第Iから別表第VIのとおり定めています。

また、カリキュラム・ポリシー（CP）とは教育課程編成・実施方針のことを言い、教育の目的、上のDPを達成するために各専攻がそれぞれ教育課程の方針、カリキュラムを設定しています。



大学院のDPは以下のように4つの領域、さらに6項目のポリシーに分かれており、これら6項目のポリシーのすべてが、2年間で履修する科目のいずれかに位置付けられています。

領域	ポリシー	
知識・理解	DP 1	専門的知識
思考・判断・表現	DP 2	論理的思考力
	DP 3	表現力
関心・意欲・態度	DP 4	探究力
	DP 5	社会貢献力
技能	DP 6	実践力

**別表第Ⅰ．福岡県立大学大学院の学位授与方針（ディプロマ・ポリシー：DP）**

領域	ポリシー	
知識・理解	DP 1	保健・医療・福祉分野の増進および地域の発展に寄与できる指導の人材として必要な専門的知識を有している。
思考・判断・表現	DP 2	保健・医療・福祉分野の課題を専門的立場から検討し、解決するための方法を見いだすことができる。
	DP 3	専門性のある学術的手法を用いて導き出した自分の考えを適切に表現できる。
関心・意欲・態度	DP 4	専門とする課題について主体的に探求することができる。
	DP 5	保健・医療・福祉の将来を見据え、自らの専門性に基づいて社会に貢献できる。
技能	DP 6	専門分野に即した問題解決技法を身につけている。

**別表第Ⅱ．人間社会学研究科の学位授与方針（ディプロマ・ポリシー：DP）**

領域	ポリシー	
知識・理解	DP 1	<input type="checkbox"/> 高度福祉社会の実現に関わる専門的知識を有している。 <input type="checkbox"/> 専門分野と連携可能な領域と接点となる知識を有している。
思考・判断・表現	DP 2	<input type="checkbox"/> 高度福祉社会の実現のための課題を専門的立場から検討できる。
	DP 3	<input type="checkbox"/> 専門性のある学術的手法を用いて導き出した自分の考えを適切に表現できる。
関心・意欲・態度	DP 4	<input type="checkbox"/> 高度福祉社会の実現のための現代的課題について主体的に探究することができる。
	DP 5	<input type="checkbox"/> 高度福祉社会の実現のために専門性を活かして貢献できる。
技能	DP 6	<input type="checkbox"/> 専門性に即して高度福祉社会における問題解決技法を身につけている。

**別表第Ⅲ．看護学研究科の学位授与方針（ディプロマ・ポリシー：DP）**

領域	ポリシー	
知識・理解	DP 1	<input type="checkbox"/> 専門職業人として倫理に関わる知識を有している。 <input type="checkbox"/> 看護学に関わる専門的知識を有している。
思考・判断・表現	DP 2	<input type="checkbox"/> 看護現象を科学的及び学際的視点から捉え、看護実践の場に還元できる解決方法を見出すことができる。
	DP 3	<input type="checkbox"/> 専門性のある学術的手法を用いて導き出した自分の考えを適切に表現できる。
関心・意欲・態度	DP 4	<input type="checkbox"/> 看護学に関する課題について主体的に探究することができる。
	DP 5	<input type="checkbox"/> 保健・医療・福祉の将来を見据え、看護学に関する専門的知識に基づいて、さまざまな看護活動に貢献できる。
技能	DP 6	<input type="checkbox"/> 看護に関する課題に取り組むための問題解決技法を身につけている。

**別表第Ⅳ．人間社会学研究科社会福祉専攻の学位授与方針（ディプロマ・ポリシー：DP）**

領域	ポリシー	
知識・理解	DP 1	<input type="checkbox"/> 児童、障害者、高齢者を中心として、地域において様々な生活問題を抱える人々の支援に必要な知識を理解している。 <input type="checkbox"/> 生活問題を抱える人々を支援するために有用な隣接学問に関する知識を理解している。
思考・判断・表現	DP 2	<input type="checkbox"/> 社会福祉の価値をベースとし、生活問題を抱える人々の実情に応じた支援方法を提案できる。
	DP 3	<input type="checkbox"/> 社会福祉の学術的手法を用いて、抽出された諸問題について自分の考えを適切に表現できる。
関心・意欲・態度	DP 4	<input type="checkbox"/> 文献や調査等から、社会福祉に関する課題を設定できる。
	DP 5	<input type="checkbox"/> フィールドワークなどを通して、福祉活動の発展に寄与できる。
技能	DP 6	<input type="checkbox"/> 社会福祉に関する問題を客観化させるための手法を身につけている。

**別表第Ⅴ．人間社会学研究科心理臨床専攻の学位授与方針（ディプロマ・ポリシー：DP）**

領域	ポリシー	
知識・理解	DP 1	<input type="checkbox"/> 心理学及び心理臨床に関わる専門的知識を有している。 <input type="checkbox"/> 教育学、社会福祉学など連携可能な領域と接点となる知識を有している。
思考・判断・表現	DP 2	<input type="checkbox"/> 心理学に関する専門的知識をもとに心理的課題を検討できる。
	DP 3	<input type="checkbox"/> 心理学的手法を用いて導き出された理解と援助の方針を適切に表現できる。
関心・意欲・態度	DP 4	<input type="checkbox"/> 心理的諸問題に関わる現代的課題について主体的に探究することができる。
	DP 5	<input type="checkbox"/> 心理学に関する専門的知識に基づいて、心理的支援活動に積極的に参加できる。
技能	DP 6	<input type="checkbox"/> 心理的支援活動を行うための実践能力を身につけている。

**別表第Ⅵ．人間社会学研究科地域教育支援専攻の学位授与方針（ディプロマ・ポリシー：DP）**

領域	ポリシー	
知識・理解	DP 1	<input type="checkbox"/> 地域における子育て（保育、家庭教育を含む）、学校教育および社会教育分野に関わる専門的知識を有している。 <input type="checkbox"/> 社会福祉学、心理学など連携可能な領域の知識を有している。
思考・判断・表現	DP 2	<input type="checkbox"/> 地域における子育て、学校教育および社会教育の意義および現代的課題を抽出し、これについて論じることができる。
	DP 3	<input type="checkbox"/> 教育学の学術的手法を用いて導き出された自分の考えを適切に表現できる。
関心・意欲・態度	DP 4	<input type="checkbox"/> 地域における子育て、学校教育および社会教育の課題を主体的に探究することができる。
	DP 5	<input type="checkbox"/> 学術的に導き出された考え方に基づいて地域社会における様々な教育活動に積極的に参加できる。
技能	DP 6	<input type="checkbox"/> 地域における子育て、学校教育および社会教育の現代的課題に取り組むための学術的手法を身につけている。

## ●人間社会学研究科 教育課程編成・実施方針(カリキュラム・ポリシー：CP)

人間社会学研究科における3つの専攻では、それぞれの学位授与方針DPに基づいて、教育課程編成・実施方針(CP: Curriculum Policy)を定めています。

### 【社会福祉専攻】

社会福祉専攻では、教育目標を達成するために、以下の方針に基づき、教育課程を編成し実施します。

必修科目10単位、選択科目から16単位以上および他専攻科目から4単位以上の合計30単位以上を修得する必要があります。

社会福祉専攻は、高度で実践的な社会福祉専門職を養成するために、「社会福祉分野」「地域社会分野」の2分野から構成されています。社会福祉専攻の教育課程は「コア科目」のほか、「社会福祉分野」および「地域社会分野」の科目群から構成されています。「コア科目」は、フィールドワークおよび特別研究から編成され、フィールドワーク(実習)を通じて、社会福祉専門職としての実践性を高め、福祉活動の発展に寄与できるようになること、また、特別研究を通じて、文献や調査等から、社会福祉に関する課題を設定し、社会福祉に関する問題を客観化させるための手法を身につけることを目的に配置する科目群です。「社会福祉分野」は児童、障害者、高齢者を中心として、地域における種々の生活問題を抱える人々の支援に必要な知識を理解し、社会福祉の価値をベースとして、生活問題を抱える人々の実情に応じた支援方法を提案できること、さらに社会福祉の学術的手法を用いて抽出された諸問題について、自分の考えを適切に表現できることを目的に配置する科目群です。「地域社会分野」は地域社会分野の授業科目や他専攻科目の授業を通じて、生活問題を抱える人々を支援するために有用な隣接学問に関する知識を理解することを目的に配置する科目群です。

### 【心理臨床専攻】

心理臨床専攻では、教育目標を達成するために、以下の方針に基づき、教育課程を編成し実施します。

必修科目20単位、選択必修科目(A～E群)からそれぞれ2単位以上、計10単位以上および他専攻科目2単位以上、合計32単位以上を修得する必要があります。

心理臨床専攻は、心理学全般の領域を関連付けながら、心理臨床に関する知識技能を深め、心理的支援を必要とする人に対するカウンセリングなどの実践能力を身につけ、さらに他職種とも連携する能力をもつ臨床心理士を養成することを目的としています。本専攻の教育課程は、「必修科目」とA～E群からなる「選択必修科目」で構成されています。「必修科目」は、心理臨床に関わる専門的知識を身につけるために、臨床心理学に関わる基礎的・基本的な科目群、ならびに心理面接の基礎的な技能を習得するための臨床心理基礎実習(1年次)と学内実習施設と学外実習機関で行う臨床心理実習(2年次)、さらに修士論文の作成を総合的に支援する特別研究(1・2年次)から構成されています。「選択必修科目」はA群の心理学や臨床心理学の研究法に関する科目群、B群の心理学の各分野に関する科目群、C群の社会関係に関する科目群、D群の医療や障害に関する科目群、E群の臨床心理学の技術に関する科目群から構成されています。

「必修科目」および「選択必修科目」には臨床心理士受験資格の取得に必要な科目を配置しています。

### 【地域教育支援専攻】

地域教育支援専攻では教育目標を達成するために、以下の方針に基づき教育課程を編成し実施します。必修科目 14 単位を含めて 30 単位以上（他専攻 2 科目 4 単位以上を含む）を修得する必要があります。地域教育支援専攻は、地域教育支援の視点に立脚した専門的職業人の養成を目指しており、「地域と子育て・保育分野」「地域と学校教育分野」「地域と社会教育分野」の 3 分野から構成されています。本専攻の教育課程は、「コア科目」のほか、「地域と子育て・保育分野」「地域と学校教育分野」「地域と社会教育分野」の科目群および「地域教育支援展開科目」から編成されています。「コア科目」は、3 分野を統合し、俯瞰するための基礎的・基本的な科目群、ならびに実践的課題の探究を行うフィールドワーク（1 年次）、さらに修士論文の作成を総合的に支援する特別研究（1・2 年次）から編成されています。「地域と子育て・保育分野」は乳幼児期の保育の制度や実践と子育て支援のあり方について学習する科目群です。「地域と学校教育分野」は地域社会と学校教育との融合と協働について、教育内容と方法、管理運営に即した学習を行う科目群です。「地域と社会教育分野」は、多文化共生やジェンダーの視点をもった社会教育活動やその支援のあり方について学習する科目群です。「地域教育支援展開科目」は、上記 3 つの分野に限定されない地域教育支援に関する独自のテーマを探求するための科目で構成されています。

## ●看護学研究科 教育課程編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー：CP）

看護学研究科では、教育目標を達成するために、以下の方針に基づき、教育課程を編成し実施する。

専門必修科目から6単位、共通選択科目から8単位、看護学分野専門科目から16単位以上、計30単位以上（がん看護専門看護師コースは36単位以上、精神看護専門看護師コースは40単位以上、老年看護専門看護師コース43単位以上、助産学研究コース30単位以上、助産実践形成コース58単位以上、助産実践アドバンスコース30単位以上）を修得する。

看護学専攻は、「基盤看護学領域」、「ヘルスプロモーション看護学領域」、「臨床看護学領域」、「助産学領域」から構成される。本専攻の教育課程は「専門必修科目」、「共通選択科目」、「看護学分野専門科目」から編成される。「専門必修科目」は、看護学の基盤として、看護理論、看護倫理、看護研究法について学習する科目群である。「共通選択科目」は、学際的な知識を俯瞰するために、コンサルテーション論、英語文献講読特論などについて学習する科目群である。「看護学分野専門科目」は、看護学に関して専門的に学習し、看護現象を科学的及び専門的な視点から捉え、看護学に関する専門知識に基づく看護活動やその支援の在り方について学習する科目群である。

(2) 教育課程及び履修基準

人間社会学研究科

専攻	科目区分	授業科目	標準開講年次と単位数				備考	
			年次	必修	選択	自由		
社会福祉専攻	コア科目	特別研究 フィールドワーク	1～2 1	4 2			履修方法及び修了要件  1. 修士課程の修了には、各自の研究分野に従い、指導教員の下に、所定の30単位以上(心理臨床専攻は32単位以上)を修得し、かつ修士論文の審査と最終試験に合格しなければならぬ。  2. 社会福祉専攻は、所属専攻から26単位以上、他専攻から4単位以上修得すること。  3. 心理臨床専攻は、専攻から必修科目20単位及び選択科目10単位以上、合計30単位以上、他専攻から2単位以上修得すること。 なお、選択科目は、A～E群からそれぞれ2単位以上修得すること。  4. 地域教育支援専攻は、必修科目14単位を含めて、合計30単位以上(他専攻から2科目、4単位以上を含む。)修得すること。  5. 心理臨床専攻の必修科目及び選択科目E群については、他専攻の学生は受講できない。	
	社会福祉分野	社会福祉研究 社会福祉演習 ソーシャルワーク研究 ソーシャルワーク演習 高齢者福祉研究 高齢者福祉演習 地域福祉研究 地域福祉演習 子ども家庭福祉研究 障害者福祉研究 障害者福祉演習 福祉制度比較研究 社会保障制度研究 社会政策研究 (H27年度は開講せず) 社会政策演習 (H27年度は開講せず)	1・2 1・2 1・2 1・2 1・2 1・2 1・2 1・2 1・2 1・2 1・2 1・2 1・2 1・2		2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2			
	地域社会分野	地域問題研究 地域問題演習 (H27年度は開講せず) 公共政策研究 (H27年度は開講せず) 地域文化研究 地域文化演習 地域社会研究 地域社会演習	1・2 1・2 1・2 1・2 1・2 1・2 1・2		2 2 2 2 2 2 2			
		計		10	40			
	心理臨床専攻	必修科目	臨床心理学特論 臨床心理面接特論 臨床心理査定演習 臨床心理基礎実習 臨床心理実習 (学内) 臨床心理実習 (施設)	1・2 1・2 1・2 1 2 2	4 4 4 2 1 1			
		A群	臨床心理学研究法特論 心理学研究法特論	1・2 1・2		2 2		
		B群	発達心理学特論 認知心理学特論	1・2 1・2		2 2		
		C群	社会心理学特論 人間関係特論	1・2 1・2		2 2		
		D群	神経生理学特論 老年心理学特論	1・2 1・2		2 2		
		E群	心理療法特論 投影法特論 学校臨床心理学特論	1・2 1・2 1・2		2 2 2		
		特別研究	1～2	4				
		計		20	22			
地域教育支援専攻	コア科目	地域教育支援研究Ⅰ 地域と子育て研究Ⅰ 地域と学校教育研究Ⅰ 地域と社会教育研究 特別研究 フィールドワーク	1・2 1・2 1・2 1・2 1～2 1	2 2 2 2 4 2				
	地域と子育て分野	地域と子育て研究Ⅱ 地域と子育て演習 子育ての比較文化研究 子育ての比較文化演習	1・2 1・2 1・2 1・2		2 2 2 2			
	地域と学校教育分野	地域と学校教育研究Ⅱ 地域と学校教育演習 地域と教育実践研究	1・2 1・2 1・2		2 2 2			

専攻	科目区分	授業科目	標準開講年次と単位数				備考
			年次	必修	選択	自由	
地域教育支援専攻	地域と社会教育分野	地域と社会教育演習A	1・2		2		
		地域と社会教育演習B	1・2		2		
	地域教育支援展開科目	地域教育支援研究ⅡA	1・2		2		
		地域教育支援研究ⅡB	1・2		2		
		地域教育支援演習	1・2		2		
計			1 4	2 4			

看護学研究科

	科目区分	授業科目の名称	標準開講年次と単位数					
			年次	開講時期	必修	選択	自由	
看護学	専門必修科目	看護理論	1	前期	2			
		看護倫理	1	前期	2			
		看護研究法	1	前期	2			
		計			6			
	共通選択科目	コンサルテーション論	1	前期		2		
		看護教育学	1	後期		2		
		英語文献講読特論	1	前期		2		
		看護政策論	1	通年		2		
		Advanced生理学・病態生理学	1	前期		2		
		Advancedフィジカルアセスメント	1	後期		2		
		Advanced臨床薬理学	1	通年		2		
		看護管理学	1	後期		2		
		臨床心理学特論	1	後期		2		
		家族社会学特論	1	後期		2		
		ヘルスプロモーション科学	1	後期		2		
		哲学の人間学	1	後期		2		
データ解析特論	1	前期		2				
データ解析演習	1	後期		2				
ウイメンズヘルス特論	1	前期		1				
ウイメンズヘルス演習	1	後期		1				
計					30			
専攻	看護学分野	看護教育学特論	1	前期		2		
		看護教育学演習	1	後期		2		
		基礎看護学特論	1	前期		2		
		基礎看護学演習	1	後期		2		
		看護心理学特論	1	前期		2		
		看護心理学演習	1	後期		2		
		実験看護学特論	1	前期		2		
		実験看護学演習	1	後期		2		
		基盤看護学特別研究	1～2	通年		8		
		小計				24		
	専門科目	ヘルスプロモーション看護学領域	思春期ヘルスプロモーション特論	1	前期		2	
			思春期ヘルスプロモーション演習	1	後期		2	
			地域看護学特論	1	前期		2	
			地域看護学演習	1	後期		2	
			在宅看護学特論	1	前期		2	
			在宅看護学演習	1	後期		2	
ヘルスプロモーション看護学特別研究	1～2	通年		8				
小計				20				
看護学専攻	臨床看護学領域	小児看護学特論	1	前期		2		
		小児看護学演習	1	後期		2		
		代替・補完看護学特論 (H27年度は開講しない)	1	前期		2		
		代替・補完看護学演習 (H27年度は開講しない)	1	後期		2		
		老年看護学特論	1	前期		2		
		老年看護学演習	1	後期		2		
		高齢者健康生活アセスメント論	1	前期		2		
		老年病診断治療学	1	前期		1		
		老年病診断治療学演習	1	前期		1		
		高齢者看護方法論	1	前期		2		

	科目区分	授業科目の名称	標準開講年次と単位数					
			年次	開講時期	必修	選択	自由	
看護学専攻	看護学分野専門科目	臨床看護学領域	高齢者地域・家族看護方法論	1	後期		1	
			高齢者保健医療福祉政策・ケアシステム論	1	後期		2	
			終末期高齢者看護論	1	後期		2	
			認知症高齢者看護論	1～2	前期		2	
			終末期老年看護実習Ⅰ	1	後期		2	
			終末期老年看護実習Ⅱ	1	後期		3	
			認知症老年看護実習Ⅰ	1～2	前期		2	
			認知症老年看護実習Ⅱ	1～2	前期		3	
			成人看護学特論	1	前期		2	
			成人看護学演習	1	後期		2	
			がん病態学	1	前期		2	
			がん看護学特論Ⅰ	1	前期		2	
			がん看護学特論Ⅱ	1	前期		2	
			がん看護学演習Ⅰ	1	後期		2	
			がん看護学演習Ⅱ	1	後期		2	
			がん看護学実習Ⅰ	2	前期		2	
			がん看護学実習Ⅱ	2	前期		4	
			精神看護学特論	1	前期		2	
			精神看護学演習	1	後期		2	
			精神看護対象論	1	前期		2	
			精神看護援助論	1	通年		2	
			精神看護セラピー	1	通年		4	
			精神看護関連法規・制度・政策論	1	通年		2	
			精神看護直接ケア実習Ⅰ	2	通年		2	
			精神看護直接ケア実習Ⅱ	2	通年		2	
			精神看護専門看護師役割実習Ⅰ	1	通年		2	
			精神看護専門看護師役割実習Ⅱ	2	通年		4	
臨床看護学特別研究	1～2	通年		8				
課題研究	1～2	通年		4				
小計						9	1	
看護学専攻	看護学分野専門科目	助産学領域	基礎助産学特論	1	前期		2	
			基礎助産学演習	1	後期		2	
			助産学特論	1	前期		2	
			助産学演習	1	後期		2	
			ホリスティック助産学特論	1	前期		1	
			ホリスティック助産学演習	1	後期		2	
			助産実践学Ⅰ（妊娠期）	1	前期		2	
			助産実践学Ⅱ（分娩期）	1	前期		4	
			助産実践学Ⅲ（産褥・新生児期）	1	後期		2	
			助産実践学Ⅳ（ハイリスクケア）	1	後期		2	
			マネジメント助産学特論	1	後期		2	
			コミュニティ助産学特論	1	後期		1	
			コミュニティ助産学演習	1	後期		2	
			助産学実習Ⅰ（外来ケア実習）	1	前期		1	
			助産学実習Ⅱ（周産期ケア実習）	1	後期		8	
			助産学実習Ⅲ（助産所実習・継続ケア実習）	2	前期		2	
			助産学実習Ⅳ（ハイリスクケア実習）	2	前期		1	
			助産学実習Ⅴ（マザークラス実習）	2	後期		2	
			助産実践アドバンス特論	1	後期		1	
			助産実践アドバンス実習	2	前期		4	
助産学特別研究	1～2	通年		8				

		助産学課題研究	1～2	通年		4	
		小計				57	
		合計			6	222	

注1. 専門必修科目6単位、共通選択科目8単位、看護学分野専門科目16単位以上を修得する必要があります。

2. 「特別研究」と「課題研究」は、修士論文作成指導であり、通常1年次前期から履修しますが、長期履修の場合は2年次前期からの履修もあり得ます。

### (3) 講義・演習・実習の開講科目数

(単位：科目数)

研究科	講義科目	演習科目	実習科目	合計
社会福祉専攻科目	11	8	1	20
心理臨床専攻科目	12	3	3	18
地域教育支援専攻科目	0	1	0	1
看護学専攻科目	51	28	16	95

### 3. 学生の単位修得状況

#### (1) 成績評価及び単位認定（学部・研究科）

単位の修得の認定は、試験の成績および平素の学習状況・出席状況等の総合的な評価によって行われるものであり、単位の修得はこれによって決定される。

単位修得の認定を受けるためには、試験の有無にかかわらず、原則として授業実施回数（補講も含む）の3分の2以上の出席が必要となる。

本学の試験の成績評価は、100点を満点とする次の5段階の評価点で行い、各段階に以下の成績評語及びGP（グレード・ポイント）を当て、60点以上を合格として単位を修得したものと認定する。ただし、大学院はGPを導入していない。

評価点	成績評価	GP	単位の認定
90～100	A	4.0	認定する (合格)
80～89	B	3.0	
70～79	C	2.0	
60～69	D	1.0	
0～59	不可	0.0	認定しない (不合格)
—	未受験	0.0	
—	無資格	0.0	

※未受験：出席は満たしているが、試験を受けなかったこと。

※無資格：出席を満たしていないこと。

学期ごとに、成績評語及び以下の計算式によって獲得GP、GPA及び累積GPAを算出。

$$\text{獲得GP} = (\text{履修登録科目の単位数}) \times (\text{成績評語に対応するGP})$$

$$\text{GPA} = \frac{\text{当該学期の履修登録科目の獲得GPの総和}}{\text{当該学期の履修登録科目の総単位数}}$$

$$\text{累積GPA} = \frac{\text{前学期までの獲得GPの総和} + \text{当該学期の獲得GPの総和}}{\text{当該学期までの履修登録科目の総単位数}}$$

(GPA、累積GPA：小数点第3位以下切り捨て)

## (2) 学部単位修得状況（学科ごとの成績評価と GPA 平均値）

（単位：件数）

H 2 4 年度以前入学者	人間社会学部			看護学部
	公共社会学科	社会福祉学科	人間形成学科	看護学科
A	3,524	4,153	4,569	3,917
B	2,503	2,592	2,210	3,305
C	1,477	1,090	1,021	2,074
D	930	437	429	1,512
不可	165	48	33	93
未受験	94	46	25	20
無資格	277	70	146	97
G P A 平均値	2.88	3.20	3.25	2.82

H 2 5 年度入学者	人間社会学部			看護学部
	公共社会学科	社会福祉学科	人間形成学科	看護学科
A	2,579	3,335	3,609	3,122
B	2,137	2,125	2,130	2,796
C	1,139	1,055	938	1,996
D	744	533	445	1,450
不可	120	42	64	54
未受験	85	17	32	29
無資格	265	83	95	58
G P A 平均値	2.76	3.09	3.16	2.76

H 2 6 年度入学者	人間社会学部			看護学部
	公共社会学科	社会福祉学科	人間形成学科	看護学科
A	2,118	3,064	3,080	2,860
B	1,593	1,780	1,563	2,198
C	951	803	585	1,714
D	552	297	176	1,305
不可	87	43	13	52
未受験	22	28	22	5
無資格	61	100	31	34
G P A 平均値	2.90	3.18	3.35	2.78

H 2 7 年度入学者	人間社会学部			看護学部
	公共社会学科	社会福祉学科	人間形成学科	看護学科
A	1,199	1,579	1,663	1,230
B	756	832	704	581
C	624	365	354	470
D	402	110	160	239
不可	38	4	15	25
未受験	8	4	4	4
無資格	24	13	21	10
G P A 平均値	2.84	3.30	3.28	2.99

(3) 大学院単位修得状況（成績評価）

（単位：件数）

H 2 6 年度以前入学者	人間社会学研究科	看護学研究科
A	424	98
B	32	54
C	4	12
D	4	2
不可	0	0
未受験	0	0
無資格	0	0

H 2 7 年度入学者	人間社会学研究科	看護学研究科
A	320	199
B	18	117
C	0	30
D	0	21
不可	0	8
未受験	0	0
無資格	8	0

4. 教員免許状取得者数（高校公民・中学社会・幼稚園教諭・養護教諭）

	H 2 2 年度	H 2 3 年度	H 2 4 年度	H 2 5 年度	H 2 6 年度	H 2 7 年度
高校公民	5	5	9	8	9	7
中学社会	—	—	3	5	6	7
幼稚園教諭	37	34	33	40	27	31
養護教諭	11	9	10	10	10	8

5. 保育士資格取得者数

	H 2 2 年度	H 2 3 年度	H 2 4 年度	H 2 5 年度	H 2 6 年度	H 2 7 年度
保育士	36	34	33	39	27	31

6. スクールソーシャルワーク教育課程修了者数

	H 2 2 年度	H 2 3 年度	H 2 4 年度	H 2 5 年度	H 2 6 年度	H 2 7 年度
修了者数	9 (4)	6 (5)	9 (5)	10 (9)	6 (6)	3(3) ※

( )内は、社会福祉国家試験合格の後、課程修了証を交付された者の人数

※H 2 7 年度の課程修了証交付予定者は、平成 2 8 年 8 月に手続きを行うため確定人数ではない。

7. 社会福祉士・精神保健福祉士 国家試験合格者数

社会福祉士

	福岡県立大学（現役）			全国（現役）		
	受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率
H 2 2 年度	53	44	83.0%	43,568	12,255	28.1%
H 2 3 年度	54	44	81.5%	42,882	11,282	26.3%
H 2 4 年度	54	38	70.4%	42,841	8,058	18.8%
H 2 5 年度	51	36	70.6%	45,578	12,540	27.5%
H 2 6 年度	57	45	78.9%	45,187	12,181	27.0%
H 2 7 年度	52	38	73.1%	44,764	11,735	26.2%

精神保健福祉士

	福岡県立大学（現役）			全国（現役）		
	受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率
H 2 2 年度	13	13	100.0%	7,233	4,219	58.3%
H 2 3 年度	21	20	95.2%	7,770	4,865	62.6%
H 2 4 年度	25	22	88.0%	7,144	4,062	56.9%
H 2 5 年度	12	12	100.0%	7,119	4,149	58.3%
H 2 6 年度	26	23	88.5%	7,183	4,402	61.3%
H 2 7 年度	20	19	95.0%	7,173	4,417	61.6%

8. 看護師・保健師・助産師 国家試験合格者数

看護師

	福岡県立大学（現役）			全国（現役）		
	受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率
H 2 2 年度	76	75	98.7%	48,509	46,785	96.4%
H 2 3 年度	80	80	100.0%	49,336	46,928	95.1%
H 2 4 年度	72	71	98.6%	51,458	48,413	94.1%
H 2 5 年度	85	83	97.6%	52,914	50,349	95.2%
H 2 6 年度	79	78	98.7%	55,015	52,547	95.5%
H 2 7 年度	73	73	100.0%	62,154	55,585	89.4%

保健師

	福岡県立大学（現役）			全国（現役）		
	受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率
H 2 2 年度	90	80	88.9%	13,748	12,332	89.7%
H 2 3 年度	95	86	90.5%	14,528	12,963	89.2%
H 2 4 年度	81	78	96.3%	15,136	14,751	97.5%
H 2 5 年度	98	92	93.9%	16,555	14,698	88.8%
H 2 6 年度	80	80	100.0%	15,440	15,381	99.6%
H 2 7 年度	13	13	100.0%	8,799	7,901	89.8%

## 助産師

	福岡県立大学（現役）			全国（現役）		
	受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率
H 2 2 年度	10	9	90.0%	2,097	2,059	98.2%
H 2 3 年度	9	9	100.0%	2,064	1,982	96.0%
H 2 4 年度	7	7	100.0%	2,010	1,987	98.9%
H 2 5 年度	7	7	100.0%	2,042	1,993	97.6%
H 2 6 年度	8	8	100.0%	1,976	1,975	99.9%
H 2 7 年度						

\*27年度は受験者なし（助産師課程を大学院へ移行したため）

### 9. 社会調査士資格取得者数

	H22 年度	H23 年度	H24 年度	H25 年度	H26 年度	H27 年度
社会調査士	27	33	19	12	19	17

### 10. 上級情報処理士資格取得者数

	H22 年度	H23 年度	H24 年度	H25 年度	H26 年度	H27 年度
上級情報処理士	35	33	31	29	32	21

### 11. 認定心理士資格取得者数

	H22 年度	H23 年度	H24 年度	H25 年度	H26 年度	H27 年度
認定心理士	0	0	0	0	1	2

### 12. 臨床心理士資格取得者数

	H22 年度	H23 年度	H24 年度	H25 年度	H26 年度	H27 年度
臨床心理士	6	8	8	6	8	9

### 13. がん看護専門看護師資格取得者数

	H22 年度	H23 年度	H24 年度	H25 年度	H26 年度	H27 年度
がん看護専門看護師	1	0	0	0	1	0

### 14. 精神看護専門看護師資格取得者数

	H22 年度	H23 年度	H24 年度	H25 年度	H26 年度	H27 年度
精神看護専門看護師	—	—	—	—	1	1

※ 平成25年度より卒業生輩出のため（卒業後資格取得可能）

## V. 教育の質の向上及び改善の取組

### 1. FD 活動（学部・研究科）

#### 学部

	テーマ	日時	参加人数
第1回 FD セミナー	E ラーニング講習会	平成 27 年 6 月 3 日 (水)	36 人
第 2 回 FD セミナー (大学院 FD 共催)	「県大の教育をもっと良くしていくための 3 つの議論」	平成 28 年 3 月 2 日 (水)	63 人
第 3 回 FD セミナー (大学院 FD 共催)	「学ぶ力の潜在性を引き出す実践学としての学習科学」	平成 28 年 3 月 11 日 (金)	41 人

#### 研究科

	テーマ	日時	参加人数
第 1 回 大学院 FD セミナー (学部 FD セミナーとの共催)	「県大の教育をもっと良くしていくための 3 つの議論」	平成 28 年 3 月 2 日 (水)	63 人
第 2 回 大学院 FD セミナー (学部 FD セミナーとの共催)	「学ぶ力の潜在性を引き出す実践学としての学習科学」	平成 28 年 3 月 11 日 (金)	41 人
第 3 回 大学院 FD セミナー	研究倫理セミナー	平成 28 年 3 月 28 日 (月)	21 人

## 2. 教員個人業績評価結果

### (1) 趣旨

各教員が自己の一年の活動を再確認し、教育・研究・社会貢献・管理運営活動への貢献を高めること、並びに本学の教育・研究活動等の活性化を通じた本学の使命の高揚を図ること。

### (2) 評価の対象分野・ウエイト等

対象分野は①教育、②研究、③社会貢献、④管理運営

対象分野ごとのウエイトは、①教育（60%以上）、②研究（10%～30%）、③社会貢献（5%～10%）、④管理運営（5%～25%）とし、各教員は、4分野を合計して100%とするウエイト申告をするものとする。

### (3) 教員個人業績評価

#### 5段階の「評価基準」

A	B	C	D	E
100～91	90～76	75～51	50～31	30以下

#### 評価結果

評価区分	H22年度分	H23年度分	H24年度分	H25年度分	H26年度分
A	57	57	60	63	4
B	27	32	27	22	74
C	10	9	7	2	4
D	0	0	0	0	1
E	2	1	1	1	1

※各年度の教員個人業績評価は翌年度に行うため、H27年度分は掲載していない。

### 3. 授業評価アンケート

#### 学部

これは、2015 年度に福岡県立大学で開講された授業について学生による授業アンケートの結果である。2015 年度に人間社会学部と看護学部において開講された 596 科目のうち、回収された授業科目は、528 科目（のべ 18507 名）であった。学部における回収された授業科目の 1 科目あたりの人数の平均と標準偏差は  $35.1 \pm 29.8$  人で、最小値 1 人、最大値 224 人であった。

前期科目は 2015 年 7 月、後期科目は 2016 年 1 月に実施、また一部の科目（集中講義など）については、講義が終了次第実施した。

	質問項目	評価 (平均)
1	この授業は、シラバス・授業科目概要や、授業でのオリエンテーションと一致する内容だった	3.5
2	シラバス・授業科目概要や、最初の授業で成績評価方法は明示されていた	3.5
3	教員の話し方は聞き取りやすかった	3.4
4	教員の指示や、授業での説明のしかたは分かりやすかった	3.4
5	授業のすすめかたは、授業の内容を理解するのに適切な速さだった	3.4
6	板書、スライド、教科書、資料など、授業で示されたものは学習に役立った	3.5
7	教員の指導やアドバイスのタイミングはよかった（実技、実習・演習項目）	3.4
8	教員の指導やアドバイスの内容は役立った（実技、実習・演習項目）	3.4
9	授業中に行う課題やグループ学習は授業の理解に役立った	3.4
10	この授業は、質問や意見を述べやすかった	3.3
11	教員は学生の質問や意見に対応していた	3.4
12	この授業は、予定された時間内（開始時刻と終了時刻）で行われていた	3.5
13	この授業は、学生の理解度や習熟度を確認しながら行われていた	3.3
14	教員は授業時間外の学習に役立つ資料や課題、練習方法を示していた	3.3
15	この授業を受けて前よりも知識やスキルが増えた	3.5
16	この授業は、総合的に満足できるものであった	3.4
17	私は授業を受けるにあたって、シラバス・授業科目概要を活用した	3.1
18	私はこの授業の学習目標をわかったうえで授業を受けた	3.2
19	私はこの授業に熱心に取り組んだ	3.4
20	私はこの授業中に、授業に関係のないことはしなかった	3.3
21	私はこの授業中、他人の居眠り、私語、メールなどが気になった	3.2
22	私は授業時間外に、この授業に関する学習や練習に取り組んだ	3.1
23	私はこの授業の学習の到達目標を達成できた	3.2
24	私はこの実習・演習で、講義で学んだ知識と実践の関連がよくわかった（実習・演習項目）	3.3

評価は 1, 2, 3, 4 からなる 4 段

## 大学院

これは、2015年度に福岡県立大学大学院で開講された授業について大学院生による授業評価の結果である。下記の項目別の実数は、高い、普通、低いの3段階で、普通以上と回答した人数である。全回答者数は39人であった。

質問項目	質問内容	27年度	
		実数	%
大学院のカリキュラム	①時間割への満足度（高い 普通 低い）	37	97.4
	②科目同士の関連性への満足度（高い 普通 低い）	36	94.7
	③教員同士の連携への満足度（高い 普通 低い）	32	84.2
シラバス（履修の手引き）	①シラバスを授業選択や学習の参考にしたか（した しなかった）	31	81.6
	②成績評価基準が明確に示されていたか（いる いない）	38	100
授業（講義・演習）	①授業方法への満足度（高い 普通 低い）	39	100
	②受講人数に関する満足度（高い 普通 低い）	37	94.9
	③授業内での配布資料に関する満足度（高い 普通 低い）	39	100
	④授業課題に対する満足度（高い 普通 低い）	38	97.4
	⑤授業内での対話・議論に関する満足度（高い 普通 低い）	38	97.4
実習 （選択者のみ回答） H27: 29名	①実習時期・期間への満足度（高い 普通 低い）	27	93.1
	②実習指導への満足度（高い 普通 低い）	23	79.3
	③実習評価方法への満足度（高い 普通 低い）	28	96.6
修士論文作成・研究	①指導体制への満足度（高い 普通 低い）	39	100
	②指導方法への満足度（高い 普通 低い）	39	100
大学院の雰囲気	①入学前後でのイメージの違い	28	71.8
	②院生間のつながり（同学年・上下の学年）	24	61.5
総合評価	満足度（高い 普通 低い）	39	100

## VI. 入試

### 1. 入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

「福岡県立大学は、あなたを求めています。」

何のために大学に入りますか。

学ぶために大学生になってください。

そして大学生活を楽しんでください。

そんな前向きな人を求めています。

困っているひとをみかけて声をかけられますか。

ひとのために働ける人、それを喜びと感じられる人を求めています。

最近何かに感動したことはありますか。

その感動を伝えることができますか。

伝えることの大切さが分かる人を求めています。

今住んでいるまちのことをどのくらい知っていますか。

まちと暮らしに関心をもてる人を求めています。

「生きている」と実感したことはありますか。

「生きていること」に関心をもとうという人を求めています。

#### (1) 学部別入学者受入方針

##### 人間社会学部

1. 高等学校等で履修した主要教科・科目について、基礎的な知識を有している人
2. 与えられた情報をテーマに即して結びつけることができる人
3. 物事をさまざまな角度から考察し、自らの考えをまとめることができる人
4. 自らの考えをわかりやすく表現することができる人
5. 自らの目標に向かって、自律的にステップアップしようとする積極性をもっている人
6. これからの時代における、人間と社会に関わる重要な課題を発見・探求・解決することに関心がある人
7. 自らの考えを適切な日本語表現を使い、道筋を立てて伝えることができる人
8. 英語による基礎的なコミュニケーションをすることができる人

##### 看護学部

1. 高等学校等で履修した主要教科・科目について、基礎的な知識を有している人
2. 人の健康や生活について、さまざまな角度から考察し、自らの考えをまとめることができる人
3. 物事に対して積極的、かつ、自律的に取り組みたいという姿勢が見られる人
4. 人の健康と生活を取り巻く諸問題に関心を持っている人
5. 自らの考えを適切な日本語表現を使い、道筋を立てて伝えることができる人
6. 人の話を聞いて、まとめたり、展開したりすることができる人

## (2) 研究科別入学者受入方針

### 人間社会学研究科

現在、少子・高齢化、地方分権化、自己実現要求の高まりに伴って、地域政策、福祉政策、地域教育、対人援助に関わる高度な専門的知識・技術を持った職業人が必要とされてきています。本研究科では、とくに、これらの専門知識を統合させ、地域社会において高度福祉社会の実現に向けて貢献できる人材を養成しようとしています。

そこで、学部教育を基礎として、より一層の専門性を持った人材を養成するとともに、職業人のリカレント教育の要請に応えることを目指し、3つの専攻を設置しています。このため、本研究科では、次のような大学院生を求めています。

1. 専門分野における国内外の論文の読解力を有している人
2. 専門分野において大学卒業程度の知識を有している人
3. 専門分野の知識をもとに研究の見通しを立てることができる人
4. 専門分野の知識をもとに新たな展開を表現できる人
5. 専門分野に関心と問題意識を持っている人
6. 高度福祉社会の実現のために、積極的に専門性を身につけ、役立てたいと考えている人
7. 専門分野に関して自らの考えを論理的に伝えるためのスキルを有している人
8. フィールドワークや学外施設実習に必要なコミュニケーションスキルを有している人

### 看護学研究科

本研究科では以下に記すような向学心のある方を求めています。

1. 看護学の基礎的知識を有している人
2. 専門分野の基礎的知識を有している人
3. 専門分野における国内外の論文の読解力を有している人
4. 専門分野の知識をもとに研究の見通しを立てることができる人
5. 研究計画もしくは志願理由について論理的に他者に伝えることができる人
6. 専門分野に関心と問題意識をもっている人
7. 専門性をより高め保健医療福祉社会に貢献したいという意思を有している人
8. 看護実践に必要なコミュニケーションスキルを有している人

## 2. 入学者選抜方法

### (1) 学部別入学試験種別と試験科目

#### 人間社会学部

#### ○推薦入試概要

区 分		推薦入試
募集人員	公共社会学科	10人（うち福岡県内 6名、県外4名）
	社会福祉学科	15人（うち福岡県内10名、県外5名）
	人間形成学科	15人（うち福岡県内10名、県外5名）
試験科目	個別学力試験	小論文 200点（10:00～11:30 90分）
		英 語 200点（12:30～14:00 90分）
		面 接 50点（14:30～ ）
		調 査 書 50点（全体の評定平均値×10）
		教科外活動 5点（社会的活動、スポーツ活動、文化活動等）
出願期間		平成27年11月1日（日）～平成27年11月10日（火）17時必着
試験日		平成27年11月21日（土）
合格発表		平成27年12月7日（月）

#### ○一般選抜概要

区 分		前期日程	後期日程
募集人員	公共社会学科	30人	10人
	社会福祉学科	25人	10人
	人間形成学科	25人	10人
試験科目	センター試験	国語 200点 公民及び地理歴史から1科目 100点 数学I・数学A 100点 外国語（英語・リスニングを含む） 200点（筆記200点を150点 に換算し、リスニング50点を加算）	
	個別学力試験	小論文 200点（10:00～12:00 120分）	
出願期間		平成28年1月25日（月）～平成28年2月3日（水）17時必着	
試験日		平成28年2月25日（木）	平成28年3月12日（土）
合格発表		平成28年3月4日（金）	平成28年3月22日（火）

#### ○社会人特別選抜概要

区 分		社会人
募集人員	公共社会学科	若干名
	社会福祉学科	
	人間形成学科	
試験科目	個別学力試験	小論文 200点（10:00～11:30 90分）
		英 語 100点（12:30～14:00 90分）
		口頭試問 100点（14:30～ ）
出願期間		平成27年11月1日（日）～平成27年11月10日（火）17時必着
試験日		平成27年11月21日（土）
合格発表		平成27年12月7日（月）

○国外就学経験者（帰国生）特別選抜概要

区 分		国外就学経験者（帰国生）
募集人員	公共社会学科	若干名
	社会福祉学科	
	人間形成学科	
試験科目	個別学力試験	小論文 200点（10:00～11:30 90分） 口頭試問 100点（12:30～）
出願期間		平成27年11月1日（日）～平成27年11月10日（火）17時必着
試験日		平成27年11月21日（土）
合格発表		平成27年12月7日（月）

○留学生特別選抜概要

区 分		留学生
募集人員	公共社会学科	若干名
	社会福祉学科	
	人間形成学科	
試験科目	個別学力試験	小論文 200点（10:00～11:30 90分） 口頭試問 100点（12:30～）
出願期間		平成27年11月1日（日）～平成27年11月10日（火）17時必着
試験日		平成27年11月21日（土）
合格発表		平成27年12月7日（月）

○転・編入試験概要

区 分		転・編入学	編入年次
募集人員	公共社会学科	若干名	第3年次
	社会福祉学科		
	人間形成学科		
試験科目	個別学力試験	小論文 200点（10:00～11:30 90分） 英 語 200点（12:30～14:00 90分） 口頭試問 100点（14:30～）	
出願期間		平成27年11月1日（日）～平成27年11月10日（火）17時必着	
試験日		平成27年11月21日（土）	
合格発表		平成27年12月7日（月）	

## 看護学部

### ○推薦入試概要

区 分		推薦入試
募集人員	看護学科	30人（うち県内20人、県外10人）
試験科目	個別学力試験	小論文 200点（10：00～12：00 120分） 面接 50点（13：00～） 調査書 50点（全体の評定平均値×10） 教科外活動 5点（社会的活動、スポーツ活動、文化活動等）
出願期間		平成27年11月1日（日）～平成27年11月10日（火）17時必着
試験日		平成27年11月21日（土）
合格発表		平成27年12月7日（月）

### ○一般選抜概要

区 分		前期日程	後期日程
募集人員	看護学科	50人	10人
試験科目	センター試験	国語 前期：100点 後期：200点 数学Ⅰ・数学A 前期：100点 後期：50点 数学Ⅱ・数学B 前期：100点 後期：50点 物理基礎、化学基礎、生物基礎から2科目、または物理、化学、生物から1科目 前・後期：100点 外国語（英語・リスニングを含む。）前・後期：200点（筆記200点、リスニング50点、合計250点を200点に換算。）	
	個別学力試験	小論文 200点 （10：00～12：00 120分）	小論文 200点 （10：00～12：00 120分）
出願期間		平成28年1月25日（月）～平成28年2月3日（水）17時必着	
試験日		平成28年2月25日（木）	平成28年3月12日（土）
合格発表		平成28年3月4日（金）	平成28年3月22日（火）

### ○社会人特別選抜概要

区 分		社会人
募集人員	看護学科	若干名
試験科目	個別学力試験	小論文 200点（10：00～12：00 120分） 面接 50点（13：00～）
出願期間		平成27年11月1日（日）～平成27年11月10日（火）17時必着
試験日		平成27年11月21日（土）
合格発表		平成27年12月7日（月）

## (2) 研究科別入試選抜試験科目

### 人間社会学研究科

#### ○募集概要

区 分		秋季日程	春季日程
募集人員	社会福祉専攻	6名	秋季日程で定員を満たさなかった場合募集
	心理臨床専攻	6名	
試験科目	個別学力試験	外国語(注1) : 英語 100点(10:00~11:00 60分) 専門科目 : 専攻に関するもの 200点(11:20~12:50 90分) 口頭試験 : あらかじめ提出した研究計画書に基づく 100点(13:30~)	
出願期間		平成27年9月28日(月)～ 平成27年10月5日(月)17時必着	平成28年1月15日(金)～ 平成28年1月22日(金)17時必着
試験日		平成27年10月17日(土)	平成28年2月6日(土)
合格発表		平成27年10月23日(金)	平成28年2月12日(金)

注1: 社会人に関しては、英語の代わりに小論文を選択することができます。

### 看護学研究科

#### ○募集概要

区 分		秋季日程	春季日程
募集人員	看護学専攻	12名	秋季日程で定員を満たさなかった場合募集
試験科目	個別学力試験	外国語 : 英語 100点(10:00~11:00 60分) 専門科目 : 専門領域及び専門分野に関するもの 200点(11:20~12:50 90分) 口頭試験 : あらかじめ提出した研究計画書に基づく 100点(13:30~) 研究コース 面接 : 個人面接方式 100点(13:30~) 専門看護師コース 助産実践形成コース 助産実践アドバンスコース	
出願期間		平成27年9月28日(月)～ 平成27年10月5日(月)17時必着	平成28年1月15日(金)～ 平成28年1月22日(金)17時必着
試験日		平成27年10月17日(土)	平成28年2月6日(土)
合格発表		平成27年10月23日(金)	平成28年2月12日(金)

### 3. 入試実績

(1) 2016（平成 28）年度 学部入学試験状況（区分別・志願者数・受験者数・合格者数・入学者数・志願倍率・実質倍率・定員充足率）

区分		定員 (A)	志願者 (B)		受験者 (C)			合格者 (D)			入学者 (E)		志願倍率 (B) / (A)	実質倍率 (C) / (D)	定員充足率 (E) / (A)				
			男	女	男	女	男	女	男	女	男	女							
人間社会学部	推薦	県内	公共社会学科	6	17	10	7	17	10	7	6	3	3	6	3	3	2.8	2.8	1
			社会福祉学科	10	17	4	13	17	4	13	10	3	7	10	3	7	1.7	1.7	1
		人間形成学科	10	26	5	21	26	5	21	10	1	9	10	1	9	2.6	2.6	1	
		小計	26	60	19	41	60	19	41	26	7	19	26	7	19	2.3	2.3	1	
	県外	公共社会学科	4	17	11	6	17	11	6	4	2	2	4	2	2	4.3	4.3	1	
		社会福祉学科	5	17	2	15	17	2	15	5	0	5	5	0	5	3.4	3.4	1	
		人間形成学科	5	28	1	27	28	1	27	5	0	5	5	0	5	5.6	5.6	1	
	小計	14	62	14	48	62	14	48	14	2	12	14	2	12	4.4	4.4	1		
	合計	40	122	33	89	122	33	89	40	9	31	40	9	31	3.1	3.1	1		
	一般入試	前期	公共社会学科	30	124	54	70	113	51	62	46	15	31	31	10	21	4.1	2.5	1
			社会福祉学科	25	104	26	78	100	26	74	36	6	30	28	5	23	4.2	2.8	1.1
人間形成学科			25	163	18	145	151	16	135	37	3	34	28	3	25	6.5	4.1	1.1	
小計			80	391	98	293	364	93	271	119	24	95	87	18	69	4.9	3.1	1.1	
後期		公共社会学科	10	173	81	92	67	34	33	24	9	15	12	3	9	17.3	2.8	1.2	
		社会福祉学科	10	127	28	99	47	8	39	20	3	17	15	3	12	12.7	2.4	1.5	
		人間形成学科	10	164	20	144	74	9	65	18	1	17	14	1	13	16.4	4.1	1.4	
小計	30	464	129	335	188	51	137	62	13	49	41	7	34	15.5	3	1.4			
合計	110	855	227	628	552	144	408	181	37	144	128	25	103	7.8	3	1.2			
社会人	公共社会学科	若干名	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	—	—	—		
社会福祉学科	若干名	2	1	1	2	1	1	1	0	1	1	0	1	—	2	—			
人間形成学科	若干名	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	—	—	—			
合計		2	1	1	2	1	1	1	0	1	1	0	1	—	—	—			
留学生特別選抜	公共社会学科	若干名	2	1	1	2	1	1	0	0	0	0	0	0	—	—	—		
	社会福祉学科	若干名	3	2	1	3	2	1	0	0	0	0	0	0	—	—	—		
	人間形成学科	若干名	1	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	—	—	—		
合計		6	3	3	6	3	3	0	0	0	0	0	0	—	—	—			
転・編入試験	公共社会学科	若干名	1	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	—	—	—		
	社会福祉学科	若干名	1	0	1	1	0	1	1	0	1	1	0	1	—	1	—		
	人間形成学科	若干名	6	2	4	6	2	4	2	0	2	2	0	2	—	3	—		
合計		8	2	6	8	2	6	3	0	3	3	0	3	—	2.7	—			
海外修学経験者(帰国生)	公共社会学科	若干名	1	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	—	—	—		
	社会福祉学科	若干名	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	—	—	—		
	人間形成学科	若干名	1	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	—	—	—		
合計		2	0	2	2	0	2	0	0	0	0	0	0	—	—	—			
公共社会学科 計	50	335	157	178	218	107	111	80	29	51	53	18	35	6.7	2.7	1.1			
社会福祉学科 計	50	271	63	208	187	43	144	73	12	61	60	11	49	5.4	2.6	1.2			
人間形成学科 計	50	389	46	343	287	33	254	72	5	67	59	5	54	7.8	4	1.2			
人間社会学部 合計	150	995	266	729	692	183	509	225	46	179	172	34	138	6.6	3.1	1.1			
看護学部	推薦	県内	20	64	6	58	64	6	58	20	0	20	20	0	20	3.2	3.2	1	
		県外	10	46	5	41	46	5	41	10	0	10	10	0	10	4.6	4.6	1	
	合計	30	110	11	99	110	11	99	30	0	30	30	0	30	3.7	3.7	1		
	一般	前期	50	224	20	204	214	19	195	77	9	68	57	8	49	4.5	2.8	1.1	
		後期	10	130	8	122	60	3	57	10	0	10	9	0	9	13	6	0.9	
	合計	60	354	28	326	274	22	252	87	9	78	66	8	58	5.9	3.1	1.1		
	社会人	若干名	12	4	8	12	4	8	2	0	2	2	0	2	—	6	—		
看護学部 合計	90	476	43	433	396	37	359	119	9	110	98	8	90	5.3	3.3	1.1			
両学部 合計	240	1,471	309	1,162	1,088	220	868	344	55	289	270	42	228	6.1	3.2	1.1			

(2) 2016（平成28）年度 学部出身地別入学者数

学部	人間社会学部	看護学部		人間社会学部	看護学部		人間社会学部	看護学部
北海道			石川県			岡山県	4	1
青森県			福井県			広島県	9	4
岩手県			山梨県	2		山口県	4	4
宮城県			長野県			徳島県		
秋田県			岐阜県			香川県	2	1
山形県			静岡県	2		愛媛県	4	2
福島県			愛知県			高知県		
茨城県			三重県			福岡県	59	64
栃木県	1		滋賀県			佐賀県	3	5
群馬県			京都府		1	長崎県	12	3
埼玉県			大阪府			熊本県	16	3
千葉県			兵庫県	3		大分県	6	3
東京都			奈良県	1		宮崎県	14	4
神奈川県			和歌山県	1		鹿児島県	16	3
新潟県			鳥取県	2		沖縄県	2	
富山県			島根県	6				

(3) 2016（平成28）年度 大学院入学試験状況（志願者数・受験者数・合格者数・入学者数・  
受験倍率・定員充足率）

区分	定員 (A)	志願者 (B)		受験者 (C)		合格者 (D)		入学者 (E)		志願倍率 (B) / (A)	実質倍率 (C) / (D)	定員充足率 (E) / (A)	
		男	女	男	女	男	女	男	女				
人間社会学 研究科	6	5	2	3	4	1	3	4	1	3	0.8	1	0.7
社会福祉専攻 心理臨床専攻	6	15	5	10	15	5	10	9	1	8	2.5	1.7	1.3
合計	12	20	7	13	19	6	13	13	2	11	1.7	1.5	1
看護学研究科 看護学専攻	12	14	1	13	14	1	13	9	1	8	1.2	1.6	0.8
両研究科 合計	24	34	8	26	33	7	26	22	3	19	1.4	1.5	0.9

4. 入試広報

入試説明会・高校訪問・オープンキャンパス等 実績

区分	開催回数	参加人数	場所
高校訪問	22	394	稲築志耕館・中間高校等
入試説明会	10	278	福岡国際会議場・エルガーラ等
オープンキャンパス	2	1,792	本学
出前講義	24	1,049	東鷹・戸畑・小倉南高校等
高校訪問（来学）	8	258	本学
出前講義（来学）	1	45	本学
意見交換会	1	5	本学
合計	68	3,821	

## VII. 学生支援

### 1. 学生に対する経済面の援助

#### (1) 奨学金受給実績

	在学生数 (A)	学内制度	学外制度					合計 (B)	受給学生の 割合 (%) (B) / (A)
		和田奨学 基金	日本学生 支援機構 (第1種)	日本学生 支援機構 (第2種)	福岡県 教育文化 奨学財団	その他 各自治体 奨学金	その他		
学部生	1,028	1	315	333	0	8	15	672	65.4%
大学院生	53	0	11	5	0	0	2	18	34.0%
合計	1,081	1	326	338	0	8	17	690	63.8%

#### (2) 授業料減免実績

区分		申請者数 (A)	基準該当者数	免除者数 (B)	割合 (%) (B) / (A)
前期	全額免除	27	21	21	77.8%
	半額免除	37	21	21	56.8%
後期	全額免除	38	37	37	97.4%
	半額免除	39	37	37	94.9%

#### (3) 授業料分割納付実績

区分	学部生	大学院生	合計
前期	30	1	31
後期	18	0	18

#### (4) 学生寮の整備状況及び利用実績

区分	定員	利用者数	形態	使用料	雑費	共益費 (入寮時)	入寮期間
すずかけ寮	60	54人	2人部屋	4,300円	7,700円	30,000円	原則2年
アザレア寮	99	89人	個室	11,000円	6,500円	30,000円	原則1年

※ 平成27年5月1日現在

### 2. 学生に対する生活支援（生活、健康、就職等進路、各種ハラスメント等）

#### (1) 保健室利用実績

処置内容	件数	処置内容	件数
与薬	53	血圧測定	54
外科的応急処置	44	検尿	25
整形外科的応急処置	20	医療機関紹介	26
ベッド休養	152	病院移送	5
身体計測	86	学生相談紹介	10
アルコールパッチテスト	89	その他	31
合計	595	件	

## (2) 学生相談室利用実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用回数	19	18	26	26	7	9	26	27	25	26	19	7	235

## (3) GPAに基づいた学習支援対象者数

学部	前期	後期	合計
公共社会学科	17	14	31
社会福祉学科	8	8	16
人間形成学科	6	6	12
看護学科	39	34	73
合計	70	62	132

## (4) 課外・サークル活動概要

### ボランティア系：10

サークル名	活動概要	部員数
湯山荘ボランティアサークル	児童養護施設「湯山荘」において、月曜日は、小学5・6年生対象の学習ボランティア、土曜日は、3～8歳くらいまでの幼児さんたちと一緒に遊ぶ活動を行っています。	46
障害児ボランティアサークル つくしほ	障害を持つ子供たちを大学に招いてゲームを楽しむ余暇支援活動を行っています。その他にも、地域の施設で開催される行事に参加しサポートするなど、様々な活動を行っています。	42
OTTつと（おつとつと）	OTTつと（おつとつと）は、おもちゃ としょかん たがわの略称です。子どもと遊ぶボランティアサークルです。発達の気になる子どもや乳幼児を対象に、研究所内のおもちゃ図書館を遊び場として提供しています。また、保護者との集いの場であり、おもちゃの貸し出しもしています。	43
ハンドポスト	手話啓発活動サークルです。聴覚障害のある方とのコミュニケーションを図ったり、イベントで『手話コーラス』を披露したりしています。	54
ボランティアサークル だん☆だん	高齢者施設でボランティアを行っています。少人数で活動も不定期ですが、個人が楽しみながら利用者様と交流しています。	33
たけのこサークル	月に1回の託児ボランティアを行っています。一緒に遊ぶ子どもたちはいつも楽しそうで、やりがいを感じています。飯塚市社会福祉協議会と関わりながら活動しています。	19
てんぶらあいす	心の病を持つ方々と楽しく交流するボランティアサークルです。活動拠点は「地域活動支援センター 相談支援事業ゆう」と「一本松すずかけ病院」です。他には、社会福祉協議会や社会貢献ボランティアセンター等からのボランティアにも参加させて頂いています。	23
献血推進サークル	月に一度、所属している北九州ブロックの大学が集まり、赤十字社で定例会を行っています。そこで今後の方針を決め、夏・冬に行う街頭献血、学内献血、5月の博多どんたくに参加します。夏前には、県内所属大学全員で合宿を行い、若年層に向けて献血啓発活動を行っていくうえでの目標や知識を深めます。	19
福岡県立大学BBS	非行傾向にある子どもたちと関わりを持ち、一緒に活動しているボランティアサークルです。主な活動として、NPO法人「田川ふれ愛塾」への訪問ボランティアを行っています。毎月1回定例会を開き、活動の報告などを行っています。	9
ネイチャースクール	小学生の子どもたちの自然体験や異年齢集団間の交流を助けるため季節に合わせた遊びを企画・実行しています。	20

### 体育会系：13

サークル名	活動概要	部員数
男子バスケットボール部	体育館における練習では、基本的な練習メニューから、試合に向けた応用練習まで、キャプテンを中心に皆で一丸となって楽しく活動しています。また、地域の試合にも積極的に参加し、多くの方々と交流させて頂いています。新チームになったので、今まで以上に団結して頑張っていきます。	29
女子バスケットボール部	火・木・土曜の週3回の練習に加え、公式戦や練習試合などもあり、真面目に楽しく練習しています。	37
硬式テニス部	週3回、13時からヤル気のある部員たちが笑顔でコート駆け回っています。 ”仲の良いサークルトップ5”には確実にランクインすると思います！	50

サークル名	活 動 概 要	部員数
ソフトテニス部	毎週、月・火・木・土と活動しています。初心者でも気軽にテニスができて、ワイワイやっているのでとても楽しく明るい部活です。試合にも出たり、ボランティアをやったりもしていて、積極的に参加しています。	35
男子サッカー部	水曜・土曜の週2度の練習、練習試合、インカレやリーグ戦への出場に向けて頑張っています。	43
女子サッカー部	毎週火曜日、週1回のペースで県立大学のグラウンドを利用して練習しています。初心者から経験者までいますが、初心者に合わせて練習を行い、楽しくサッカーの技術を身に付けて貰うことをモットーとしています。女子サッカー部は本当に個性豊かでみんな仲良く、楽しいサークルです。	52
男子バレーボール部	週3回(月・水・金)、充実した練習を行い、インカレやリーグ戦にも参加しています。	17
女子バレーボール部	毎週月・水・金曜日に体育館で活動しています。練習時間は4時間を男子バレー部と半分ずつ使ってやっています。初心者から経験者と一緒に楽しく活動しています。	51
硬式野球部	キャッチボール、バッティング、ノック、ティー、ペーラン…リーグ戦に向け、一生懸命練習に取り組んでいます！	24
軟式野球部	男女問わず野球が好きな人が集まっているので、みんな仲が良いサークルです。	44
バドミントン部	素敵な先輩・後輩に恵まれた素晴らしいサークルです。活動内容は、まだまだ試行錯誤している最中ですが、経験者も未経験者も関係なく、全員が楽しめるような雰囲気づくりに努めていきます。	49
水泳部 筋魚	夏は体育館屋上の学内プールで、シーズンオフは学外のプールで泳ぎ、体育館でも軽い運動をしています。	12
フットサルサークル英彦山FC	みんなで楽しくフットサルをしています。	64

### 文化系：13

サークル名	活 動 概 要	部員数
茶道部	お茶のお稽古(表千家)と着付けのお稽古を中心に毎週活動をしています。秋の大学祭では、外部のお客さまを呼んでお茶会を開きます。その他にも初釜や七夕茶会など、内輪で楽しむイベントも行っていますよ。茶道の免許を取ることもできます。お茶を始めてみませんか？初心者の方も大歓迎です。	26
美術部	初心者も経験者も大歓迎です！合同展や砂アートなど、みんなで仲良く活動しています。	6
文芸部	毎年大学祭で配布する『部誌』を完成させるために日々活動していますが、毎回部員を集めて作品評価をしているわけではありません。自分のペースで自分の好きな時に創作活動をしています。経験者も未経験者も気軽に入部できるサークルです。	10
二次研	アニメや漫画等を通して自由に話し合うサークルです。	41
aimit	みんなでイラストを描いています。和気あいあいと活動しています。	13
ジャズ研究サークル	大学祭のステージ、新歓ライブ、クリスマスコンサートを通して、日頃の練習の成果を聴いて貰っています。地域のイベントから演奏依頼がくることもあり、大学以外でも演奏する機会が多いです。Jazzは難しいジャンルですが奥が深く、たくさんさんの魅力があり、初心者から始めた人も楽しく活動しています。	41
軽音楽サークル「万屋」	月に1回程度ライブしてます！イベントなどの音響手伝いもしてます！みなさん、ライブに遊びに来て下さい！	86
福岡県立大学吹奏楽団	毎週 月・水・金曜日に音楽室にて練習しています。個人やパート練習をしたり、合奏をしたりして充実した時間を過ごしています。初心者も経験者もみんなで楽しく活動しています。	26
創作芸能研究部 (CDR21)	九州工業大学・社会人との合同サークルで、地域活性化を目指しているパフォーマンス団体です。『創作炭坑節』という看板を背負いながら、主に学外の舞台で、様々な方から依頼を受けて出演させて頂いています。夏から秋にかけては、多くのお祭にも参加します。週2回の練習では、出演のためにメンバーで楽しく練習をしています。1年生は、5月の神幸祭でデビューします。テレビ出演や県外での出演をしたこともあります。	22
HIP HOP ダンスサークル	サークル内で各自チームを組み、ダンスイベントへの参加、大学祭のステージ参加をしています。毎週月・水・木に体育館2階のダンスフロアでイベントやショーに向け、練習しています。いつも元気に楽しく練習しているので、笑いの絶えないサークルです。	44
ESS	卒業、または進学までに、TOEICで点数をとりたい人が集まって、日々楽しく勉強してます！	20
魔女のさんぼみち	庭(4号館と5号館の間のハーブ園)でハーブを育て、収穫し、自分のため、大切な誰かのため、暮らしの中で役立つことが目標です。無理をせず、時間をかけて共に庭を育てていきましょう。 *月の最終火曜日は、茶話会。 *不定期でイベントやワークショップを。	22
テーブルゲーム愛好会	テーブルの上で行う あらゆるゲームを楽しむ会です。 (例：トランプ、オセロ、将棋、ビリヤード、卓球、麻雀、チェス… その他 テーブルの上でできるゲームなら何でも可)	10

(5) キャリアサポートセンター利用人数実績

	人間社会学部	看護学部	合計
1年生	0	0	0
2年生	4	0	4
3年生	183	5	188
4年生	509	168	677
院生	2	0	2
既卒	7	0	7
合計	705	173	878

(6) 就業力向上支援室活動概要

表1 インターンシップの実績

	プレ・インターンシップ	中長期・実践型 インターンシップ	インターンシップ
学生数	51名	6名	2名
受入企業	31件	3件	1件

表2 研修会、報告会等の実績

研修会等	回数
マナー研修（プレ・インターンシップ）	2
双方向性コミュニケーション研修（プレ・インターンシップ）	3
プレ・インターンシップ中間報告会（グループディスカッション形式）	1
インターンシップ報告会	1
インターンシップ取組拡大ワークショップ	3
中長期・実践型インターンシップに関する合同コーディネーター（専門人材）育成研修会	2
夏季中長期・実践型インターンシップ受入企業との情報交換会	1
中長期・実践型インターンシップ企業向け説明会	1
中長期・実践型インターンシップ体験報告会（平成26年度春季・平成27年度夏季）	2
夏季中長期・実践型インターンシップ合同事前研修会	1
「中長期・実践型インターンシップ推進と教育的な指導体制の構築」取組成果報告会	1

表3 報告書等成果物について

成果物	発行数
マイキャリアポケット（社会貢献活動記録帳）	840
インターンシップ報告会報告書（電子ブックをHPに掲載）	1
「中長期・実践型インターンシップ推進と教育的な指導体制の構築」成果報告書	1,200
中長期・実践型インターンシップ事例集	1,200

(7) インターンシップ参加者数及び派遣企業・団体数

	参加者数	派遣企業・団体数	派遣先
H25年度	17	16	田川市役所、西日本鉄道株式会社など
H26年度	20	17	田川市役所、九州海外協力協会など
H27年度	32	27	福岡県庁、田川市役所など

(8) 支援を必要とする学生数

	人間社会学部	看護学部	人間社会学研究科	看護学研究科
障害のある学生	0	0	1	0
留学生	2	0	1	0
社会人学生	0	0	6	20
合計	2	0	8	20

(9) 留学生ビジット状況

ホームビジット先	留学生の出身大学	人数	ホームビジット期間
田川市	南京師範大 大邱韓医大 三育大	6	H27. 12. 30

(10) 留学生支援事業実施状況

実施日	行き先	事業内容
平成27年5月30日	英彦山	田川の歴史と文化を学ぶ
平成27年6月19日	飯塚市内	筑豊地区の他大学の留学生等とのネットワークを広げる
平成27年7月19日	北九州いのちのたび博物館ほか	九州とアジアの歴史的関わりについて学ぶ
平成27年10月17日	小石原、日田豆田地区	大陸伝来の陶芸と日本の古い町並みを体験する
平成28年1月23日	大濠公園、櫛田神社ほか	福岡の歴史と文化を学ぶ

(11) 社会福祉士及び精神保健福祉士国家試験の受験対策実施状況

受験対策内容	回数	参加延人数
先輩との交流会	1	81
模試	2	96
受験対策講座	18	710

(12) 看護師・保健師国家試験の受験対策実施状況

受験対策内容	回数	参加延人数
補講	看護師4、保健師6	341
模試	看護師6、保健師5	499

\* 平成24年度入学者より保健師国家試験の受験資格が選抜となった。

(13) 公務員講座実施状況

	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度
授業回数	70回	70回	70回	70回/148回	70回/110回	70回/111回
登録者人数	47名	62名	68名	52名/17名	38名/32名	70名/32名

平成25年度より2年生向けの対策<基礎>講座/3年生向けの対策講座の2コースになっています。

(14) 就職対策講座実施状況

	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度
回数	2回	1回	3回	3回	3回	5回
参加者数	20名	69名	36名	35名	25名	49名

## VIII. 施設・設備

### 1. 講義室等の設置状況

区分	講義室	演習室	実験実習室	情報処理 学習施設	語学学習 施設
1号館	7	1	2		
2号館	1				
3号館	7	8	4	2	1
4号館	2	1	4	1	
5号館	8	10	4		
その他	1				
計	26	20	14	3	1

### 2. 施設・設備のバリアフリー化状況

	スロープ	階上階用 エレベーター	多目的トイレ	点字ブロック
1号館	設置	設置	4ヶ所	
2号館	設置	設置		
3号館	設置	設置	2ヶ所	
4号館	設置	設置	4ヶ所	
5号館	設置	設置	4ヶ所	
管理棟・講堂・大講義室	設置	設置	5ヶ所	設置
図書館	設置	設置	2ヶ所	設置
体育館・プール	設置		1ヶ所	
福利厚生棟	設置		1ヶ所	
附属研究所	設置	設置	1ヶ所	
心理学実験棟	設置			

### 3. 自主的な学習活動が可能な施設

施設一覧	
・ 1号館 1階 自由閲覧室	・ 図書館（本館・分館（4号館 1階））
・ 1号館 1階 国家試験対策室（3室）	・ 3号館 2階 3 2 1 1 自習室
・ 5号館 2階 自習室（5室）	

### 4. 自由閲覧室利用状況（利用者数）

	H 2 2 年度		H 2 3 年度		H 2 4 年度		H 2 5 年度		H 2 6 年度		H 2 7 年度	
	8:45~17:00	17:00~21:00	8:45~17:00	17:00~21:00	8:45~17:00	17:00~21:00	8:45~17:00	17:00~21:00	8:45~17:00	17:00~21:00	8:45~17:00	17:00~21:00
年間延べ人数	1,179	620	1,142	768	1,618	860	1,684	954	1,575	907	1,597	991

## 5. ICT 環境（情報処理センター）

### （1）情報処理学習施設

区分	パソコン台数	利用曜日	時間
情報処理教室 1	74	月～金	8：30～20：00
情報処理教室 2	54	月～金	8：30～20：00
3208 演習室	16	月～金	8：30～18：00

### （2）無線 LAN アクセスポイント

建物設置箇所	建物設置箇所	
1号館	1階	2箇所（キャンパススクール、学生談話室）
	2階	2箇所（公共社会学科学生研究室、1222 講義室）
	3階	3箇所（心理臨床大学院生研究室、社会福祉大学院生研究室（2 部屋））
	4階	1箇所（1410 栄養実習室）
2号館	1階	1箇所（2101 講義室）
3号館	1階	7箇所（3102 演習室、3103 演習室、3104 演習室、3105 演習室、3107 非常勤講師室、3109 講義室、キャリアサポートセンター）
	2階	10箇所（3201 演習室、3205 演習室、3208 演習室、3202 講義室、3203 講義室、3204 講義室、3207 講義室、3212 講義室、3206 社会調査実習室、3211 自習室）
	3階	2箇所（3317LL 教室、3319 講義室）
4号館	3階	1箇所（4302（学生実験室））
	4階	3箇所（会議室、廊下2箇所）
5号館	2階	4箇所（廊下）
	3階	4箇所（5301 実習室Ⅳ、5302 実習室Ⅲ、5303 実習室Ⅱ、5304 実習室Ⅰ）
	4階	5箇所（小会議室、廊下4箇所）
講堂管理棟	1階	1箇所（廊下）
	2階	1箇所（廊下）
心理学実験棟	1階	1箇所（心理教育相談室）
附属図書館	1階	1箇所（自由閲覧室）
	2階	1箇所（閲覧室）
福利厚生棟	1階	1箇所（食堂）

## 6. 図書館

### (1) 施設・職員、開館時間

区分		本館		看護学部分館	
		開館	閉館	開館	閉館
通常期間 (下記を除く期間)	平日	8:45	20:00	8:45	22:00
	土曜日	8:45	17:00	8:45	21:00
	日曜日・祝日	休館	休館	9:00	17:00
長期休暇期間	平日	8:45	17:00	8:45	17:00
	土曜日	休館	休館	9:00	17:00
	日曜日・祝日	休館	休館	9:00	17:00
休館日		<ul style="list-style-type: none"> <li>・12月末～1月始</li> <li>・大学及び大学院入学試験日</li> <li>・秋興祭</li> <li>・館内整理(毎月末日)・蔵書点検期間</li> </ul>			
職員数		3(他:図書館事務1)人		2人	

### (2) 貸出条件

○帯出冊数および日数				
利用者	種別	数	期間	
1～3年生、研究生、聴講生、科目等履修生、一般利用者	図書	5冊以内	1週間以内	
	雑誌	3冊以内	1週間以内	
	音楽CD・カセット	2タイトル以内	1週間以内	
4年生、留学生、糖尿病看護認定看護師教育課程受講生	図書	5冊以内	2週間以内	
	雑誌	3冊以内	1週間以内	
	音楽CD・カセット	2タイトル以内	1週間以内	
大学院生、教職員(非常勤の者を含む)	図書	10冊以内	30日間以内	
	雑誌	5冊以内	1週間以内	
	音楽CD・カセット	2タイトル以内	1週間以内	
次の図書は帯出できません。				
① 参考図書(辞書、辞典、図鑑、年鑑、統計、地図、法令集及びこれらに準ずるもの)				
② 貴重図書				
③ 雑誌の最新号、新聞				
④ 機械可読資料(マイクロフィルム、CD-ROM等)				
⑤ 映像資料(DVD、ビデオテープ、ビデオディスク等)				
⑥ その他館長が館外利用を不適当と認めたもの				
○帯出更新				
貸出中の図書は予約者のないときに限り、貸出期間を更新することができます。				

### (3) 蔵書数

(単位:冊)

区分	図書		学術雑誌	電子ジャーナル		
	(うち外国書)			(うち外国書)	(うち外国書)	(うち外国書)
本館	133,125	24,181	299	38	16	16
分館	29,534	3,643	207	33	11	11
合計	162,659	27,824	506	71	27	27

(4) 入館者状況

(単位：人)

区分	H 2 2 年度	H 2 3 年度	H 2 4 年度	H 2 5 年度	H 2 6 年度	H 2 7 年度
本館	15,061	21,788	21,340	19,613	18,296	18,035
分館	15,936	19,035	19,716	21,033	23,943	21,221
合計	30,997	40,823	41,056	40,646	42,239	39,256

(5) 貸出状況（学内・学外者）

(単位：冊)

区分	H 2 2 年度			H 2 3 年度			H 2 4 年度			H 2 5 年度			H 2 6 年度			H 2 7 年度		
	学内者	学外者		学内者	学外者		学内者	学外者		学内者	学外者		学内者	学外者		学内者	学外者	
本館	18,736	17,408	1,328	20,862	19,635	1,227	19,661	18,489	1,172	17,672	14,179	3,493	16,134	13,383	2,751	15,811	13,189	2,622
分館	22,752	18,200	4,552	21,557	17,624	3,933	20,072	16,469	3,603	21,193	15,741	5,452	18,557	14,217	4,340	15,903	14,369	1,534
合計	41,488	35,608	5,880	42,419	37,259	5,160	39,733	34,958	4,775	38,865	29,920	8,945	34,691	27,600	7,091	31,714	27,558	4,156

7. 学生団体が課外活動に利用する施設の整備状況

サークル部屋・学生会館

施設一覧		
・グラウンド	・プール	・茶室
・体育館	・音楽室	・部室17部屋
・テニスコート	・造形実習室	・スタジオ2部屋

※上記以外に、講義室・演習室を使うサークルもある。

## IX. 就職

### 1. 卒業後の状況

#### (1) 学科別就職率及び進学、就職希望者の就職率

学部 学科別	卒業者数 (A)	就職希望者数 (B)	就職決定者数 (C)	進学者数			その他	就職率 (%) (C) / (A)	就職希望者の就職率 (%) (C) / (B)
				大学院	その他 専修学校				
公共社会学科	54	49	47	2	0	2	3	87.0%	95.9%
社会福祉学科	54	51	51	1	0	1	2	94.4%	100.0%
人間形成学科	55	42	41	9	7	2	4	74.5%	97.6%
看護学科	73	66	66	7	5	2	0	90.4%	100.0%
合計	236	208	205	19	12	7	9	86.9%	98.6%

#### (2) 学科別所在地別就職先一覧

学部	公共社会学科	社会福祉学科	人間形成学科	看護学科		公共社会学科	社会福祉学科	人間形成学科	看護学科
北海道				1	和歌山県		1		
青森県					滋賀県		1		
岩手県					奈良県				
秋田県					京都府				
宮城県					大阪府	1	2		5
山形県					兵庫県		1		2
福島県					岡山県			2	
茨城県					広島県	3			2
栃木県					鳥取県				1
群馬県					島根県				
埼玉県					山口県	4		2	2
千葉県					香川県				
東京都	9	2	8	3	徳島県				
神奈川県	1	1	1	1	愛媛県		1	2	
新潟県					高知県				
福井県					福岡県	20	31	17	45
石川県					佐賀県			2	
富山県					長崎県		2	3	1
静岡県	1				大分県	1	2		1
山梨県			1		熊本県	2	2	1	
長野県					宮崎県			2	1
愛知県	2				鹿児島県	2	3	2	
岐阜県	1				沖縄県				1
三重県					その他				

(3) 学科別産業別就職先一覧

公共社会学科	種別	就職者数	割合
	建設業		0.0%
	製造業	2	4.3%
	電気・ガス・熱供給・水道業		0.0%
	情報通信業	7	14.9%
	運輸業・郵便業	1	2.1%
	卸売業・小売業	9	19.1%
	金融業・保険業	8	17.0%
	不動産業・物品賃貸業	1	2.1%
	学術研究・専門・技術サービス業		0.0%
	宿泊業・飲食サービス業		0.0%
	生活関連サービス業・娯楽業		0.0%
	教育・学習支援業	1	2.1%
	医療・福祉	2	4.3%
	複合サービス業		0.0%
	サービス業	13	27.7%
公務	3	6.4%	
その他		0.0%	

社会福祉学科	種別	就職者数	割合
	農業・林業		0.0%
	製造業		0.0%
	情報通信業	1	2.0%
	卸売業・小売業	3	5.9%
	金融業・保険業		0.0%
	医療施設	13	25.5%
	福祉	23	45.1%
	公務	9	17.6%
	その他	2	3.9%

看護学科	種別	就職者数	割合
	病院・医療施設 (看護師・助産師)	52	78.8%
	教員 (養護教諭含む)	8	8.6%
	官公庁 (看護師・保健師)	6	6.5%
	その他	0	0.0%

人間形成学科	種別	就職者数	割合
	幼稚園・保育園	8	19.5%
	幼稚園・保育園 (官公庁)	6	14.6%
	卸売業・小売業	6	14.6%
	官公庁	3	7.3%
	サービス業	7	17.1%
	金融・保険業	4	9.8%
	福祉施設	2	4.9%
	医療施設	1	2.4%
	教育業・学習支援業	2	4.9%
	その他	2	4.9%

(4) 大学院課程修了生専攻別就職率及び進学、就職希望者の就職率

研究科 専攻別	修了者数 (A)	就職希望者数 (B)	就職決定者数 (C)	進学者数	その他	就職率 (%) (C) / (A)	就職希望者の就職率 (%) (C) / (B)
社会福祉専攻	3	0	0	2	1	0.0%	—
心理臨床専攻	10	10	8	0	0	80.0%	80.0%
地域教育支援専攻	3	3	3	0	0	100.0%	100.0%
看護学研究科	5	2	2	0	3	40.0%	100.0%
合計	21	15	13	2	4	61.9%	86.7%

(5) 大学院課程修了生専攻別産業別就職先一覧

社会福祉専攻	種別	就職者数	割合
	教育・学習支援業	0	0.0%
	公務	0	0.0%

看護学専攻	種別	就職者数	割合
	教育・学習支援業	2	100.0%
	医療・福祉	0	0.0%

心理臨床専攻	種別	就職者数	割合
	教育・学習支援業	4	50.0%
	医療・福祉	4	50.0%
	公務	0	0.0%

地域教育支援専攻	種別	就職者数	割合
	その他の専門・技術サービス業	1	33.3%
	サービス業	1	33.3%
	教育・学習支援業	1	33.3%

## X. 研究

### 1. 研究成果の発信

#### (1) 紀要等

		H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	公開URL
福岡県立大学 人間社会学部紀要	発行回数	年2回	年2回	年2回	年2回	年2回	<a href="http://www.fukuoka-pu.ac.jp/academics/human/journal.html">http://www.fukuoka-pu.ac.jp/academics/human/journal.html</a>
	発送部数 (発行部数)	1号 263 (500) 2号 261 (500)	1号 250 (400) 2号 249 (400)	1号 239 (400) 2号 230 (400)	1号 67 (200) 2号 66 (200)	1号 70 (200) 2号 70 (200)	
福岡県立大学 看護学部紀要	発行回数	年2回	年2回	年2回	年1回	年1回	<a href="http://www.fukuoka-pu.ac.jp/academics/nurse/journal.html">http://www.fukuoka-pu.ac.jp/academics/nurse/journal.html</a>
	発送部数 (発行部数)	1号 244 (400) 2号 244 (400)	1号 241 (400) 2号 240 (400)	1号 239 (400) 2号 239 (400)	1号256 (400)	1号 252 (400)	
福岡県立大学 心理臨床研究	発行回数	年1回	年1回	年1回	年1回	年1回	
	発送部数 (発行部数)	106 (200)	104 (200)	118 (200)	102 (200)	113 (200)	

#### (2) 附属研究所業務実績報告書等

発行元	出版物	発送部数（発行部数） 公開URL（電子ブック）
生涯福祉研究センター	生涯福祉研究センター2014 年度事業報告書 (2015年11月発行)	電子ブック <a href="http://www.fukuoka-pu.ac.jp/research/welfare/ebook/index.html">http://www.fukuoka-pu.ac.jp/research/welfare/ebook/index.html</a>
不登校・ひきこもりサポートセンター	不登校・ひきこもりサポートセンター 2014 年度事業報告書 (2015年11月発行)	電子ブック <a href="http://www.fukuoka-pu.ac.jp/research/cscsn/ebook/index.html">http://www.fukuoka-pu.ac.jp/research/cscsn/ebook/index.html</a>
ヘルスプロモーション実践研究センター	ヘルスプロモーション実践研究センター 2014 年度事業報告書 (2015年10月発行)	電子ブック <a href="http://www.fukuoka-pu.ac.jp/research/helthpromo/ebook/index.html">http://www.fukuoka-pu.ac.jp/research/helthpromo/ebook/index.html</a>
社会貢献・ボランティア支援センター	社会貢献・ボランティア支援センター 2014 年度事業報告書 (2015年10月発行)	電子ブック <a href="http://www.fukuoka-pu.ac.jp/research/volunteer/ebook/index.html">http://www.fukuoka-pu.ac.jp/research/volunteer/ebook/index.html</a>
附属研究所	福岡県立大学公開講座報告書 2015年版 (2016年3月発行)	200部
附属研究所	2015 年度附属研究所 山本作兵衛関係資料等の 活用に関する報告書 (2016年3月発行)	100部
附属研究所	vo154 山本作兵衛さんを〈読む〉会編『山本作兵衛 一日記・手帳－』解説資料集 第15巻 (2016 年3月発行)	200部

#### (3) その他

	H24 年度		H25 年度		H26 年度		H27 年度	
	発行回数	発送部数 (発行部数)	発行回数	発送部数 (発行部数)	発行回数	発送部数 (発行部数)	発行回数	発送部数 (発行部数)
社会調査実習 報告書	年1回	10 (30)	年1回	10 (30)	年1回	10 (30)	年1回	15 (60)

## 2. 研究奨励交付金決定一覧

区分		H 2 2年度		H 2 3年度		H 2 4年度		H 2 5年度		H 2 6年度		H 2 7年度	
		件数	金額 (千円)										
プロジェクト研究	人間社会学部	3	5,298	5	5,440	5	4,550	3	1,942	1	986	2	1,959
	看護学部	4	4,798	5	5,670	6	5,700	4	3,606	5	4,248	2	1,787
	計	7	10,096	10	11,110	11	10,250	7	5,548	6	5,234	4	3,746
個別研究※1	人間社会学部	7	3,485	7	2,445	11	3,315	10	2,740				
	看護学部	13	5,490	19	5,196	13	4,190	15	4,311				
	計	20	8,975	26	7,641	24	7,505	25	7,051				
全学横断型プログラム研究助成※2	人間社会学部											2	891
	看護学部											2	988
	計											4	1,879
若手研究助成※3	人間社会学部									2	393	3	270
	看護学部									10	1,411	9	1,186
	計									12	1,804	12	1,456
院生研究助成※4	人間社会学部									1	54	2	112
	看護学部									0	0	1	39
	計									1	54	3	151
教員表彰者支援※5	人間社会学部									1	100		
	看護学部									1	100		
	計									2	200		
科研申請支援※6	人間社会学部							2	200	2	200	2	200
	看護学部							1	100	3	300	0	0
	計							3	300	5	500	2	200
合計	人間社会学部	10	8,783	12	7,885	16	7,865	15	4,882	7	1,733	11	3,432
	看護学部	17	10,288	24	10,866	19	9,890	20	8,017	19	6,059	14	4,000
	計	27	19,071	36	18,751	35	17,755	35	12,899	26	7,792	25	7,432

※金額については予算配分額

※1については平成26年度から廃止

※2については平成27年度より採択開始

※3、4、5については平成26年度より採択開始

※6については平成25年度より採択開始

## 3. 外部資金等の獲得実績（平成27年度受託研究等事業名）一覧

（単位：千円）

委託元		研究課題等	金額
継続	文部科学省	大学間連携共同教育推進事業（代表校）	26,073
継続	文部科学省	がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン（連携校）	512
継続	文部科学省	大学教育再生加速プログラム（代表校）	6,919
継続	マルボシ酢株式会社	産学官連携による過疎化地域対策事業のモデルづくりについての研究—田川地域における地域ブランドの確立による産業創生—	200
新規	あいち小児保健医療総合センター	標準となる問診項目の利用状況及び有効性の評価	500
計		5 件	34,204

#### 4. 大学間連携共同教育推進事業

平成 27 年度「大学間連携共同教育推進事業」成果

##### (1) 取組内容

平成 24 年度文部科学省「大学間連携共同教育推進事業」に、本学を代表校とした、福岡及び沖縄の看護系大学 8 大学とステークホルダー 5 団体による「多価値尊重社会の実現に寄与する学生を養成する教育共同体の構築」が採択され、事業を継続実施している。

看護系大学では、自由度の低いカリキュラムの中で、学生たちはともすると単一の価値観をもとにした頑なな使命感を身につけがちである。この単一価値観が、挫折しやすい状況をもたらしていると認識されており、看護職者の早期離職につながっている。そこで、本補助事業において、単一価値からの脱却を目指した教育(基盤的取組)、及び、各大学が開講している「特徴科目」を単位互換すること(先進的取組)によって、多様な価値を理解し共有する、「しなやかな使命感」を有する学生を養成することを目的としている。

##### (2) 取組成果

###### ① 事業全体に関すること

- ・連携大学及びステークホルダーからなる共同教育連携運営協議会総会を開催した。[福岡：1回，沖縄：2回，テレビ会議：1回]
- ・3部会による運営体制により事業内容を推進した。[キャリア像確立部会：10回，単位互換・相互受講部会：14回，研修調整部会：4回]

###### ② 基盤的取組に関すること

- ・キャリア像確立講義Ⅰ・Ⅱについて、各8回ずつ(計16回)オンデマンドの配信を行い、6大学15名が38回の閲覧をした。
- ・ナーシング・キャリアカフェを開催した。[福岡地区：12回，沖縄地区：8回]

###### ③ 先端的取組に関すること

- ・本年度より、本格的な単位互換・相互受講制度を開始した。
- ・単位互換状況は、当大学の「性教育学」「不登校・ひきこもり援助論」に合わせて12名が受講し、単位認定を受けた。
- ・国際協力看護領域および災害看護領域、島嶼看護領域における学生による合同短期研修を行った。[国立国際医療研究センター病院：15名，兵庫県災害医療センター：4名，島嶼(池間島)：19名]

##### (3) 広報活動

- ・年次事業報告書を発行した。[2000部]
- ・ニューズレター「しなやかだより」を発行した。[6号：1500部，7号：1500部]
- ・ホームページの更新を行った。[随時]
- ・学会発表等を行った。[5つの学会で延べ75名が発表]

## 5. 大学教育再生加速プログラム（インターンシップ等を通じた教育強化）事業

平成 27 年度文部科学省「大学教育再生加速プログラム（インターンシップ等を通じた教育強化）」  
成果

### (1) 取組内容

平成 26 年度に文部科学省「産業界ニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業【テーマ B】インターンシップ等の取組拡大」に福岡県立大学（幹事校）、福岡工業大学、西九州大学の連携 3 大学及び九州インターンシップ推進協議会で構成された「中長期・実践型インターンシップの推進と教育的な指導体制の構築」が採択され、事業を継続実施した（平成 27 年度に「大学教育再生加速プログラム（インターンシップ等を通じた教育強化）」に事業名変更）。

他の 2 大学、九州インターンシップ推進協議会と連携して、中長期・実践型インターンシップ連携教育プログラムの設計、教育的な指導体制の構築、福岡・佐賀地域での中長期・実践型インターンシップの推進に取り組んだ。また、福岡県の隣接地域まで含めた広域的なインターンシップの取り組みを図り、九州地域の大学におけるインターンシップの推進に努めた。

### (2) 取組成果

- ① 平成 26 年度春季に実施した 6 週間の中長期・実践型インターンシップ試行プログラムを検証し、平成 27 年度夏季に 4 週間の中長期・実践型インターンシップ教育プログラムを実施した（受入企業 8 社、連携 3 大学参加学生 16 人）。また、本学単独の取組として 1・2 年次対象の「プレ・インターンシップ」を体験した学生を対象とした学期中での中長期・実践型インターンシップを実施した。
- ② 北九州（田川市）、西九州（長崎市）、南九州（鹿児島市）の 3 地域でインターンシップ取組拡大ワークショップを開催し、大学および企業のインターンシップ担当者の出席（大学教職員延べ 53 人、企業担当者延べ 31 人参加）を得た。
- ③ インターンシップのマッチングに必要な専門人材養成を目指した合同コーディネーター研修会を、北部九州、南九州の 2 地域において開催（参加者：大学教職員延べ 24 人、企業担当者延べ 9 人）した。
- ④ 九州・沖縄及び山口地域の大学（101 校）・短期大学（48 校）計 149 校を対象に中長期・実践型インターンシップに関するアンケートを実施した（68 校：回収率 45.6%）。実践型インターンシップとして、短期・課題協働型の導入が平成 26 年度調査での 6.7%（4 校/60 校）から平成 27 年度には 14.7%（10 校/68 校）へと増加していることがわかった。また、平成 26・27 年度の受入企業（9 社）に対してヒアリング調査を行い、実践型インターンシップの実施時期・期間や受け入れ条件等を整理した。
- ⑤ 本補助事業へ 5 つの大学・短期大学、6 つのインターンシップ等支援組織、6 つの産業界等支援組織に積極的に協力していただき、取組対象地域が福岡・佐賀・長崎・大分・熊本・鹿児島に拡大した。

(3) 広報活動

- ・平成 26 年度文部科学省 産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業【テーマ B】 インターンシップ等の取組拡大（平成 27 年度文部科学省 大学教育再生加速プログラム（インターンシップ等を通じた教育強化）に変更）「中長期・実践型インターンシップ推進と教育体制の構築 成果報告書」を 1,200 部（2016 年 3 月）および「中長期・実践型インターンシップ事例集」を 1,200 部発行（2016 年 2 月）し、関係諸機関に配布及び発送した。
- ・ホームページの更新を随時行った。

6. 科学研究費補助金応募・獲得状況及び外部研究費受入額（各学部）

人間社会学部

		H 2 2 年度	H 2 3 年度	H 2 4 年度	H 2 5 年度	H 2 6 年度	H 2 7 年度	
科学研究費補助金 (件数)	応募件数	25	25	25	29	37	35	
	うち新規応募件数	20	15	13	20	30	26	
	新規獲得件数	6	6	3	4	6	3	
	採択率	30.0%	40.0%	23.1%	20.0%	20.0%	11.5%	
	獲得件数	13	17	13	11	16	12	
外部研究資金 (受入額：千円)	科研費	23,240	27,950	21,862	17,940	27,468	11,310	
	その他	0	0	0	0	0	0	
	合計	23,240	27,950	21,862	17,940	27,468	11,310	
受託 研究等 (研究のみ)	受託研究	件数	1	1	—	2	1	0
		金額(千円)	1,995	1,995	—	535	500	0
	共同研究	件数	1	3	1	4	2	1
		金額(千円)	500	1,361	1,397	1,768	699	200
	G P 及び 大学改革推進 事業	件数	1	1	1	1	2	1
		金額(千円)	19,953	16,800	8,431	11,983	19,774	6,919
計	件数	3	5	2	7	5	2	
	金額(千円)	22,448	20,156	9,828	14,286	20,973	7,119	
受託研究等 (上記以外)	件数	1	1	1	—	—	—	
	金額(千円)	1,201	895	164	—	—	—	
受託研究等 合計	件数	4	6	3	7	5	2	
	金額(千円)	23,649	21,051	9,992	14,286	20,973	7,119	
合計(千円)		46,889	49,001	31,854	32,226	48,441	18,429	

		H 2 2 年度	H 2 3 年度	H 2 4 年度	H 2 5 年度	H 2 6 年度	H 2 7 年度
科学研究費補助金 (件数)	応募件数	26	25	29	34	35	39
	教員数	50	51	51	48	42	46
	応募率(無資格者等除く)	51.0%	50.0%	56.9%	89.5%	89.7%	90.7%

看護学部

		H 2 2 年度	H 2 3 年度	H 2 4 年度	H 2 5 年度	H 2 6 年度	H 2 7 年度	
科学研究費補助金 (件数)	応募件数	52	54	49	52	54	51	
	うち新規応募件数	39	45	34	36	40	33	
	新規獲得件数	4	13	6	6	10	7	
	採択率	10.3%	28.9%	17.6%	16.7%	25.0%	21.2%	
	獲得件数	16	19	19	19	22	22	
外部研究資金 (受入額：千円)	科研費	17,550	25,870	30,680	24,960	31,887	32,890	
	その他	0	0	0	0	0	0	
	合計	17,550	25,870	30,680	24,960	31,887	32,890	
受託 研究等 (研究のみ)	受託研究	件数	2	0	2	1	1	1
		金額(千円)	1,192	199	607	302	1,655	500
	共同研究	件数	—	2	3	1	0	0
		金額(千円)	—	687	940	0	0	0
	G P 及び 大学改革推進 事業	件数	2	1	1	1	2	2
		金額(千円)	88,081	71,000	37,702	28,374	24,321	26,585
	計	件数	4	3	6	3	3	3
金額(千円)		89,273	71,886	39,249	28,676	25,976	27,085	
受託研究等 (上記以外)	件数	—	—	—	—	—	—	
	金額(千円)	—	—	—	—	—	—	
受託研究等 合計	件数	4	3	6	3	3	3	
	金額(千円)	89,273	71,886	39,249	28,676	25,976	27,085	
合計(千円)		106,823	97,756	69,929	53,636	57,863	59,975	

		H 2 2 年度	H 2 3 年度	H 2 4 年度	H 2 5 年度	H 2 6 年度	H 2 7 年度
科学研究費補助金 (件数)	応募件数	52	52	51	54	52	54
	教員数	60	60	62	62	58	61
	応募率(無資格者等除く)	94.5%	92.9%	91.9%	100.0%	98.1%	100.0%

7. 査読付学術書掲載論文数及び学会発表等（各学部）

項目	学部	H 2 2 年度	H 2 3 年度	H 2 4 年度	H 2 5 年度	H 2 6 年度	H 2 7 年度
論文数 (査読、学術 書掲載分)	人間社会学部	23	19	21	34	14	36
	看護学部	45	67	71	40	35	50
	計	68	86	92	74	49	86
学会発表数 (招待講演、 シンポジスト 招聘分)	人間社会学部	9	5	8	7	5	6
	看護学部	16	9	9	6	1	3
	計	25	14	17	13	6	9

8. 学術賞等の受賞状況

実績無し

9. 受賞論文・国際学会招待研究等一覧

実績無し

10. 国際学会招待研究等一覧

実績無し

11. 特許出願状況

学部		H 2 2 年度	H 2 3 年度	H 2 4 年度	H 2 5 年度	H 2 6 年度	H 2 7 年度
人間社会学部	申請	0	0	0	0	0	0
	取得	0	0	0	0	0	0
看護学部	申請	0	1	1	1	0	0
	取得	0	0	1	0	0	1
合計	申請	0	1	1	1	0	0
	取得	0	0	1	0	0	1

## XI. 国際交流

### 1. 学部・学年別・国籍別留学生数

	人間社会学部		看護学部	
	人数	国籍	人数	国籍
1年生				
2年生				
3年生	1	中国		
4年生	1	中国		

### 2. 留学生の受入・派遣

#### (1) 交換留学（受入・派遣）

	南京師範大学	大邱韓医大学校	三育大学校
受入学生数	6	5	2
派遣学生数	1	1	2

#### (2) 語学研修実績

	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	行き先
参加学生数	40	16	16	25	23	17	イギリス（バース・オックスフォード）

#### (3) 留学における単位認定

		H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度
南京師範大学	対象学生数	6	6	6	6	6	6
	認定単位数	60	47	51	48	45	50
大邱韓医大学校	対象学生数	3	2	2	5	5	4
	認定単位数	97	50	64	138	161	136
三育大学校	対象学生数	—	—	—	1	—	2
	認定単位数	—	—	—	38	—	79

### 3. 学術交流協定等締結校一覧

中国	南京師範大学
	北京中医薬大学
韓国	大邱韓医大学校
	三育大学校
	威徳大学校
タイ	コンケン大学

## XII. 社会貢献

### 1. 公開講座等の実施状況

#### (1) 公開講座実施状況

講習期間	講座名	受講者数 (延べ)
10月16日(金)から 10月27日(火)(全3回)	公開講座Ⅰ：現代を生きる子どもたち 福岡女子大学と共催	19人
10月30日(金)から 11月13日(金)(全3回)	公開講座Ⅱ：少子高齢社会における暮らしの安心と安全を 守るには	19人
11月10日(火)から 12月1日(水)(全3回)	公開講座Ⅲ：地域と医療と教育をつなぐ～不登校・ひきこ もり支援の共通言語を考える～	46人

#### (2) 科目等履修生、聴講生、研究生の受入状況

区分	H22年度		H23年度		H24年度		H25年度		H26年度		H27年度	
	前期	後期										
科目等履修生	1	5	5	5	5	8	7	1	2	3	7	2
科目等履修生(大学院)	2	0	0	0	0	1	2	3	2	1	5	1
聴講生	5	6	3	0	1	1	1	1	4	2	3	3
聴講生(大学院)	2	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0
研究生	1	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0

#### (3) 出前講義の実施状況

区分	開催回数	参加人数	場所
出前講義	24	1,049	小倉南・中間・青豊など
高校訪問(来学)	8	258	本学
出前講義(来学)	1	45	本学

#### 出前講義アンケート

	参加人数	回収人数	満足	だいたい満足	あまり満足でない	満足でない
出前講義	1,049	991	633	337	21	0
高校訪問(来学)	258	235	142	81	8	4
出前講義(来学)	45	29	24	5	0	0

#### 平成27年度 出前講義テーマ一覧

人間社会学部	看護学部
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 公共とは何か</li> <li>・ 心理学入門</li> <li>・ 占いはなぜ当たるのか</li> <li>・ 脳とこころの最前線</li> <li>・ ニセ科学の見分け方</li> <li>・ 社会福祉学入門</li> <li>・ 保育所・幼稚園の先生になるためには何が 必要なのか 等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 手術と看護</li> <li>・ 看護の技について</li> <li>・ 地域の人々に対する看護活動</li> <li>・ 性教育について</li> <li>・ 小児科の看護師さんって?</li> <li>・ 認知症高齢者の体験世界と看護</li> <li>・ からだのリズム～睡眠と覚醒～ 等</li> </ul>

## 2. 地域貢献活動

### (1) 生涯福祉研究センター活動概要

#### リカレント教育事業

対象	事業名	回数	人数（延べ）
保育士、幼・小・中・ 特別支援学校教諭 等	特別支援教育スキルアッププログラム	5	73
	保育士・教師のためのペアレントトレーニング スキルアッププログラム（直方市と共催）	5	157
	筑豊英語教員フォーラム	22	330
	保育士向け研修会 （直方市植木保育所、田川市みのり保育園）	5	45
福祉	田川市主任児童委員研修会	1	23
	慢性疾患児童等療育相談支援事業研修会	2	47
	福岡県立大学リカレントセミナー 「社会福祉事業のあり方を再考する－社会福 祉法の改正を見据えて－」	1	119
一般住民	山本作兵衛さんをく読む>会	48	816
	足の健康講座	1	12
本学 学生・大学院生	さわやかな自己表現塾	2	18
	福祉用具体験講習	1	14
	PCスキル養成講座	1	7
	生命保険実学講座	1	16
本学教職員	生命保険実学講座	1	1

#### 地域貢献事業

対象	事業名	回数	人数（延べ）
乳幼児、児童と保護者	おもちゃとしょかん・たがわ	31	269
	アンビシャス親子広場	33	211
親	お父さんとお母さんの学習室	22	66
福祉、介護、医療、 福祉用具販売 メーカー 等	福祉用具研究会	9	172
一般住民（外国人）	日本語くらぶ・たがわ	21	148
一般住民	足と靴の相談室	随時	38

(2) ヘルスプロモーション実践研究センター活動概要

リカレント教育事業

対象	事業名	回数	人数(延べ)
一般、助産師	身体感覚活性化く世にも珍しいマザークラス医療者向けセミナー	1	64
一般、看護師、保健師	福岡ヘルシー・エイジング研究会	8	144
看護師	外来看護師さんの井戸端会議	1	5
助産師	NCPR（新生児蘇生法）アップデート講習会	3	24
一般	健康支援教室（ユニフィケーションシステムによるヘルス・プロモーション推進事業）	4	640
一般、保健師	保健師リカレント教育	2	62

地域貢献事業

対象	事業名	回数	人数(延べ)
一般	世にも珍しいマザークラス in たがわ	6	57
一般	健康大使への継続教育	1	20
一般	地域住民と共に創造する筑豊の健康長寿文化	11	44
一般	パパ・ママは名医だぞ	2	75
一般	健康保育 自分のからだ 大切に！！	12	744
一般	保育看護学習会(保育士対象)	6	292
一般	世にも珍しいマザークラス in ふくおか	6	94
一般	県立大学女性と子どものためのスペース「ら・どんな・まんま」	6	23
一般	性の健康に関する事業（布ナプキン作成、マンスリーボックス、月経何でも相談、性教育）	16	280
一般	多職種協働がんセミナー	4	500
一般	筑豊市民大学・ヘルシーエイジングゼミ PART 11	11	273
一般	源流塾	1	9

(3) 不登校・ひきこもりサポートセンター活動概要

リカレント教育事業

	対象	事業名	回数	人数(延べ)
リカレント	小・中・高校教員	公開講座「地域と医療と教育をつなぐ～不登校・ひきこもり支援の共通言語を考える～」	3	99
		フォーラム「地域と医療と教育をつなぐ～アウトリーチ 届かなかったところに支援が届くために～」	1	55
		教員対象研修事業	65	5,333

地域貢献事業

	対象	事業名	回数	人数(延べ)
地域貢献	小学生～20歳程度	県大子どもサポートセンター派遣	236(名)	2,529
	小・中・高校生	キャンパススクール	20(名)	1,196
	小学生～20歳程度	相談件数	1,465	3,944
	親	家族交流会	11	74

(4) 社会貢献・ボランティア支援センター活動概要

(外部団体の登録状況と学生の活動状況)

領域	登録団体 件数	依頼申請 件数	学生 参加件数	学生 参加人数
高齢者福祉に関する団体・施設	16	3	0	0
障害者福祉に関する団体・施設 (障害児を含む)	57	22	5	102
児童福祉に関する団体・施設	27	6	5	199
社会福祉協議会	13	8	0	0
その他	50	24	5	208
合計	163	63	15	509

(5) 看護実践教育センター活動概要

リカレント教育事業

実施年度	対象	事業名	人数(名)
平成 22 年度	看護職	第 8 回熊本糖尿病教育看護研究会	61
平成 23 年度	看護職	第 4 回九州糖尿病認定看護セミナー	103
平成 24 年度	看護職	第 1 回九州・山口・沖縄糖尿病療養指導スキルアップセミナー	125
平成 25 年度	看護職	第 1 回糖尿病看護実践力開発セミナー	317
平成 26 年度	看護職	第 2 回糖尿病看護実践力開発セミナー	400
平成 27 年度	看護職	第 3 回糖尿病看護実践力開発セミナー	248

(6) 心理教育相談室実績

事業名	面接件数
心理教育相談	1,163

(7) 教員免許状更新講習

講習期間	講座の名称	時間数	参加教員数
8月27、28日	教育の最新事情	12	105
8月20日	子どもを取り巻く課題と学校連携	6	37
8月24日	救急処置・危機管理と学校連携	6	38
計		24	180

教員免許状更新講習 事後アンケート

講習期間	I. 講習の内容・方法について				II. 講習を受講したあなたの最新の知識・技能の習得の成果について				III. 講習の運用面について				参加教員数
	満足	だいたい満足	あまり満足でない	満足でない	満足	だいたい満足	あまり満足でない	満足でない	満足	だいたい満足	あまり満足でない	満足でない	
8月27、28日	52	51	2		64	40	1		72	30	3		105
8月20日	30	7			27	10			29	7	1		37
8月24日	30	7	1		28	10			31	7			38

3. 学外講義・講演

講師等（行政・教育）

（単位：件）

福岡県	田川市郡	福岡県内市町村	他縣市町村	計
31	10	85	26	152

講師等（その他団体）

（単位：件）

福岡県内		他県	計
田川地区	その他		
9	59	17	85

4. 審議会・委員会等への参画状況

委員会（その他の団体）（単位：件）

福岡県内		他県	計
田川地区	その他		
34	32	6	72

### XIII. 財務

#### 1. 資産と負債の状況

(単位：千円)

科目	H22年度 (A)	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度 (B)	増減 (B - A)
資産 (①)	9,327,778	9,348,667	9,110,738	8,828,617	8,456,447	8,424,852	△ 902,926
固定資産	8,865,910	8,978,033	8,717,199	8,443,874	8,179,048	8,011,476	△ 854,434
流動資産	461,867	370,643	393,539	384,743	277,398	413,375	△ 48,492
負債	1,590,673	1,851,788	1,896,824	1,849,475	1,634,101	1,716,536	125,863
固定負債	1,325,484	1,599,190	1,543,100	1,480,715	1,444,632	1,462,434	136,950
資産見返負債	1,325,484	1,547,378	1,514,094	1,468,357	1,422,718	1,396,785	71,301
長期リース債務	0	51,812	29,005	12,357	21,913	65,649	65,649
流動負債	265,189	252,598	353,724	368,760	189,469	254,101	△ 11,088
リース債務	5,412	25,690	22,807	16,647	12,363	25,012	19,600
その他	259,777	226,908	330,917	352,113	177,106	229,089	△ 30,688
資本 (②)	7,737,104	7,496,878	7,213,913	6,979,141	6,822,345	6,708,315	△ 1,028,789
自己資本比率 (②/①)	83%	80%	79%	79%	81%	80%	

※項目ごとに千円未満を切り捨てているため、合計額が一致しない場合がある。

(出典 賃借対照表)

#### 2. 土地と建物の状況

(単位：㎡)

区分	法人設立時 (A)	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度 (B)	増減 (B - A)
土地	96,854	96,359	96,359	96,359	96,359	96,359	96,359	△ 495
建物	35,750	35,750	37,074	37,074	37,074	37,074	37,074	1,324

(出典 不動産登記簿)

#### 3. 自己収入の状況

(単位：千円)

年度					雑収入	計
	授業料	入学金	検定料	小計		
H 2 2 年度	585,456	121,974	26,213	733,643	41,006	774,649
H 2 3 年度	586,279	120,421	26,522	733,222	44,083	777,305
H 2 4 年度	571,732	115,410	28,528	715,670	41,572	757,242
H 2 5 年度	569,211	114,528	21,598	705,337	39,114	744,451
H 2 6 年度	557,244	111,147	26,651	695,042	39,177	734,219
H 2 7 年度	548,357	120,698	26,401	695,456	38,063	733,519

(出典 損益計算書)

#### 4. 外部研究資金の獲得状況

(単位：千円)

年度	科学研究費補助金		受託研究・共同研究資金		その他補助金		計	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
H 2 2 年度	29	40,790	4	3,687	4	109,235	37	153,712
H 2 3 年度	36	53,820	7	4,242	3	88,695	46	146,757
H 2 4 年度	32	52,542	8	2,944	3	46,297	43	101,783
H 2 5 年度	30	42,900	8	2,605	2	40,357	40	85,862
H 2 6 年度	38	59,355	4	2,854	4	44,095	46	106,304
H 2 7 年度	34	44,200	2	700	3	33,504	39	78,404

#### 5. 収支状況

(単位：千円)

区分	H 2 2 年度	H 2 3 年度	H 2 4 年度	H 2 5 年度	H 2 6 年度	H 2 7 年度
経常費用	1,952,977	1,999,593	1,959,466	1,921,915	1,757,698	1,794,315
経常収益	1,920,338	1,913,809	1,923,017	1,887,408	1,820,261	1,874,513
経常利益	△ 32,639	△ 85,784	△ 36,449	△ 34,507	62,563	80,197
臨時損失	3,854	595	5,516	366	1,334	880
臨時利益	28,942	46,267	5,516	386	1,334	880
目的積立金取崩額	45,275	60,095	17,772	35,819	0	0
当期総利益	37,726	19,982	△ 18,676	1,332	62,562	80,197

(出典 損益計算書)

#### 6. 教育研究経費の状況

(単位：千円)

区分	教育経費	研究経費				教育研究 支援経費	合計
		個人研究費	研究奨励交付金	その他	計		
H 2 2 年度	144,268	44,572	19,103	28,918	92,593	45,655	282,516
H 2 3 年度	164,723	44,572	19,103	29,193	92,868	45,728	303,319
H 2 4 年度	150,491	44,572	19,103	22,572	86,247	47,993	284,731
H 2 5 年度	162,110	44,572	19,103	23,675	87,350	49,238	298,698
H 2 6 年度	176,438	39,983	17,136	22,733	79,852	48,532	304,822
H 2 7 年度	172,478	35,985	15,423	28,097	79,505	48,072	300,055

(出典 収支計画予算)

## <付録>

### 1. 平成 27 年度における主な取組

#### (1) 学部

- ・教養教育の充実については、教養科目の新たなカテゴリーを決定した。社会人・職業人として必要な知識・スキルを身につけるための新設科目として、28年度から「社会人基礎力演習」を開講することを決定した。スキルアップゼミについては、4コースを開講した。
- ・人間社会学部では、専門性を高めるため、学科制からコース制への移行にともない、各コースのカリキュラムの見直しを実施した。
- ・看護学部では、4年目となった新カリキュラムを実施する中で学生、教員の意見聴取を行い、28年度のシラバスに反映させた。
- ・人間社会学部においては、実習教育の現状を分析検討し、事前事後指導を全ての実習に関して開講した。また、実習の手引きの改訂・作成や、実習の種類毎の実際の理解を深めるための異学年交流会を実施した。
- ・看護学部においては、実践力強化のため実習指導者連絡会議の開催や実習の事前事後指導の充実などに取り組み、また継続して臨床教授等の称号付与を実施した。
- ・両学部連携による他の専門職と協働できる実学的専門教育科目の推進として、「専門職連携入門」を単位化した。「社会貢献論」「不登校・ひきこもり援助論」について、内容の充実を図った。
- ・e-ラーニングコースを全111コース開設した。また、教職員向け講習会を2回開催した。
- ・GPA制度を活用したドロップアウト予防の学習支援を継続して実施した。また、成績優秀学生については、学位授与式において表彰を行った。
- ・図書館看護学部分館において、平日の開館時間延長、日曜祝日開館を実施するとともに、ラーニング commons の利用を促進した。

#### (2) 大学院

- ・人間社会学研究科ではカリキュラムの見直し検討を行い、地域教育支援専攻の学生募集を停止するとともに、新たな専攻として「子ども教育専攻」を開設する案を作成した。
- ・看護学研究科では、専門看護師コース（がん看護・精神看護）の充実に取り組むとともに、老年看護専門看護師38単位コース及び助産学コースを開講した。

## 2. 沿革

昭和 20 年 4 月	福岡県立保健婦学校設置
昭和 27 年 7 月	福岡県立保育専門学院設置
昭和 27 年 9 月	福岡県立保健婦学校を福岡県立保健婦養成所に再編
昭和 29 年 4 月	福岡県立保母養成所と改称する。(県直営となる。)
昭和 37 年 4 月	福岡県立保健婦養成所を福岡県立公衆衛生看護学校と改称
昭和 42 年 4 月	県下に分散していた福岡教育大学(国立)が昭和 41 年に宗像市に統合されたことにより、同大学田川分校跡地に、上記保母養成所を発展的に解消し、福岡県社会保育短期大学(保育科、社会福祉科)を開学
昭和 46 年 4 月	福岡県立公衆衛生看護学校を福岡県立看護専門学校(看護婦科(進学課程)、保健婦・助産婦科)に再編
昭和 53 年 4 月	上記短期大学に附属幼稚園を開園
昭和 56 年 4 月	短期大学校舎の全面改築(昭和 59 年 3 月)
昭和 58 年 11 月	すずかけ寮完成(30 室)
昭和 63 年 1 月	「福岡県社会保育短期大学問題協議会」を設置。同年 12 月、同短大の四年制への移行について「社会福祉の新しい動向に対応しうる人材養成及び地域振興に資するため、新しい構想のもとに四年制大学を設置すること」との答申を発表(昭和 63 年 12 月)
平成 2 年 4 月	福岡県総務部私学学事振興局内に「四年制大学移行準備室」を設置
平成 2 年 5 月	「四年制大学移行準備委員会」を設置し、新大学の基本構想・カリキュラム・教員組織等につき検討開始
平成 3 年 6 月	文部省に対して、福岡県立大学(人間社会学部)の設置認可を申請
平成 3 年 12 月	文部省により、福岡県立大学の設置許可を受ける
平成 4 年 4 月	福岡県立大学(人間社会学部)開学
	福岡県社会保育短期大学附属幼稚園を福岡県立大学附属幼稚園に改称
平成 5 年 3 月	福岡県社会保育短期大学閉学
平成 6 年 4 月	福岡県立大学附属図書館、新築開館
平成 6 年 11 月	中国南京師範大学との学術・教育交流に関する協定の締結
平成 7 年 3 月	心理学実験棟完成
平成 8 年 2 月	中国南京師範大学と短期留学生(1 年)交流開始
平成 8 年 3 月	第 2 キャンパス(運動場)完成
平成 8 年 6 月	文部省に対し、福岡県立大学大学院(人間社会学研究科・修士課程)の設置認可を申請
平成 8 年 12 月	文部省より、福岡県立大学大学院の設置許可を受ける。
平成 9 年 4 月	福岡県立大学大学院人間社会学研究科(人間社会学研究科・修士課程)開設
平成 9 年 6 月	「福岡県看護教育高度化検討委員会」設置。同年 11 月、報告書を知事に提出
平成 9 年 12 月	「県立看護大学(学部)設立準備委員会」設置
平成 10 年 3 月	福岡県立大学附属幼稚園を廃園
平成 10 年 4 月	福岡県立大学生涯福祉研究センター(学内組織)を設置
平成 10 年 7 月	「県立看護大学(学部)設立準備委員会専門部会」設置
平成 11 年 2 月	「福岡県立大学看護学部(仮称)基本計画」策定
平成 11 年 4 月	福岡県総務部私学学事振興局内に「看護学部開設準備室」設置
平成 12 年 3 月	「福岡県立大学看護学部施設整備基本計画」策定
平成 14 年 4 月	文部科学省に対し、福岡県立大学看護学部の設置認可を申請

平成 14 年 9 月	文部科学省に対し、福岡県立大学看護学部の看護師・保健師・助産師学校指定を申請。また、養護教諭 1 種免許状授与の所要資格を得させるための課程認定を申請。
平成 14 年 12 月	文部科学省より、福岡県立大学看護学部の設置許可を受ける。
平成 14 年 12 月	アザレア寮完成(100 室)
平成 15 年 3 月	看護学部棟、講堂・管理棟、大講義室、福利厚生棟完成
平成 15 年 3 月	福岡県立看護専門学校閉校
平成 15 年 4 月	福岡県立大学看護学部開設
平成 18 年 4 月	公立大学法人福岡県立大学へ移行
平成 18 年 4 月	福岡県立大学附属研究所を設置
平成 18 年 4 月	福岡県立大学附属研究所内にヘルスプロモーション実践研究センターを設置
平成 18 年 6 月	文部科学省に対して、福岡県立大学大学院（看護学研究科・修士課程）の設置認可を申請
平成 18 年 9 月	韓国大邱韓医大学校との学術交流に関する協定の締結
平成 18 年 9 月	文部科学省に対して、福岡県立大学大学院（人間社会学研究科・修士課程）の再編届出
平成 18 年 11 月	韓国大邱韓医大学校との学生交流に関する協定の締結
平成 18 年 11 月	文部科学省が、福岡県立大学大学院（人間社会学研究科）の再編届出を受理する。
平成 18 年 11 月	文部科学省より、福岡県立大学（看護学研究科）の設置許可を受ける。
平成 19 年 4 月	福岡県立大学大学院看護学研究科（看護学研究科・修士課程）開設
平成 19 年 4 月	福岡県立大学大学院人間社会学研究科の再編
平成 19 年 9 月	福岡県立大学附属研究所内に不登校・ひきこもりサポートセンターを設置
平成 19 年 10 月	生涯福祉研究センター内に心理教育相談室を設置
平成 20 年 11 月	福岡県立大学看護実践教育センターを設置
平成 21 年 4 月	福岡県立大学生涯福祉研究センターの心理教育相談室を教育機関の実習施設に位置づけるため福岡県立大学大学院の施設に変更
平成 21 年 4 月	人間社会学部「社会学科」を「公共社会学科」へ名称変更
平成 21 年 11 月	タイ国コンケン大学との国際的な学術協力に関する覚え書きの締結
平成 21 年 11 月	北京中医薬大学との学術・教育・文化交流に関する協定の締結
平成 21 年 12 月	福岡県立大学附属研究所内に社会貢献・ボランティア支援センターを設置
平成 22 年 5 月	韓国・三育大学校との学術・教育・文化交流に関する協定の締結
平成 22 年 10 月	田川市との包括的連携に関する協定締結
平成 23 年 3 月	福岡県立大学と田川市が申請した生涯福祉研究センター管理の山本作兵衛日記・雑記帳（66 点）絵画（4 点）が日本初のユネスコ世界記憶遺産に登録
平成 23 年 7 月	看護学部編入学募集停止を決定
平成 23 年 10 月	看護学部における助産師養成課程の廃止、同課程の大学院への移行及び保健師養成課程選択制移行を決定
平成 23 年 12 月	第 1 期公立大学法人職員採用を決定
平成 24 年 3 月	附属研究所棟完成
平成 24 年 3 月	福岡県立大学創立 20 周年記念式典開催
平成 25 年 5 月	田川市郡 1 市 6 町 1 村との包括連携に関する協定締結
平成 26 年 5 月	文部科学省に対して、福岡県立大学大学院看護学研究科の課程変更（助産師課程の開設）を申請
平成 26 年 8 月	文部科学省より福岡県立大学大学院看護学研究科の課程変更（助産師課程の開設）の承認を受ける
平成 27 年 4 月	福岡県立大学大学院看護学研究科助産師課程を開設

### 3. 歴代学長及び名誉教授一覧

#### 歴代学長

##### 福岡県立大学

代	氏名	在職期間
初代	安藤 延男	平成4年4月1日～平成10年3月31日
第2代	保田井 進	平成10年4月1日～平成14年3月31日
第3代	橋口 捷久	平成14年4月1日～平成18年3月31日

##### 公立大学法人 福岡県立大学

代	氏名	在職期間
初代	名和田 新	平成18年4月1日～平成24年3月31日
第2代	柴田 洋三郎	平成24年4月1日～

#### 名誉教授

授与番号	職名	氏名	退職年月日	称号授与日
第1号	教授	荒卷 正憲	平成8年3月31日	平成9年5月8日
第2号	教授	清水 正照	平成9年3月31日	平成9年5月8日
第3号	教授	中川 哲也	平成9年3月31日	平成9年5月8日
第4号	教授	安部 博純	平成9年3月31日	平成9年5月8日
第5号	学長	安藤 延男	平成10年3月31日	平成10年6月11日
第6号	教授	武内 勝彦	平成10年3月31日	平成10年6月11日
第7号	教授	阿部 洋	平成12年3月31日	平成12年6月14日
第8号	教授	杉田 峰康	平成13年3月31日	平成13年5月30日
第9号	教授	奥村 幸夫	平成19年3月31日	平成20年4月4日
第10号	教授	宮崎 昭夫	平成20年3月31日	平成21年4月17日
第11号	学長	橋口 捷久	平成19年3月31日	平成22年4月21日
第12号	教授	清田 勝彦	平成22年3月31日	平成22年4月21日
第13号	教授	西岡 健治	平成23年3月31日	平成23年10月25日
第14号	教授	小松 啓子	平成26年3月31日	平成26年6月24日
第15号	教授	久永 明	平成26年3月31日	平成26年6月24日
第16号	教授	古橋 啓介	平成26年3月31日	平成26年6月24日
第17号	教授	茂木 豊	平成26年3月31日	平成26年6月24日

第 18 号	学 長	名 和 田 新	平成 24 年 3 月 31 日	平成 28 年 3 月 31 日
第 19 号	教 授	森 山 沾 一	平成 24 年 3 月 31 日	平成 28 年 3 月 31 日
第 20 号	教 授	鬼 崎 信 好	平成 24 年 3 月 31 日	平成 28 年 3 月 31 日
第 21 号	教 授	文 屋 俊 子	平成 28 年 3 月 31 日	平成 28 年 3 月 31 日
第 22 号	教 授	秦 和 彦	平成 28 年 3 月 31 日	平成 28 年 3 月 31 日

## 4. 学年暦

### 平成 27 年度 学部学年暦

#### 前 期

2015 (平成 27) 年

4月 1日(水)	前期始まり
4月 6日(月)	入 学 式
4月 6日(月)・7日(火)	学生定期健康診断
8日(水)	
4月 7日(火)・8日(水)	オリエンテーション
4月 9日(木)～10日(金)	新入生合宿フォーラム
4月 9日(木)	前期履修登録締切日 (新入生を除く)
4月 13日(月)	前期授業開始
4月 14日(火)	前期履修登録締切日 (新入生)
4月 17日(金)	前期履修登録修正締切日
4月 25日(土)	補講日
5月 9日(土)	補講日
5月 10日(日)	開学記念日
5月 23日(土)	補講日
6月 12日(金)	看護学部各論実習終了(4年)
6月 13日(土)	補講日
6月 15日(月)～19日(金)	前期履修登録取消期間
6月 27日(土)	補講日
6月 29日(月)	基礎看護学実習 I
～7月 3日(金)	(看護学部 1 年生)
7月 11日(土)	補講日
7月 25日(土)	補講日
7月 31日(木)	前期通常授業終了
8月 3日(月)	特別補講日
8月 4日(火)～10日(月)	前期試験期間
8月 8日(土)	オープンキャンパス
8月 11日(火)	夏季休業
～9月 30日(火)	
8月 17日(月)～21日(金)	集中講義第 1 週
8月 19日(水)	成績揭示(合否のみ)
8月 19日(水)～21日(金)	再試験願提出期間
8月 24日(月)～28日(金)	集中講義第 2 週
8月 31日(月)	基礎看護学実習 II (前半グループ)
～9月 11日(金)	(看護学部 2 年生)
9月 16日(水)	前期成績表交付
9月 16日(水)～18日(金)	成績質問期間
9月 30日(水)	後期履修登録締切日
9月 30日(水)	前期終了

#### 後 期

10月 1日(木)	後期始まり
10月 1日(木)	後期授業開始
10月 7日(水)	後期履修登録修正締切日
10月 10日(土)	補講日
10月 13日(火)	基礎看護学実習 II (後半グループ)
～10月 23日(金)	(看護学部 2 年生)
10月 24日(土)	補講日
11月 6日(金)	全学休講
11月 7日(土)～8日(日)	大学祭
11月 14日(土)	補講日
11月 21日(土)	推薦入試
11月 28日(土)	補講日
12月 7日(月)～11日(金)	後期履修登録取消期間
12月 12日(土)	補講日
12月 21日(月)	社会福祉学科卒論提出日
12月 21日(月)	看護学部卒研提出日
12月 23日(水)～1月4日(月)	冬季休業
<b>2016 (平成 28) 年</b>	
1月 5日(火)	授業再開
1月 9日(土)	補講日
1月 15日(金)	全学休講
1月 16日(土)～17日(日)	センター試験
1月 20日(水)	公共社会学科卒論提出日
1月 20日(水)	人間形成学科卒論提出日
1月 23日(土)	補講日
2月 2日(火)	人間社会学部卒論発表会
2月 4日(木)	特別補講日
2月 5日(金)	後期通常授業終了
2月 8日(月)～15日(月)	後期試験期間
2月 16日(火)～19日(金)	後期集中講義
2月 22日(月)	卒業予定者成績揭示日 (合否のみ)
2月 25日(木)	一般入試前期日程
2月 25日(木)	卒業予定者成績表交付
2月 25日(木)～26日(金)	卒業予定者成績質問期間
2月 29日(月)	在学生成績揭示日(合否のみ)
2月 29日(月)～3月 2日(水)	再試験願提出期間(在学生)
3月 12日(土)	一般入試後期日程
3月 18日(金)	卒 業 式
3月 23日(水)	在学生後期成績表交付
3月 23日(水)～25日(金)	在学生成績質問期間
3月 31日(木)	後期終了

## 平成 27 年度 大学院学年暦

### 前期

#### 2015(平成 27)年

4月6日(月)	入学式・オリエンテーション・健康診断(1年生)(看護学研究科2年生)
4月8日(水)	健康診断 (人間社会学研究科2年生)
4月13日(月)	前期授業開始
4月17日(金)	「研究指導教員届」提出期限 (看護学研究科)
4月24日(金)	「研究指導教員届」提出期限 (人間社会学研究科)
4月24日(金)	前期履修登録締切
5月22日(金)	「修士論文題目届」提出期限 (看護学研究科)
5月下旬	前期研究計画発表会(看護学研究科)
6月4日(木)	「研究計画書」提出期限 (看護学研究科)
6月15日(月)~19日(金)	前期履修登録取消日
6月19日(金)	「修士論文題目届」提出期限 (人間社会学研究科)
6月25日(木)	秋季修了予定者修士論文提出期限 (看護学研究科)
6月30日(火)	秋季修了予定者修士論文提出期限 (人間社会学研究科)
7月6日(月)	秋季修了予定者修士論文の修正と提出(最終)(看護学研究科)
7月8日(水)	修士論文中間発表 (人間社会学研究科)
7月23日(水)	秋季修了予定者修士論文再提出期限(看護学研究科)
7月31日(木)	前期通常授業終了日
8月8日(土) ~9月30日(水)	夏季休業
8月8日(土)	オープンキャンパス
8月17日(月)~21日(金)	集中講義第一週
8月24日(月)~28日(金)	集中講義第二週
9月9日(水)	秋季修了判定会議(人間社会学研究科)
9月10日(木)	秋季修了判定会議(看護学研究科)
9月16日(水)	前期成績表交付
9月16日(水)~18日(金)	成績質問期間
9月下旬~10月	第1週まで後期研究計画発表会(看護学研究科)
9月下旬	秋季修了大学院 修士学位記授与式
9月30日(水)	後期履修登録締切

### 後期

0月11日(木)	後期授業開始
10月3日(土)	(糖尿病看護認定看護師入学試験)
10月7日(水)	後期履修登録修正締切
0月19日(金)	「研究計画書」提出期限 (看護学研究科)
10月17日(土)	大学院秋季入学試験
11月7日(土)~8日(日)	大学祭
11月8日(土)	秋のオープンキャンパス
11月21日(土)	(大学;推薦・転編入・社会人・国外就 学経験者入学試験)
12月7日(月)~11日(金)	後期履修登録取消日
12月23日(水) ~1月4日(月)	冬季休業
<b>2016(平成 28)年</b>	
1月5日(火)	授業再開
1月13日(水)	修士論文提出期限 (人間社会学研究科)
1月14日(木)	修士論文提出期限 (看護学研究科)
1月16日(土)~17日(日)	(大学入試センター試験)
1月下旬~2月中旬	修士論文口頭試問(看護学研究科)
1月27日(水)	修士論文口述試験 (人間社会学研究科)
2月4日(水)	後期通常授業終了
2月6日(土)	大学院春季入学試験
2月10日(水)	修士論文発表会 (人間社会学研究科)
2月12日(金)	修士論文再提出期限 (看護学研究科)
2月16日(火)~19日(金)	後期集中講義
2月23日(火)	修了判定会議(看護学研究科)
2月24日(水)	修了判定会議(人間社会学研究科)
2月25日(木)	(一般入学試験 前期日程)
2月25日(木)	修了予定者成績表交付
2月25日(木)~26日(金)	修了予定者成績質問期間
3月7日(月)	修士論文発表会 (看護学研究科)
3月12日(土)	(一般入学試験 後期日程)
3月18日(金)	大学院第18回修士学位記授与式 (大学第21回卒業式)
3月23日(水)	在学生後期成績表交付
3月23日(水)~25日(金)	在校生成績質問期間

5. 授業時間割 (学部)

平成 27 年度前期

曜日	学科	1 限 8:50~10:20	2 限 10:30~12:00	3 限 12:50~14:20	4 限 14:30~16:00	5 限 16:10~17:40
1	公	※ 81101 ※ コミュニケーション論 上野 大講義室	81201 ※ 社会福祉学概論Ⅰ 堀井 3212	11301 ○ 公共性研究A(公共性の社会学) 田代 3109	91401 (全) 国文学 田代ゆ 5101	91501 社会貢献論 尾形・山田・小野・手島・櫻橋 大講義室
	公	※ 41102 情報処理演習ⅡA 原田 大講義室	81202 ○ 社会福祉学概論Ⅱ 堀井 3212	11302 ○ 公共性研究B(公共性の社会学) 田代 3109	91402 発達心理学Ⅰ-A 池 大講義室	91502 (全) 比較文化論 田中哲 3212
	公	※ 41103 ○ 生態機能看護学ⅠA 原田 大講義室	81203 ※ 社会福祉学概論Ⅲ 堀井 3212	11303 現代社会論A(ジェンダー・世代) 中村 5101	91403 (全) 環境科学A 久永 3212	
	公	※ 41104 ○ 生態機能看護学ⅠB 原田 大講義室	41203 情報処理演習ⅡB 原田 大講義室	11304 現代社会論B(ジェンダー・世代) 中村 5101	91404 (全) 国文学 田代ゆ 5101	
2	公	91104 中国語Ⅱ-(1)A ハオ 1318	91205 中国語Ⅱ-(1)B ハオ 1318	11305 現代社会論A(ジェンダー・世代) 中村 5101	11405 ○ 英語Ⅲ-(1) ゲイル LL	
	公	91105 コリア語Ⅱ-(1)A 井田 LL	91206 コリア語Ⅱ-(1)B 井田 LL	11306 公衆衛生 堀井 3212	21405 相談援助演習A 池 大講義室	21503 相談援助の理論と方法A 河野 3219
	公	11105 社会福祉計画論 村山 3212	41207 ○ 看護実習学 豊平 4201	11307 地域保健論 樋口 3212	21406 相談援助演習B 池 大講義室	
	公	21107 福祉行政と福祉計画 村山 3212	41208 ○ ユーティリティ学 大塚 4201	11308 福祉政策論 堀井 3212	21407 社会福祉調査法 堀井 3212	11505 公民教育法Ⅰ 下地 5102
3	公	41106 ○ 成人看護学演習Ⅰ(2コマ連続) 村山・赤司・吉岡・中井・大島・吉村 5303	21211 学校ソーシャルワーク論 奥村 1217	21309 学校ソーシャルワーク実習指導 奥村 1217	41408 ○ ファジカルアセスメントⅡ(2コマ連続) 堀井 3212	21506 精神保健福祉援助実習指導 堀井 3212
	公	41107 ○ 小児看護学演習Ⅰ(2コマ連続) 宮城・田中・美樹・吉川 5302	41212 公衆衛生看護学概論Ⅰ(4コマ連続) 尾形・山下・小野・手島・櫻橋 5301	41412 学校ソーシャルワーク演習 奥村 1217	41412 学校ソーシャルワーク演習 奥村 1217	21507 相談援助演習C 堀井 3212
	公	12101 ○ 英語Ⅰ-(1)A ゲイル LL	22201 ○ 英語Ⅰ-(1)A ゲイル LL	22301 保健学Ⅰ 堀井 3212	92401 (全) 哲学的人間学 堀井・重松 大講義室	92501 中国語Ⅰ-(1)A ハオ 3109
	公	12102 ○ 英語Ⅰ-(1)B ストット	22202 ○ 英語Ⅰ-(1)B ストット	22302 保健学Ⅱ 堀井 3212	92402 仏語Ⅰ-(1) 田中真 5103	32504 老人福祉論 堀井 3212
4	公	22103 社会心理学 堤圭 3212	42204 ○ 健康科学実習ⅠA 森 5105	42304 健康科学実習ⅠB 堀井 3212	92403 中国語Ⅰ-(1)B ハオ 3109	32505 変遷的成人 堀井 3212
	公	32104 教育史 藤澤 4207	42205 多文化社会学論 岡本 3109	42305 国際共生研究Ⅰ 堀井 3212	92404 コリア語Ⅰ-(1)B 井田 5101	92501 中国語Ⅰ-(1)A ハオ 3109
	公	12103 社会心理学 堤圭 3212	22207 相談援助の理論と方法B 本郷 3212	42306 地域社会研究Ⅰ 堀井 3212	92405 仏語Ⅱ-(1) 山本和 5104	12503 現代社会論B(情報社会学) 本郷 3212
	公	32104 教育史 藤澤 4207	42209 ○ 小児看護学概論 堀井 3212	42307 保健学Ⅱ 堀井 3212	92406 仏語Ⅱ-(1) 古賀 5102	22502 福祉社会学概論(情報社会学) 本郷 3212
火	公	42105 ○ 成人看護学概論 村山・赤司 4201	42209 ○ 小児看護学概論 堀井 3212	42308 保健学Ⅲ 堀井 3212	42407 ○ リーディングⅡA 森 5105	42506 ○ 精神看護学概論 堀井 3212
	公	12106 地域社会学Ⅱ 文屋 3109	92210 中国語Ⅱ-(1) ハオ 1318	12307 教育課程論 黒田 3203	42407 ○ リーディングⅡB 森 5105	12507 地域社会と福祉A(地域と生活) 田代 3204
	公	42107 ○ 老年看護学演習Ⅰ(2コマ連続) 堀井 3212	92211 コリア語Ⅲ-(1) 美 5103	12308 地域社会分析Ⅱ(住民参加) 美 3204	42408 ○ リーディングⅡC 堀井 3212	13104 法社会学論Ⅰ 森 5102
	公	42108 ○ 女性看護学演習Ⅰ(2コマ連続) 佐藤・島崎・古田・安河内・石村・吉田・小川 5302	42311 成人看護学演習Ⅱ 堀井 3212	22309 保健学Ⅳ 堀井 3212	42409 ○ 在宅看護学演習Ⅰ(2コマ連続) 尾形・吉田・吉村 5301	13105 法社会学論Ⅱ 堀井 3212
水	公	32109 保育相談支援 田中藤 5103	32121 カウンセリング 吉岡 3202	22309 保健学Ⅳ 堀井 3212	42410 ○ 在宅看護学演習Ⅱ(2コマ連続) 尾形・吉田・吉村 5301	13106 法社会学論Ⅲ 堀井 3212
	公	日本語上級A 伊藤 3103	日本語上級B 伊藤 3104	42312 養護実習事前事後指導 堀井 3212	42411 在宅看護学演習Ⅲ(2コマ連続) 尾形・吉田・吉村 5301	13107 法社会学論Ⅳ 堀井 3212
	公	83101 教育学概論B 藤澤 大講義室	93201 (全) 哲学Ⅰ 神谷 3109	42313 養護実習事前事後指導 堀井 3212	42412 在宅看護学演習Ⅳ(2コマ連続) 尾形・吉田・吉村 5301	13108 法社会学論Ⅴ 堀井 3212
	公	93102 (全) 政治学Ⅰ 岡本 3109	93202 (全) 法学 藤澤 大講義室	42314 養護実習事前事後指導 堀井 3212	42413 在宅看護学演習Ⅴ(2コマ連続) 尾形・吉田・吉村 5301	13109 法社会学論Ⅵ 堀井 3212
木	公	93103 (全) 論理学 神谷 3212	93203 (全) 生物学 平川 大講義室	42315 養護実習事前事後指導 堀井 3212	42414 在宅看護学演習Ⅵ(2コマ連続) 尾形・吉田・吉村 5301	13110 法社会学論Ⅶ 堀井 3212
	公	33104 法社会学概論Ⅰ 藤澤 4207	13204 地理学概論 中里 3204	42316 養護実習事前事後指導 堀井 3212	42415 在宅看護学演習Ⅶ(2コマ連続) 尾形・吉田・吉村 5301	13111 法社会学論Ⅷ 堀井 3212
	公	23105 精神保健福祉援助技術各論Ⅰ 平林 5102	13205 精神保健福祉援助の基礎(専門) 平林 5103	42317 養護実習事前事後指導 堀井 3212	42416 在宅看護学演習Ⅷ(2コマ連続) 尾形・吉田・吉村 5301	13112 法社会学論Ⅸ 堀井 3212
	公	33105 社会教育概論Ⅱ 中藤 3202	13206 障害児保育 二見 3202	42318 養護実習事前事後指導 堀井 3212	42417 在宅看護学演習Ⅸ(2コマ連続) 尾形・吉田・吉村 5301	13113 法社会学論Ⅹ 堀井 3212
金	公	43106 健康教育論 松澤・原田 5102	43211 ○ 看護実習Ⅰ(2コマ連続) 堀井 3212	42319 養護実習事前事後指導 堀井 3212	42418 在宅看護学演習Ⅹ(2コマ連続) 尾形・吉田・吉村 5301	13114 法社会学論Ⅺ 堀井 3212
	公	94101 ○ 卒業研究 各担当 別添	93204 (全) 社会学Ⅰ 堀井 3212	42320 養護実習事前事後指導 堀井 3212	42419 在宅看護学演習Ⅺ(2コマ連続) 尾形・吉田・吉村 5301	13115 法社会学論Ⅻ 堀井 3212
	公	94102 (全) 社会学Ⅱ 堀井 3212	93205 (全) 社会学Ⅱ 堀井 3212	42321 養護実習事前事後指導 堀井 3212	42420 在宅看護学演習Ⅻ(2コマ連続) 尾形・吉田・吉村 5301	13116 法社会学論Ⅼ 堀井 3212
	公	94103 (全) 社会学Ⅲ 堀井 3212	93206 (全) 社会学Ⅲ 堀井 3212	42322 養護実習事前事後指導 堀井 3212	42421 在宅看護学演習Ⅼ(2コマ連続) 尾形・吉田・吉村 5301	13117 法社会学論Ⅽ 堀井 3212

○は必修科目、(全)は全学共通(教養)科目、※は人間社会学部共通専門科目を指す。

平成 27 年度後期

学年・科目	1 期			2 期			3 期			4 期			5 期		
	8:50~10:20			10:30~12:00			12:50~14:20			14:30~16:00			16:10~17:40		
1 期	公	国際社会学Ⅱ	佐野 3203	11251	都市社会学	文原 3212	※			91451	(金)物理学	河野 5106			
	1	社会貢献演習(2コマ連続)		21252	社会福祉史入門	本郷・村山・松岡 3204	81351	※ 社会心理学	上野 大講義室	91452	(金)日本近現代史	有谷 3319	91551	(全)心理学	上野 大講義室
	2	社会貢献演習(2コマ連続)		31253	社会教育特講D	本郷・村山・松岡 1 田中真 5102	※			91453	(金)環境科学B	久永 3212			
	3	社会貢献演習(2コマ連続)				本郷・村山・松岡 3204	41352	保健社会学	小出 4202						
2 期	公	中国語Ⅱ-(2)A	ハオ 1318	91254	中国語Ⅱ-(2)B	ハオ 1318	11353	日本史概論	有谷 3203	91454	(金)科学史	菊地 5101	31552	教育心理学概論	福田 3204
	1	中国語Ⅱ-(2)A	ハオ 1318	91254	中国語Ⅱ-(2)B	ハオ 1318	11354	韓国の社会と文化	井田 LL 21456	91455	(全)政治学Ⅱ	久永 3212	21553	東アジア関係史	岡本 3109
	2	中国語Ⅱ-(2)A	ハオ 1318	91254	中国語Ⅱ-(2)B	ハオ 1318	21355	保健長壽論	岡田 3109	21457	相談援助演習A	菊地 5101	31552	教育心理学概論	福田 3204
	3	中国語Ⅱ-(2)A	ハオ 1318	91254	中国語Ⅱ-(2)B	ハオ 1318	31356	相談援助	荒木 5104	91454	(金)科学史	菊地 5101	31552	教育心理学概論	福田 3204
3 期	公	保健医療福祉行政論Ⅰ	四戸 小出 4201	41256	○シンプトマネジメント論	5303	41357	疫学	松浦 増彦 4201	91454	(全)科学史	菊地 5101	41556	○老年看護学	磯・渡邊 江上 4201
	1	保健医療福祉行政論Ⅰ	四戸 小出 4201	41256	○シンプトマネジメント論	5303	41357	疫学	松浦 増彦 4201	91454	(全)科学史	菊地 5101	41556	○老年看護学	磯・渡邊 江上 4201
	2	保健医療福祉行政論Ⅰ	四戸 小出 4201	41256	○シンプトマネジメント論	5303	41357	疫学	松浦 増彦 4201	91454	(全)科学史	菊地 5101	41556	○老年看護学	磯・渡邊 江上 4201
	3	保健医療福祉行政論Ⅰ	四戸 小出 4201	41256	○シンプトマネジメント論	5303	41357	疫学	松浦 増彦 4201	91454	(全)科学史	菊地 5101	41556	○老年看護学	磯・渡邊 江上 4201
4 期	公	環境社会学	田代 3207	91257	(全)ケアリング・サイエンス	石田 5103	91356	(金)ヒューマンエコロジー	久永 3212	91455	(全)政治学Ⅱ	久永 3212	11557	公民教育法Ⅱ	下地 5103
	1	環境社会学	田代 3207	91257	(全)ケアリング・サイエンス	石田 5103	91356	(金)ヒューマンエコロジー	久永 3212	91455	(全)政治学Ⅱ	久永 3212	11557	公民教育法Ⅱ	下地 5103
	2	環境社会学	田代 3207	91257	(全)ケアリング・サイエンス	石田 5103	91356	(金)ヒューマンエコロジー	久永 3212	91455	(全)政治学Ⅱ	久永 3212	11557	公民教育法Ⅱ	下地 5103
	3	環境社会学	田代 3207	91257	(全)ケアリング・サイエンス	石田 5103	91356	(金)ヒューマンエコロジー	久永 3212	91455	(全)政治学Ⅱ	久永 3212	11557	公民教育法Ⅱ	下地 5103
5 期	公	精神医学Ⅱ	小嶋 3202	21259	家族福祉論	奥村 3202	21360	社会福祉教育史	梶井 3207	91456	NPO論	佐野 3203	31559	老年心理学	奥村 3202
	1	精神医学Ⅱ	小嶋 3202	21259	家族福祉論	奥村 3202	21360	社会福祉教育史	梶井 3207	91456	NPO論	佐野 3203	31559	老年心理学	奥村 3202
	2	精神医学Ⅱ	小嶋 3202	21259	家族福祉論	奥村 3202	21360	社会福祉教育史	梶井 3207	91456	NPO論	佐野 3203	31559	老年心理学	奥村 3202
	3	精神医学Ⅱ	小嶋 3202	21259	家族福祉論	奥村 3202	21360	社会福祉教育史	梶井 3207	91456	NPO論	佐野 3203	31559	老年心理学	奥村 3202
6 期	公	(全)ケアリング・サイエンス	石田 5103	91357	(全)ケアリング・サイエンス	石田 5103	91357	(全)ケアリング・サイエンス	石田 5103	91357	(全)ケアリング・サイエンス	石田 5103	91357	(全)ケアリング・サイエンス	石田 5103
	1	(全)ケアリング・サイエンス	石田 5103	91357	(全)ケアリング・サイエンス	石田 5103	91357	(全)ケアリング・サイエンス	石田 5103	91357	(全)ケアリング・サイエンス	石田 5103	91357	(全)ケアリング・サイエンス	石田 5103
	2	(全)ケアリング・サイエンス	石田 5103	91357	(全)ケアリング・サイエンス	石田 5103	91357	(全)ケアリング・サイエンス	石田 5103	91357	(全)ケアリング・サイエンス	石田 5103	91357	(全)ケアリング・サイエンス	石田 5103
	3	(全)ケアリング・サイエンス	石田 5103	91357	(全)ケアリング・サイエンス	石田 5103	91357	(全)ケアリング・サイエンス	石田 5103	91357	(全)ケアリング・サイエンス	石田 5103	91357	(全)ケアリング・サイエンス	石田 5103

○は必修科目、(全)は全学共通(教養)科目、※は人間社会学部共通専門科目を表す。

---

---

## 福岡県立大学 アニュアルレポート

平成 28 年10月14日 印刷

平成 28 年10月14日 発行

編 集 福岡県立大学 自己点検評価室

発 行 福岡県立大学

〒825-8585 福岡県田川市大字伊田 4395 番地

TEL (0947)42-2118 FAX (0947)42-6171

URL <http://www.fukuoka-pu.ac.jp>

---

---

